

令和7年度
「市民による市政評価」
結果報告書

令和7年 10 月

大仙市 企画部 総合政策課

目 次

1 はじめに

1.1 市政評価について	1
1.2 調査の種類	1
1.3 調査の手法	2
1.4 調査票	2
1.5 調査期間	2
1.6 集計・分析上の注意事項について	2

2 市民による市政評価

2.1 調査対象	4
2.2 回答率	4
2.3 回答者の属性	5
2.4 満足度及び重要度	7
2.4.1 満足の度合い	7
2.4.2 満足度における選択肢別の回答割合	9
2.4.3 満足度における属性別比較	10
2.4.4 重要の度合い	14
2.4.5 重要度における選択肢別の回答割合	16
2.4.6 重要度における属性別比較	17
2.4.7 項目別の要望度	21
2.4.8 満足度、重要度の総括	23
2.4.9 満足度、重要度の年齢層別比較	24
2.5 さらに推進すべき取組	26
2.5.1 産業分野	26
2.5.2 出会い・結婚・子育て分野	29

2.5.3 健康福祉・スポーツ分野	32
2.5.4 環境・安全分野	35
2.5.5 都市基盤分野	38
2.5.6 教育・交流分野	41
2.5.7 地域活性化・市民との協働・行政運営分野	44
2.5.8 さらに推進すべき取組の総括	47
2.6 市の情報発信や行政サービスのデジタル化	50
2.6.1 市政情報の入手手段	50
2.6.2 市が行っている行政サービスのデジタル化	53
2.7 あなたが思う大仙市について	57
2.7.1 市内在住の経緯	57
2.7.2 「住みやすさ」	59
2.8 経年比較（5か年分）	63

3 市民による個別事業評価

3.1 個別事業評価	82
3.1.1 広報活動	82
3.1.2 地域公共交通対策事業	95
3.1.3 地球温暖化対策事業	107

4 自由意見

5 資料（調査票）

令和7年度「市民による市政評価」調査票

1 はじめに

1.1 市政評価について

市の政策に対して、市民の皆さんが感じている思い（施策の満足度・重要度等）や個別具体の施策や事業の見直しを図りながら、効率的で効果的な行政運営につなげるとともに、調査を通じて市民の皆さんに市政への関心や理解を深めていただき、協働・共創のまちづくりをより一層推進することを目的に実施している。

1.2 調査の種類

調査は、次の区分により実施した。

(1) 市民による市政評価

第2次大仙市総合計画基本構想の体系（「施策の柱」「施策の大綱」）に基づき設定した設問項目について、次の事項を調査した。

- 満足度（本市の現状に対してどのくらい満足しているか。）
- 重要度（本市のまちづくりにとってどのくらい重要であると考えているか。）
- 今後、さらに推進すべき取組

また、「市の情報発信や行政サービスのデジタル化について」として、市政情報の入手手段や行政のデジタル化に期待することを伺ったほか、「あなたが思う大仙市について」として、大仙市の住みやすさなどに関する意識調査も行った。

(2) 個別事業評価

個別具体の施策や事業の認知度、利用状況、意識等を把握するため、次の3テーマについて調査した。

No.	テーマ
1	広報活動
2	地域公共交通対策事業
3	地球温暖化対策事業

1.3 調査の手法

調査票を郵送したうえで、回答は郵送かインターネットを選択していただく方式とした。

1.4 調査票

本調査は、次の調査票により実施した。

○令和7年度「市民による市政評価」（「個別事業評価」の3テーマを含む）

※「5 資料（調査票）」参照

1.5 調査期間

令和7年4月30日（水）～5月30日（金）（31日間）※延長期間1週間含む

1.6 集計・分析上の注意事項について

- 回答者の属性においては無回答を含めた回答者数を「n」とし、その他の設問においては、有効回答内での割合を求めるため、無回答者を除いた有効回答者数を「n」として表記しており、設問により母数となる回答者数「n」は異なる場合がある。
- 属性等とのクロス集計では、属性等が不明な回答を除いているため、属性等の項目ごとに集計した対象者の合計と、全体の集計対象者の合計は一致しない場合がある。
- 市政評価における満足度、重要度及び要望度の平均値については、小数点第3位以下を、その他の設問の構成比（％）については、小数点第2位以下を四捨五入して表記している。
- 単一回答の設問における構成比（％）は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計は必ずしも100.0%になっていない場合がある。
- 複数回答の設問における構成比（％）は、集計対象者数に対する回答者数の比率を示すものであり、その合計は100%を超える場合がある。

2 市民による市政評価

2 市民による市政評価

2.1 調査対象

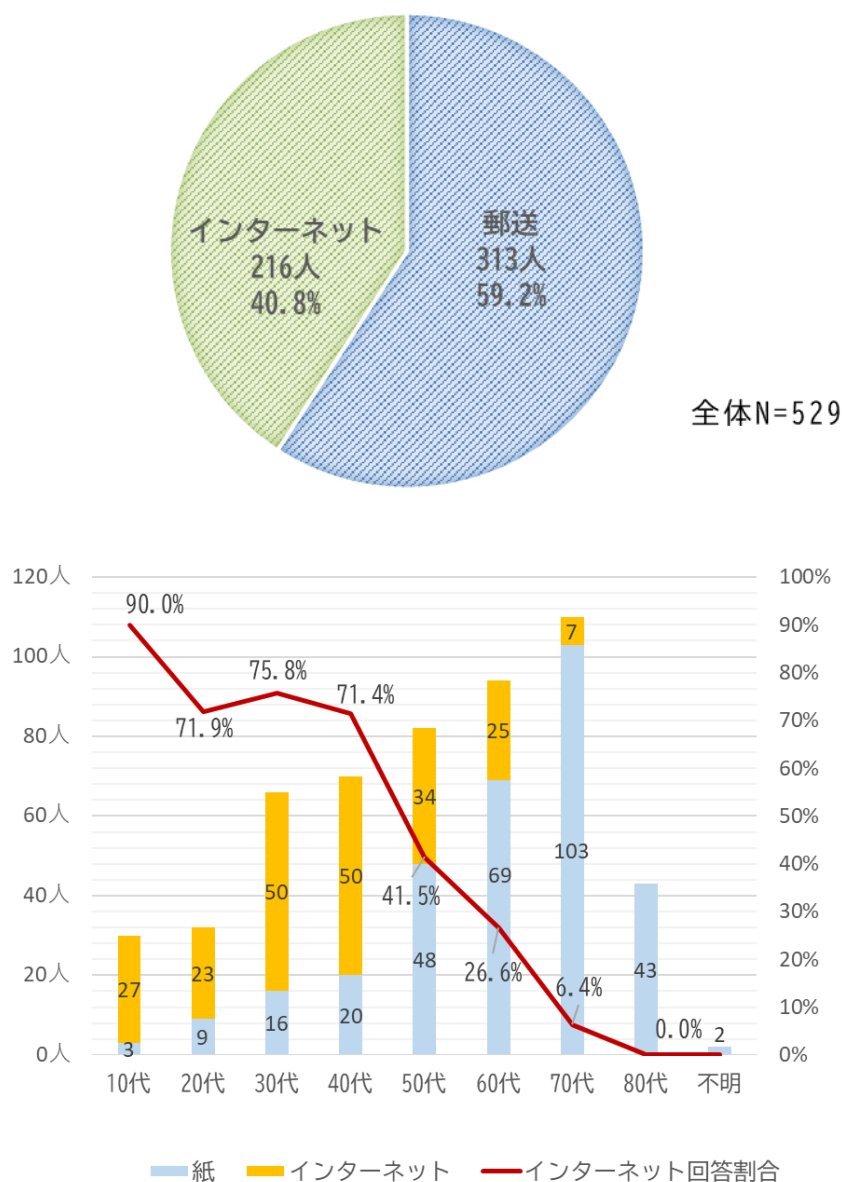
16 歳以上 85 歳未満の市民の中から無作為に抽出した 1,000 人（性別、年齢、地域については考慮）

2.2 回答率

送付者数・・・1,000 人

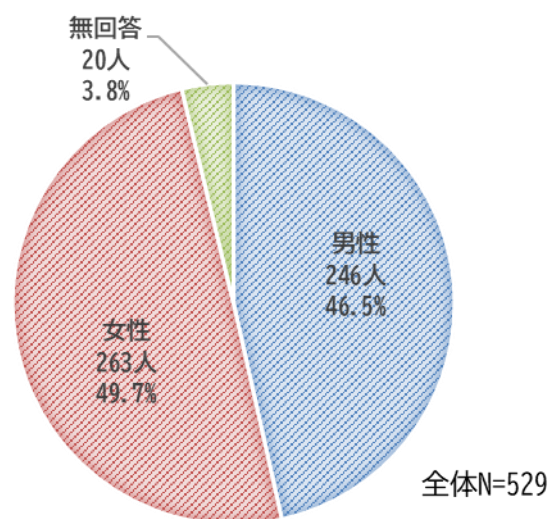
回答者数・・・529 人 回答率・・・52.9%

図表 1 回答方法の内訳

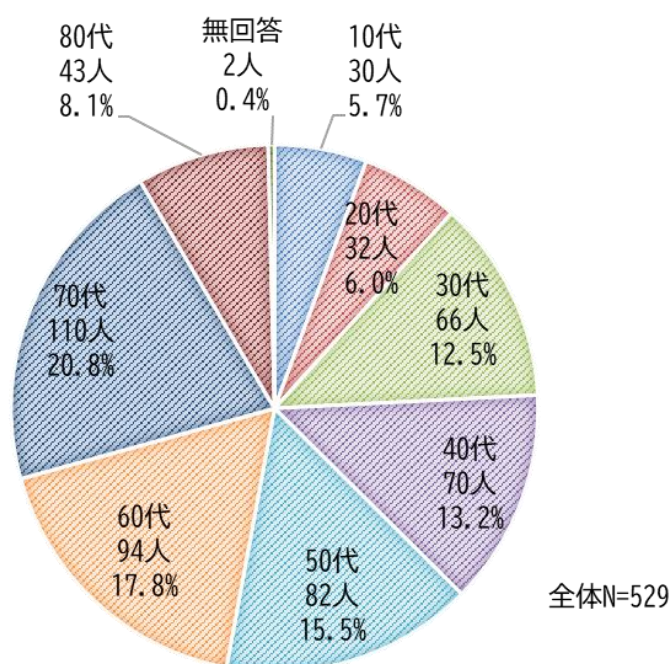


2.3 回答者の属性

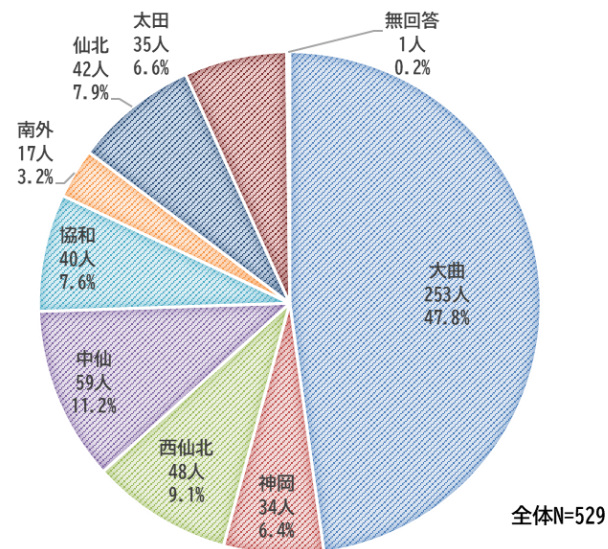
図表2 回答者の性別の内訳



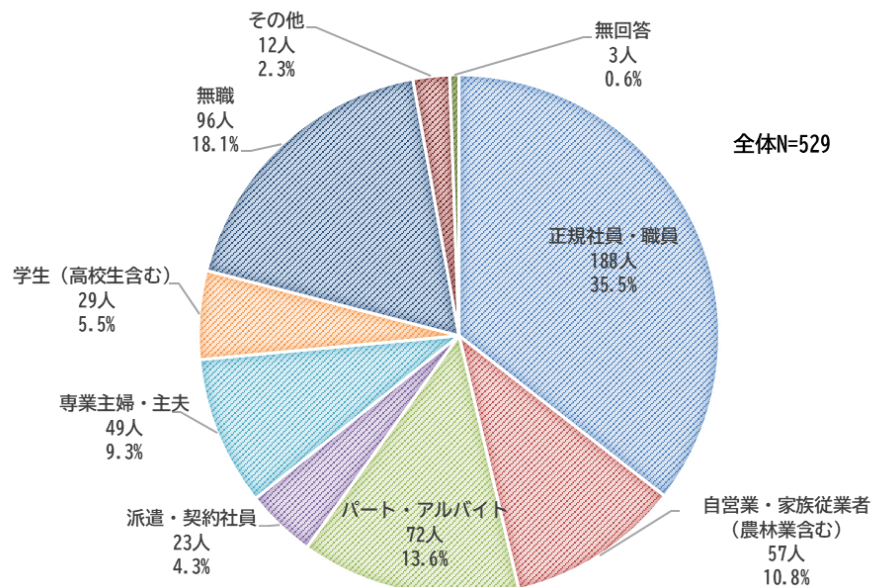
図表3 回答者の年代の内訳



図表4 回答者の居住地の内訳



図表5 回答者の就業状況の内訳



2.4 満足度及び重要度

2.4.1 満足の度合い

満足度の高い項目は、上位から「保健・医療」が 3.62（昨年度 3.66）、「自然・衛生環境」が 3.49（昨年度 3.52）、「安全・安心体制」が 3.44（昨年度 3.51）の順となっている。上位項目では、上位 4 項目については昨年度までと変わらないものの、昨年度 4 位の「子育て」が 8 位に下降している。そのほか、「スポーツ」が昨年度 5 位から 4 位に上昇している。

一方、満足度の低い項目は、下位から「商工業」が 2.68（昨年度 2.80）、「雇用・就労」が 2.73（昨年度 2.81）、「空き家対策」が 2.82（昨年度 2.82）の順となっている。下位項目では、「農林水産業」が昨年度 21 位から 23 位に下降しており、昨年度 22 位の「移住・定住」が 21 位に上昇している。そのほか、「男女共同参画」が昨年度 19 位から 16 位に上昇している。

昨年度と比較すると、全体的な評価に大きな変動は無いものの、満足度の低下が見られ、29 項目中、26 項目で低下しているほか、変動が無かったのは 1 項目、上昇したのは 2 項目となっている。なお、0.05 ポイント以上上昇した項目は見られなかった。

0.05 ポイント以上低下した主な項目は、3.31 で 8 位の「子育て」（0.17 減）、3.12 で 17 位の「道路・河川」（0.12 減）、2.68 で 29 位の「商工業」（0.12 減）、3.08 で 19 位の「地域活性化」（0.10 減）、3.00 で 23 位の「農林水産業」（0.10 減）などの 17 項目となっている。

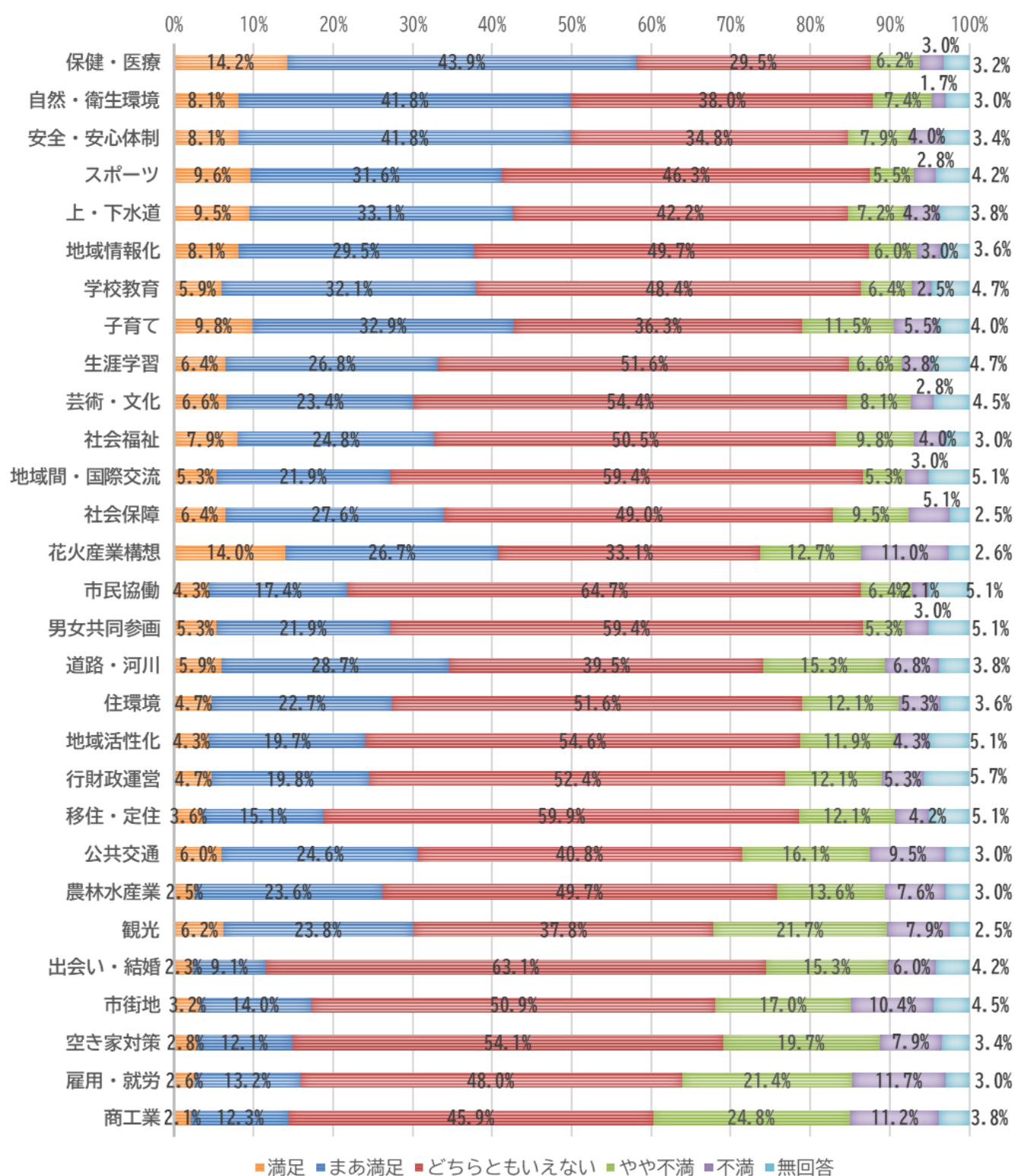
12 項目は昨年度から 0.05 ポイント未満の増減でほぼ横ばいとなっている。

図表6 満足度の一覧

順位		項 目	満足度		
R7	R6		R 7	R 6	増減 (R7-R6)
1	1	【保健・医療】 特定健診・がん検診の受診促進や地域医療体制の充実、予防接種の推進など、よりよい保健・医療体制づくりを進めています。	3.62	3.66	▲ 0.04
2	2	【自然・衛生環境】 豊かな自然の保護や環境に優しいまちづくり、ごみの減量化、公害防止など、自然環境の保全と衛生環境の整備に努めています。	3.49	3.52	▲ 0.03
3	3	【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化、交通安全の推進、防犯体制の強化など、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。	3.44	3.51	▲ 0.07
4	5	【スポーツ】 500歳野球大会の開催、スポーツ少年団への支援、スポーツ施設の充実など、生涯スポーツの推進、スポーツによる地域の活性化に取り組んでいます。	3.41	3.44	▲ 0.03
5	6	【上・下水道】 施設設備の計画的な更新や、適正な維持管理など、生活の基盤となる上・下水道事業の安定した運営に努めています。	3.38	3.40	▲ 0.02
6	7	【地域情報化】 地上デジタル放送難視聴地域の解消やインターネット環境の整備、FMはなびによる防災・災害情報発信などに取り組んでいます。	3.35	3.34	0.01
7	8	【学校教育】 キャリア教育の推進、英語教育の充実、地域との交流による多様な学びなど、地域一体となって社会で活躍できる子どもを育む取組を進めています。	3.34	3.32	0.02
8	4	【子育て】 全年齢層の保育料無償化など、保育サービスの充実や放課後児童クラブの設置、高校生までの医療費助成など、安心して子育てできる環境づくりを進めています。	3.31	3.48	▲ 0.17
9	8	【生涯学習】 ライフステージにあわせた学習活動の提供、生涯学習施設の整備など、生涯を通じて学び、活かせる環境づくりを進めています。また、図書館運営の充実などにより、読書活動の促進に取り組んでいます。	3.27	3.32	▲ 0.05
10	11	【芸術・文化】 芸術鑑賞機会の創出や音楽祭の開催、文化財を活用したイベントなど、芸術・文化を通じた潤いのあるまちづくりを進めています。	3.24	3.29	▲ 0.05
10	14	【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など、安心して暮らせる社会福祉の充実に取り組んでいます。	3.24	3.27	▲ 0.03
12	11	【地域間・国際交流】 宮崎県宮崎市、神奈川県座間市、岩手県宮古市、韓国唐津市、台湾新北市との間で多様な交流を行っています。	3.22	3.29	▲ 0.07
13	10	【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度など、市民の皆さまの生活を守る社会保障の充実に取り組んでいます。	3.21	3.30	▲ 0.09
13	13	【花火産業構想】 「大曲の花火」ブランドを戦略的に活用し、観光、商工業、農業など、幅広い分野にわたる活性化策を展開しています。	3.21	3.28	▲ 0.07
15	16	【市民協働】 ボランティアやNPOなどの市民主体の活動に対する支援や、ふるさと納税制度を通じた大仙ファンの創出など、協働・共創のまちづくりを進めています。	3.16	3.20	▲ 0.04
16	19	【男女共同参画】 男女共同参画や女性活躍の推進に関する講座の開催など、性別にかかわらず、誰もが活躍できる社会づくりを進めています。	3.13	3.15	▲ 0.02
17	15	【道路・河川】 幹線・生活道路の整備、迅速な道路修繕、橋りょうの長寿命化、国県河川の早期整備要望、内水対策などに取り組んでいます。	3.12	3.24	▲ 0.12
18	17	【住環境】 住宅リフォームへの支援、市営住宅や公園・緑地の維持管理など、良好で快適な住生活環境づくりに努めています。	3.10	3.19	▲ 0.09
19	18	【地域活性化】 地域協議会の活動や地域枠予算の確保、自治会活動への支援など、住民主体の地域づくりを応援しています。	3.08	3.18	▲ 0.10
20	20	【行財政運営】 財政健全化や組織機構改革、人口規模に見合った公共施設の配置適正化、行政サービスのデジタル化など、効率的かつ効果的に持続可能な行財政運営に努めています。	3.07	3.11	▲ 0.04
21	22	【移住・定住】 無料職業紹介所の設置など、移住やAターンの促進と定住に向けた環境づくりを進めています。	3.02	3.09	▲ 0.07
21	23	【公共交通】 地域の実情に応じて循環バスや市民バス、コミュニティバス、乗合タクシーを運行するなど、公共交通の維持確保に努めています。	3.02	3.07	▲ 0.05
23	21	【農林水産業】 売れる米づくりの推進や複合農業化、6次産業化、通年農業化、担い手の育成、生産基盤の整備などに取り組んでいます。	3.00	3.10	▲ 0.10
24	23	【観光】 各地の花火大会や祭り、史跡・文化財、温泉、自然等の地域資源を活かした観光振興に取り組んでいます。	2.99	3.07	▲ 0.08
25	25	【出会い・結婚】 出会いイベントの開催に対する支援による交流、出会いの場づくりや、結婚に伴う住居取得への支援などを通じ、地域全体で応援する環境づくりを進めています。	2.86	2.90	▲ 0.04
26	26	【市街地】 利便性が高く機能的な都市づくりや無秩序な市街地の拡散抑制、中心市街地の活性化などに取り組んでいます。	2.82	2.87	▲ 0.05
26	27	【空き家対策】 所有者への助言や指導、解体補助、空き家バンクによる移住希望者への情報提供など、空き家の適正管理と活用促進に努めています。	2.82	2.82	0.00
28	28	【雇用・就労】 雇用・就業支援や資格取得支援、職場見学事業、Aターン希望者への就業支援などに取り組んでいます。	2.73	2.81	▲ 0.08
29	29	【商工業】 企業誘致の推進や地元企業の規模拡大、企業の人材獲得に対する支援、商店街の取組や創業への支援などに取り組んでいます。	2.68	2.80	▲ 0.12

2.4.2 満足度における選択肢別の回答割合

図表7 満足度における選択肢別の回答割合



2.4.3 満足度における属性別比較

性別で見ると、上位・下位項目とも、昨年度までと同様に、全体と同じ項目が挙げられているが、男女間で評価項目に差が生じており、総じて女性の満足度が高い傾向にある。

年代別で見ると、上位項目については、20代以上の全年代で「保健・医療」が挙げられており、30代以上の年代では1位となっている。また、70代を除く全ての年代で「自然・衛生環境」、30代から50代で「地域情報化」、40代・50代・70代で「子育て」が挙げられている。

下位項目については、全ての年代で「雇用・就労」「空き家対策」が挙げられており、20代以上で「商工業」、50代以外の年代で「出会い・結婚」が挙げられている。

地域別で見ると、上位項目については、全ての地域で「保健・医療」が挙げられており、協和地域以外で「スポーツ」、中仙・協和・太田地域で「学校教育」、南外・仙北地域で「花火産業構想」が挙げられている。

下位項目については、全ての地域で「商工業」が挙げられており、太田地域以外で「市街地」、西仙北・南外地域以外で「空き家対策」、西仙北・南外・太田地域で「公共交通」、大曲・神岡・中仙・協和地域で全体と同じ項目が挙げられている。

図表8 性別による満足度

■男性 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.50
2	自然・衛生環境	3.44
3	安全・安心体制	3.40
4	スポーツ	3.32
5	上・下水道	3.30

(下位)

順位	項目	満足度
25	市街地	2.77
	出会い・結婚	2.77
27	空き家対策	2.76
28	雇用・就労	2.68
29	商工業	2.59

■女性 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.73
2	自然・衛生環境	3.53
3	スポーツ	3.51
4	安全・安心体制	3.49
5	上・下水道	3.46

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	2.95
26	市街地	2.87
27	空き家対策	2.86
28	商工業	2.78
29	雇用・就労	2.76

図表9 年代別による満足度

■10代

(上位)

順位	項目	満足度
1	上・下水道	3.80
2	自然・衛生環境	3.77
3	学校教育	3.63
4	安全・安心体制	3.60
	芸術・文化	3.60

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	3.03
26	雇用・就労	2.97
27	公共交通	2.90
	空き家対策	2.90
29	市街地	2.70

■20代

(上位)

順位	項目	満足度
1	自然・衛生環境	3.56
2	上・下水道	3.53
	保健・医療	3.53
	社会福祉	3.53
	道路・河川	3.53

(下位)

順位	項目	満足度
25	空き家対策	2.88
26	出会い・結婚	2.75
27	雇用・就労	2.69
28	市街地	2.59
29	商工業	2.56

■30代

(上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.49
2	自然・衛生環境	3.37
3	地域情報化	3.34
4	上・下水道	3.28
5	安全・安心体制	3.26
	花火産業構想	3.26

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	2.71
26	市街地	2.66
27	空き家対策	2.60
28	雇用・就労	2.58
29	商工業	2.53

■40代

(上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.70
2	安全・安心体制	3.61
3	地域情報化	3.49
4	自然・衛生環境	3.47
5	子育て	3.46

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	2.91
26	市街地	2.87
27	空き家対策	2.81
28	商工業	2.73
29	雇用・就労	2.66

■50代

(上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.48
2	地域情報化	3.38
	自然・衛生環境	3.38
4	スポーツ	3.33
5	子育て	3.28

(下位)

順位	項目	満足度
25	公共交通	2.82
26	空き家対策	2.72
27	雇用・就労	2.68
28	市街地	2.66
29	商工業	2.57

■60代

(上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.54
2	自然・衛生環境	3.51
3	安全・安心体制	3.40
4	学校教育	3.35
5	生涯学習	3.32
	スポーツ	3.32

(下位)

順位	項目	満足度
23	観光	2.91
	市街地	2.91
	移住・定住	2.91
26	空き家対策	2.82
27	出会い・結婚	2.75
28	雇用・就労	2.64
29	商工業	2.60

■70代 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.79
2	スポーツ	3.55
3	安全・安心体制	3.52
4	上・下水道	3.50
5	子育て	3.48

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	2.97
26	雇用・就労	2.95
27	空き家対策	2.93
	市街地	2.93
29	商工業	2.78

■80代 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.85
2	スポーツ	3.79
3	自然・衛生環境	3.69
4	生涯学習	3.67
5	安全・安心体制	3.65

(下位)

順位	項目	満足度
25	道路・河川	3.03
26	空き家対策	2.97
27	出会い・結婚	2.92
28	商工業	2.86
29	雇用・就労	2.74

図表 10 地域別による満足度

■大曲地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.65
2	自然・衛生環境	3.54
3	スポーツ	3.45
	安全・安心体制	3.45
	地域情報化	3.45

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	2.91
26	市街地	2.86
27	空き家対策	2.85
28	雇用・就労	2.69
29	商工業	2.66

■神岡地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.53
2	安全・安心体制	3.48
3	上・下水道	3.45
4	社会福祉	3.44
5	スポーツ	3.41
	社会保障	3.41

(下位)

順位	項目	満足度
25	空き家対策	2.81
26	出会い・結婚	2.75
27	雇用・就労	2.67
28	市街地	2.62
29	商工業	2.57

■西仙北地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	安全・安心体制	3.55
2	上・下水道	3.53
3	保健・医療	3.47
4	スポーツ	3.40
5	自然・衛生環境	3.38

(下位)

順位	項目	満足度
25	公共交通	2.87
26	市街地	2.85
	商工業	2.85
28	出会い・結婚	2.76
29	雇用・就労	2.70

■中仙地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.64
2	自然・衛生環境	3.53
3	学校教育	3.39
4	スポーツ	3.36
	安全・安心体制	3.36

(下位)

順位	項目	満足度
25	雇用・就労	2.79
26	市街地	2.72
27	出会い・結婚	2.70
28	空き家対策	2.67
29	商工業	2.55

■協和地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.74
2	自然・衛生環境	3.56
3	安全・安心体制	3.51
4	上・下水道	3.46
5	学校教育	3.42

■南外地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	自然・衛生環境	3.47
	花火産業構想	3.47
3	保健・医療	3.35
4	子育て	3.29
5	スポーツ	3.24
	観光	3.24

■仙北地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.66
2	安全・安心体制	3.54
3	自然・衛生環境	3.46
4	花火産業構想	3.39
5	スポーツ	3.38

■太田地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.56
2	スポーツ	3.39
3	芸術・文化	3.38
4	市民協働	3.31
5	自然・衛生環境	3.30
	学校教育	3.30

(下位)

順位	項目	満足度
25	市街地	2.97
26	商工業	2.95
27	出会い・結婚	2.85
28	空き家対策	2.79
29	雇用・就労	2.72

(下位)

順位	項目	満足度
25	公共交通	2.76
	住環境	2.76
	商工業	2.76
28	雇用・就労	2.71
29	市街地	2.47

(下位)

順位	項目	満足度
25	観光	2.88
26	雇用・就労	2.85
27	空き家対策	2.80
28	市街地	2.71
29	商工業	2.66

(下位)

順位	項目	満足度
25	公共交通	2.79
	農林水産業	2.79
	道路・河川	2.79
28	空き家対策	2.72
29	商工業	2.61

2.4.4 重要の度合い

重要度の高い項目は、上位から「保健・医療」が4.40（昨年度4.35）、「子育て」が4.38（昨年度4.35）と「雇用・就労」が4.38（昨年度4.34）の同順となっている。上位項目では、上位3項目については、昨年度までと変わらないものの、昨年度5位の「商工業」が7位に下降している。そのほか、「農林水産業」が昨年度7位から4位に上昇している。

一方、重要度の低い項目は、下位から「地域間・国際交流」が3.39（昨年度3.40）、「スポーツ」が3.52（昨年度3.45）、「花火産業構想」が3.54（昨年度3.61）の順となっている。下位項目では、「移住・定住」が昨年度19位から15位に上昇しており、「花火産業構想」は昨年度25位から27位に下降している。そのほか、「生涯学習」が昨年度23位から21位に上昇している。

昨年度と比較すると、満足度同様、全体的な評価に大きな変動は無いものの、29項目中、重要度が上昇したのは24項目となっている。中でも0.05ポイント以上上昇した主な項目は、3.98で15位の「移住・定住」（0.20増）、3.90で17位の「住環境」（0.11増）、3.81で21位の「生涯学習」（0.11増）、4.32で4位の「農林水産業」（0.10増）、4.15で11位の「公共交通」（0.10増）、3.91で16位の「市街地」（0.10増）となっている。

一方、0.05ポイント以上低下した項目は、3.54で27位の「花火産業構想」（0.07減）のみとなっている。

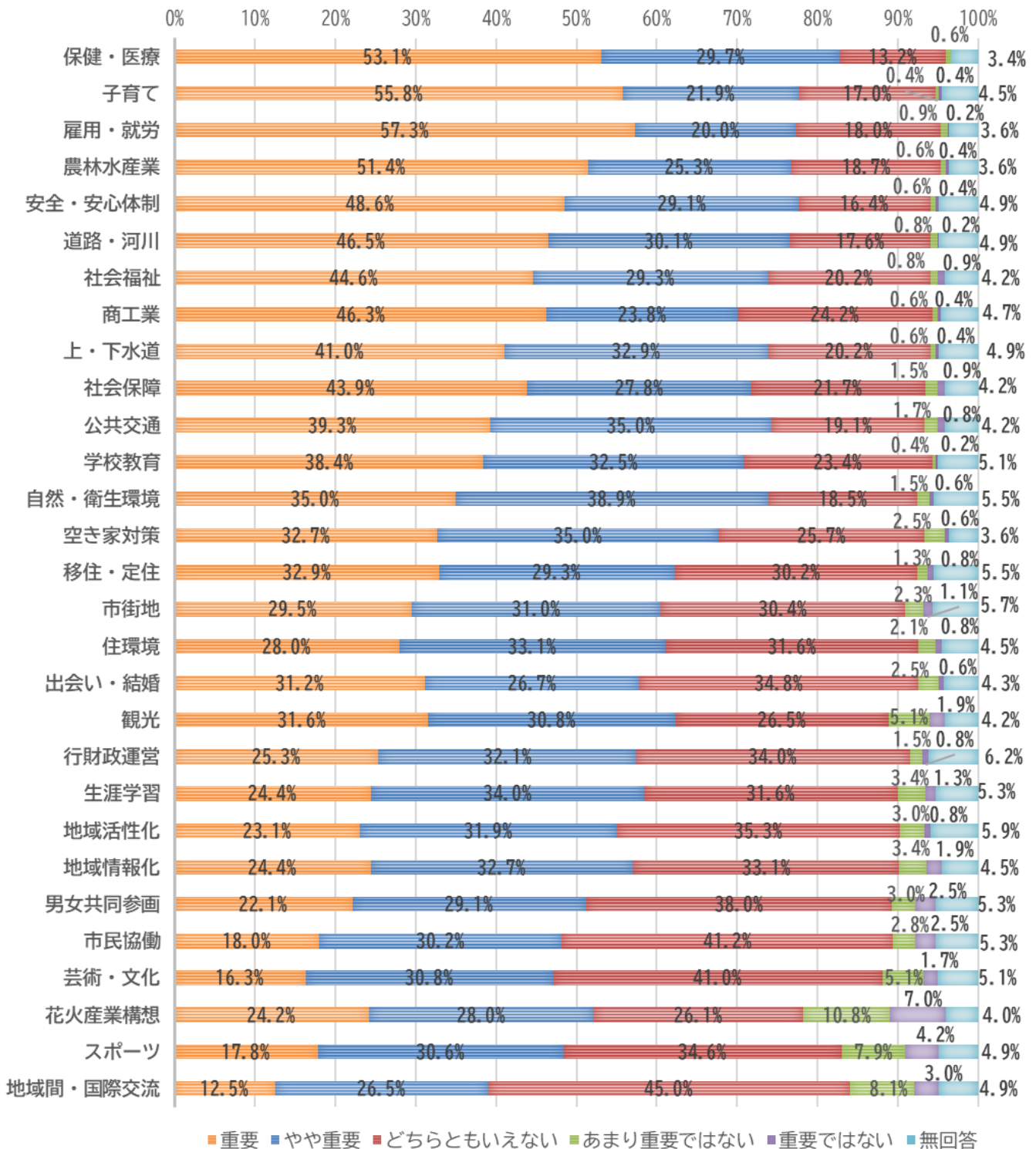
12項目は昨年度から0.05ポイント未満の増減でほぼ横ばいとなっている。

図表 11 重要度の一覧

順位		項 目	重要度		
R7	R6		R 7	R 6	増減 (R7-R6)
1	1	【保健・医療】 特定健診・がん検診の受診促進や地域医療体制の充実、予防接種の推進など、よりよい保健・医療体制づくりを進めています。	4.40	4.35	0.05
2	1	【子育て】 全年齢層の保育料無償化など、保育サービスの充実や放課後児童クラブの設置、高校生までの医療費助成など、安心して子育てできる環境づくりを進めています。	4.38	4.35	0.03
2	3	【雇用・就労】 雇用・就業支援や資格取得支援、職場見学事業、Aターン希望者への就業支援などに取り組んでいます。	4.38	4.34	0.04
4	7	【農林水産業】 売れる米づくりの推進や複合農業化、6次産業化、通年農業化、担い手の育成、生産基盤の整備などに取り組んでいます。	4.32	4.22	0.10
5	4	【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化、交通安全の推進、防犯体制の強化など、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。	4.31	4.25	0.06
6	8	【道路・河川】 幹線・生活道路の整備、迅速な道路修繕、橋りょうの長寿命化、国県河川の早期整備要望、内水対策などに取り組んでいます。	4.28	4.19	0.09
7	5	【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など、安心して暮らせる社会福祉の充実に努めています。	4.21	4.24	▲ 0.03
7	5	【商工業】 企業誘致の推進や地元企業の規模拡大、企業の人材獲得に対する支援、商店街の取組や創業への支援などに取り組んでいます。	4.21	4.24	▲ 0.03
9	10	【上・下水道】 施設設備の計画的な更新や、適正な維持管理など、生活の基盤となる上・下水道事業の安定した運営に努めています。	4.19	4.13	0.06
10	9	【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度など、市民の皆さまの生活を守る社会保障の充実に努めています。	4.17	4.17	0.00
11	12	【公共交通】 地域の実情に応じて循環バスや市民バス、コミュニティバス、乗合タクシーを運行するなど、公共交通の維持確保に努めています。	4.15	4.05	0.10
12	11	【学校教育】 キャリア教育の推進、英語教育の充実、地域との交流による多様な学びなど、地域一体となって社会で活躍できる子どもを育む取組を進めています。	4.14	4.06	0.08
13	13	【自然・衛生環境】 豊かな自然の保護や環境に優しいまちづくり、ごみの減量化、公害防止など、自然環境の保全と衛生環境の整備に努めています。	4.12	4.04	0.08
14	14	【空き家対策】 所有者への助言や指導、解体補助、空き家バンクによる移住希望者への情報提供など、空き家の適正管理と活用促進に努めています。	4.00	3.99	0.01
15	19	【移住・定住】 無料職業紹介所の設置など、移住やAターンの促進と定住に向けた環境づくりを進めています。	3.98	3.78	0.20
16	17	【市街地】 利便性が高く機能的な都市づくりや無秩序な市街地の拡散抑制、中心市街地の活性化などに取り組んでいます。	3.91	3.81	0.10
17	18	【住環境】 住宅リフォームへの支援、市営住宅や公園・緑地の維持管理など、良好で快適な住生活環境づくりに努めています。	3.90	3.79	0.11
18	15	【出会い・結婚】 出会いイベントの開催に対する支援による交流、出会いの場づくりや、結婚に伴う住居取得への支援などを通じ、地域全体で応援する環境づくりを進めています。	3.89	3.85	0.04
18	15	【観光】 各地の花火大会や祭り、史跡・文化財、温泉、自然等の地域資源を活かした観光振興に取り組んでいます。	3.89	3.85	0.04
20	20	【行財政運営】 財政健全化や組織機構改革、人口規模に見合った公共施設の配置適正化、行政サービスのデジタル化など、効率的かつ効果的で持続可能な行財政運営に努めています。	3.85	3.76	0.09
21	23	【生涯学習】 ライフステージにあわせた学習活動の提供、生涯学習施設の整備など、生涯を通じて学び、活かせる環境づくりを進めています。また、図書館運営の充実などにより、読書活動の促進に取り組んでいます。	3.81	3.70	0.11
22	22	【地域活性化】 地域協議会の活動や地域予算の確保、自治会活動への支援など、住民主体の地域づくりを応援しています。	3.78	3.72	0.06
22	21	【地域情報化】 地上デジタル放送難視聴地域の解消やインターネット環境の整備、FMはなびによる防災・災害情報発信などに取り組んでいます。	3.78	3.74	0.04
24	24	【男女共同参画】 男女共同参画や女性活躍の推進に関する講座の開催など、性別にかかわらず、誰もが活躍できる社会づくりを進めています。	3.69	3.65	0.04
25	26	【市民協働】 ボランティアやNPOなどの市民主体の活動に対する支援や、ふるさと納税制度を通じた大仙ファンの創出など、協働・共創のまちづくりを進めています。	3.62	3.60	0.02
26	27	【芸術・文化】 芸術鑑賞機会の創出や音楽祭の開催、文化財を活用したイベントなど、芸術・文化を通じた潤いのあるまちづくりを進めています。	3.58	3.53	0.05
27	25	【花火産業構想】 「大曲の花火」ブランドを戦略的に活用し、観光、商工業、農業など、幅広い分野にわたる活性化策を展開しています。	3.54	3.61	▲ 0.07
28	28	【スポーツ】 500歳野球大会の開催、スポーツ少年団への支援、スポーツ施設の充実など、生涯スポーツの推進、スポーツによる地域の活性化に取り組んでいます。	3.52	3.45	0.07
29	29	【地域間・国際交流】 宮崎県宮崎市、神奈川県座間市、岩手県宮古市、韓国唐津市、台湾新北市との間で多様な交流を行っています。	3.39	3.40	▲ 0.01

2.4.5 重要度における選択肢別の回答割合

図表 12 重要度における選択肢別の回答割合



2.4.6 重要度における属性別比較

性別で見ると、男女ともに「雇用・就労」、「子育て」、「保健・医療」については、上位となっている。上位項目、下位項目ともに男女間で差が生じているほか、男性は、上位と下位項目で重要度に大きな差がある。上位項目については、男性の3位に全体4位の「農林水産業」が挙げられており、女性の3位に全体5位の「安全・安心体制」が挙げられている。

下位項目については、順位の入れ替わりはあるが、男女とも全体の項目と同じ項目が挙げられている。

年代別で見ると、上位項目については、10代と80代以外で「子育て」、10代以外で「保健・医療」、70代以外で「雇用・就労」が挙げられている。また、「保健・医療」は50代、70代と80代で、「子育て」は30代、40代で1位となっている。そのほか、全体4位の「農林水産業」は40代以上で上位となっており、30・50・60・80代で「道路河川」、20代と70代で「社会福祉」となっている。

下位項目については、全ての年代で「地域間・国際交流」が挙げられている。また、80代以外で「芸術・文化」、「スポーツ」、20代から60代で「市民協働」が挙げられている。そのほか、20代、30代以外で「花火産業構想」、10代で「出会い・結婚」が挙げられている。

地域別で見ると、上位項目については、太田地域以外で「雇用・就労」が挙げられており、神岡・仙北地域では1位となっている。また、仙北地域以外で「子育て」が挙げられており、大曲地域では1位となっている。そのほか、西仙北・中仙・協和・南外・仙北・太田地域で「農林水産業」、大曲・西仙北・中仙・南外・仙北・太田地域で「安全・安心体制」、神岡・仙北地域で「商工業」、南外地域以外で「保健・医療」がそれぞれ挙げられている。

下位項目については、南外地域以外で「地域間・国際交流」、仙北地域以外で「スポーツ」が挙げられている。また、神岡・南外・仙北・太田地域で「地域情報化」、南外地域以外で「花火産業構想」が挙げられている。

図表 13 性別による重要度

■男性

(上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	4.47
2	子育て	4.42
3	農林水産業	4.39
4	保健・医療	4.35
5	道路・河川	4.31

(下位)

順位	項目	重要度
25	市民協働	3.53
26	芸術・文化	3.45
	スポーツ	3.45
28	花火産業構想	3.41
29	地域間・国際交流	3.27

■女性

(上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.46
2	子育て	4.37
3	安全・安心体制	4.35
4	雇用・就労	4.32
5	公共交通	4.28

(下位)

順位	項目	重要度
25	芸術・文化	3.70
26	市民協働	3.69
27	花火産業構想	3.67
28	スポーツ	3.60
29	地域間・国際交流	3.50

図表 14 年代別による重要度

■10代

(上位)

順位	項目	重要度
1	安全・安心体制	4.40
	雇用・就労	4.40
3	自然・衛生環境	4.37
4	社会保障	4.33
	上・下水道	4.33

(下位)

順位	項目	重要度
24	出会い・結婚	3.80
	芸術・文化	3.80
	花火産業構想	3.80
27	スポーツ	3.77
	地域間・国際交流	3.77
29	地域情報化	3.76

■20代

(上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	4.63
2	子育て	4.59
3	安全・安心体制	4.50
	保健・医療	4.50
5	社会福祉	4.45

(下位)

順位	項目	重要度
24	生涯学習	3.91
	地域情報化	3.91
26	市民協働	3.88
27	芸術・文化	3.81
28	スポーツ	3.59
29	地域間・国際交流	3.56

■30代

(上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.63
2	雇用・就労	4.45
3	安全・安心体制	4.40
4	保健・医療	4.35
5	道路・河川	4.34

(下位)

順位	項目	重要度
25	芸術・文化	3.45
26	男女共同参画	3.44
27	スポーツ	3.37
28	市民協働	3.24
29	地域間・国際交流	3.23

■40代

(上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.54
2	雇用・就労	4.46
3	保健・医療	4.40
4	農林水産業	4.36
	安全・安心体制	4.36

(下位)

順位	項目	重要度
25	スポーツ	3.57
26	市民協働	3.56
27	芸術・文化	3.47
28	花火産業構想	3.43
29	地域間・国際交流	3.33

■50代 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.49
2	雇用・就労	4.46
3	子育て	4.39
4	道路・河川	4.36
5	農林水産業	4.35
	商工業	4.35

(下位)

順位	項目	重要度
25	市民協働	3.62
26	芸術・文化	3.56
27	スポーツ	3.46
28	花火産業構想	3.40
29	地域間・国際交流	3.19

■60代 (上位)

順位	項目	重要度
1	農林水産業	4.41
2	保健・医療	4.37
3	雇用・就労	4.34
4	子育て	4.33
5	道路・河川	4.31

(下位)

順位	項目	重要度
25	芸術・文化	3.57
26	市民協働	3.54
27	花火産業構想	3.42
28	スポーツ	3.40
29	地域間・国際交流	3.31

■70代 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.44
2	社会福祉	4.31
	農林水産業	4.31
4	子育て	4.29
5	安全・安心体制	4.28

(下位)

順位	項目	重要度
25	観光	3.64
26	芸術・文化	3.58
27	地域間・国際交流	3.56
28	スポーツ	3.54
29	花火産業構想	3.52

■80代 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.24
2	上・下水道	4.15
3	農林水産業	4.12
4	道路・河川	4.11
5	雇用・就労	4.09
	学校教育	4.09

(下位)

順位	項目	重要度
25	住環境	3.65
26	地域情報化	3.61
27	市街地	3.56
28	地域間・国際交流	3.54
29	花火産業構想	3.44

図表 15 地域別による重要度

■大曲地域

(上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.48
2	保健・医療	4.44
3	雇用・就労	4.39
4	安全・安心体制	4.32
	道路・河川	4.32

(下位)

順位	項目	重要度
24	花火産業構想	3.74
	男女共同参画	3.74
26	市民協働	3.70
27	芸術・文化	3.66
28	スポーツ	3.58
29	地域間・国際交流	3.48

■神岡地域

(上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	4.61
2	商工業	4.47
3	保健・医療	4.42
4	道路・河川	4.39
5	子育て	4.29

(下位)

順位	項目	重要度
25	市民協働	3.42
26	地域情報化	3.39
27	花火産業構想	3.38
28	スポーツ	3.35
29	地域間・国際交流	3.25

■西仙北地域

(上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.39
2	雇用・就労	4.36
3	安全・安心体制	4.35
4	子育て	4.33
5	農林水産業	4.27

(下位)

順位	項目	重要度
25	市民協働	3.70
26	スポーツ	3.50
27	芸術・文化	3.47
28	地域間・国際交流	3.27
29	花火産業構想	3.11

■中仙地域

(上位)

順位	項目	重要度
1	農林水産業	4.31
2	雇用・就労	4.30
3	保健・医療	4.29
4	安全・安心体制	4.25
5	子育て	4.24

(下位)

順位	項目	重要度
25	スポーツ	3.57
26	市民協働	3.54
27	芸術・文化	3.36
28	地域間・国際交流	3.30
29	花火産業構想	3.26

■協和地域

(上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.51
2	子育て	4.46
3	農林水産業	4.41
4	雇用・就労	4.38
5	道路・河川	4.37

(下位)

順位	項目	重要度
25	花火産業構想	3.44
26	生涯学習	3.37
	芸術・文化	3.37
28	スポーツ	3.24
29	地域間・国際交流	3.13

■南外地域

(上位)

順位	項目	重要度
1	農林水産業	4.47
	公共交通	4.47
3	子育て	4.41
4	雇用・就労	4.35
	道路・河川	4.35
	安全・安心体制	4.35

(下位)

順位	項目	重要度
25	行財政運営	3.65
	市民協働	3.65
27	男女共同参画	3.56
28	地域情報化	3.53
	スポーツ	3.53

■仙北地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	4.49
2	安全・安心体制	4.40
3	農林水産業	4.37
4	保健・医療	4.34
5	商工業	4.32

(下位)

順位	項目	重要度
25	地域情報化	3.66
26	花火産業構想	3.63
27	市民協働	3.58
28	芸術・文化	3.54
29	地域間・国際交流	3.37

■太田地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	安全・安心体制	4.28
2	保健・医療	4.27
3	社会福祉	4.25
4	農林水産業	4.23
5	子育て	4.18

(下位)

順位	項目	重要度
25	地域情報化	3.50
26	市民協働	3.42
27	地域間・国際交流	3.41
28	スポーツ	3.34
29	花火産業構想	3.03

2.4.7 項目別の要望度

本問では、重要度から満足度を引いた数値を「要望度」と定義している。

要望度の高い項目は、上位から「雇用・就労」が1.65（昨年度1.53）、「商工業」が1.53（昨年度1.44）、「農林水産業」が1.32（昨年度1.12）の順となっており、上位4項目までは、昨年度と同じ項目となっている。そのほか、「道路・河川」が7位から5位に上昇している。

一方、要望度が低い項目は、下位から「スポーツ」が0.11（昨年度0.01）、「地域間・国際交流」が0.17（昨年度0.11）、「花火産業構想」が0.33（昨年度0.33）、「芸術・文化」が0.34（昨年度0.24）の順となっている。下位2項目は昨年度と同じ順位、昨年度26位の「花火産業構想」と昨年度27位の「芸術・文化」がそれぞれ27位と26位となり、昨年度25位の「生涯学習」は23位に上昇している。

昨年度と比較すると、全体的に満足度が低下した一方で、重要度は上昇したことから、要望度は上昇している。

要望度が0.15ポイント以上上昇した主な項目は0.96で11位の「移住・定住」（0.27増）、1.16で5位の「道路・河川」（0.21増）、1.32で3位の「農林水産業」（0.20増）、1.07で8位の「子育て」（0.20増）、0.80で16位の「住環境」（0.20増）など9項目となっている。

図表 16 項目別の要望度（重要度－満足度）の一覧表

順位		項 目	要望度		
R7	R6		R 7	R 6	増減 (R7-R6)
1	1	【雇用・就労】 雇用・就業支援や資格取得支援、職場見学事業、Aターン希望者への就業支援などに取り組んでいます。	1.65	1.53	0.12
2	2	【商工業】 企業誘致の推進や地元企業の規模拡大、企業の人材獲得に対する支援、商店街の取組や創業への支援などに取り組んでいます。	1.53	1.44	0.09
3	4	【農林水産業】 売れる米づくりの推進や複合農業化、6次産業化、通年農業化、担い手の育成、生産基盤の整備などに取り組んでいます。	1.32	1.12	0.20
4	3	【空き家対策】 所有者への助言や指導、解体補助、空き家バンクによる移住希望者への情報提供など、空き家の適正管理と活用促進に努めています。	1.18	1.17	0.01
5	7	【道路・河川】 幹線・生活道路の整備、迅速な道路修繕、橋りょうの長寿命化、国県河川の早期整備要望、内水対策などに取り組んでいます。	1.16	0.95	0.21
6	5	【公共交通】 地域の実情に応じて循環バスや市民バス、コミュニティバス、乗合タクシーを運行するなど、公共交通の維持確保に努めています。	1.13	0.98	0.15
7	9	【市街地】 利便性が高く機能的な都市づくりや無秩序な市街地の拡散抑制、中心市街地の活性化などに取り組んでいます。	1.09	0.94	0.15
8	10	【子育て】 全年齢層の保育料無償化など、保育サービスの充実や放課後児童クラブの設置、高校生までの医療費助成など、安心して子育てできる環境づくりを進めています。	1.07	0.87	0.20
9	7	【出会い・結婚】 出会いイベントの開催に対する支援による交流、出会いの場づくりや、結婚に伴う住居取得への支援などを通じ、地域全体で応援する環境づくりを進めています。	1.03	0.95	0.08
10	6	【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など、安心して暮らせる社会福祉の充実に努めています。	0.97	0.97	0.00
11	10	【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度など、市民の皆さまの生活を守る社会保障の充実に努めています。	0.96	0.87	0.09
11	16	【移住・定住】 無料職業紹介所の設置など、移住やAターンの促進と定住に向けた環境づくりを進めています。	0.96	0.69	0.27
13	12	【観光】 各地の花火大会や祭り、史跡・文化財、温泉、自然等の地域資源を活かした観光振興に取り組んでいます。	0.90	0.78	0.12
14	13	【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化、交通安全の推進、防犯体制の強化など、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。	0.87	0.74	0.13
15	15	【上・下水道】 施設設備の計画的な更新や、適正な維持管理など、生活の基盤となる上・下水道事業の安定した運営に努めています。	0.81	0.73	0.08
16	13	【学校教育】 キャリア教育の推進、英語教育の充実、地域との交流による多様な学びなど、地域一体となって社会で活躍できる子どもを育む取組を進めています。	0.80	0.74	0.06
16	19	【住環境】 住宅リフォームへの支援、市営住宅や公園・緑地の維持管理など、良好で快適な住生活環境づくりに努めています。	0.80	0.60	0.20
18	16	【保健・医療】 特定健診・がん検診の受診促進や地域医療体制の充実、予防接種の推進など、よりよい保健・医療体制づくりを進めています。	0.78	0.69	0.09
18	18	【行財政運営】 財政健全化や組織機構改革、人口規模に見合った公共施設の配置適正化、行政サービスのデジタル化など、効率的かつ効果的で持続可能な行財政運営に努めています。	0.78	0.65	0.13
20	20	【地域活性化】 地域協議会の活動や地域枠予算の確保、自治会活動への支援など、住民主体の地域づくりを応援しています。	0.70	0.54	0.16
21	21	【自然・衛生環境】 豊かな自然の保護や環境に優しいまちづくり、ごみの減量化、公害防止など、自然環境の保全と衛生環境の整備に努めています。	0.63	0.52	0.11
22	22	【男女共同参画】 男女共同参画や女性活躍の推進に関する講座の開催など、性別にかかわらず、誰もが活躍できる社会づくりを進めています。	0.56	0.50	0.06
23	25	【生涯学習】 ライフステージにあわせた学習活動の提供、生涯学習施設の整備など、生涯を通じて学び、活かせる環境づくりを進めています。また、図書館運営の充実などにより、読書活動の促進に取り組んでいます。	0.54	0.38	0.16
24	23	【市民協働】 ボランティアやNPOなどの市民主体の活動に対する支援や、ふるさと納税制度を通じて大仙ファンの創出など、協働・共創のまちづくりを進めています。	0.46	0.40	0.06
25	23	【地域情報化】 地上デジタル放送難視聴地域の解消やインターネット環境の整備、FMはなびによる防災・災害情報発信などに取り組んでいます。	0.43	0.40	0.03
26	27	【芸術・文化】 芸術鑑賞機会の創出や音楽祭の開催、文化財を活用したイベントなど、芸術・文化を通じた潤いのあるまちづくりを進めています。	0.34	0.24	0.10
27	26	【花火産業構想】 「大曲の花火」ブランドを戦略的に活用し、観光、商工業、農業など、幅広い分野にわたる活性化策を展開しています。	0.33	0.33	0.00
28	28	【地域間・国際交流】 宮崎県宮崎市、神奈川県座間市、岩手県宮古市、韓国唐津市、台湾新北市との間で多様な交流を行っています。	0.17	0.11	0.06
29	29	【スポーツ】 500歳野球大会の開催、スポーツ少年団への支援、スポーツ施設の充実など、生涯スポーツの推進、スポーツによる地域の活性化に取り組んでいます。	0.11	0.01	0.10

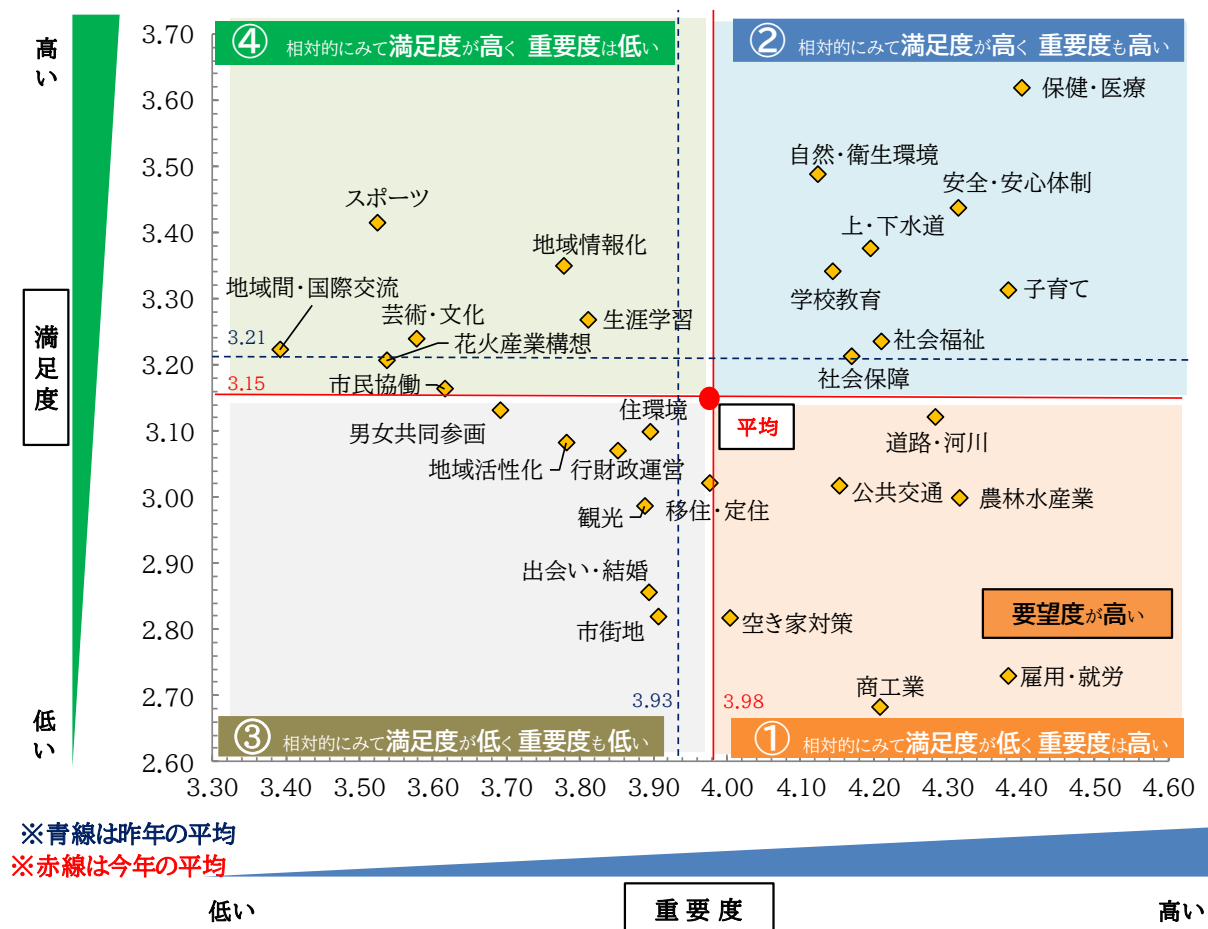
2.4.8 満足度、重要度の総括

満足度、重要度の総括として、満足度を縦軸、重要度を横軸として要望度の高さを示した散布図を作成した。図表 17 は、29 項目の満足度と重要度のそれぞれの位置を示したものである。

図の右上に位置するほど満足度と重要度が高い項目であり、逆に図の左下に位置するほど満足度と重要度が低い項目となっている。満足度が低く重要度が高い項目（図の右下にある項目）ほど相対的に要望度が高い項目となっている。

今回の満足度と重要度の結果から相対的に要望度が高い項目は、昨年度同様「雇用・就労」「商工業」となっている。

図表 17 満足度・重要度の項目別比較



2.4.9 満足度、重要度の年齢層別比較

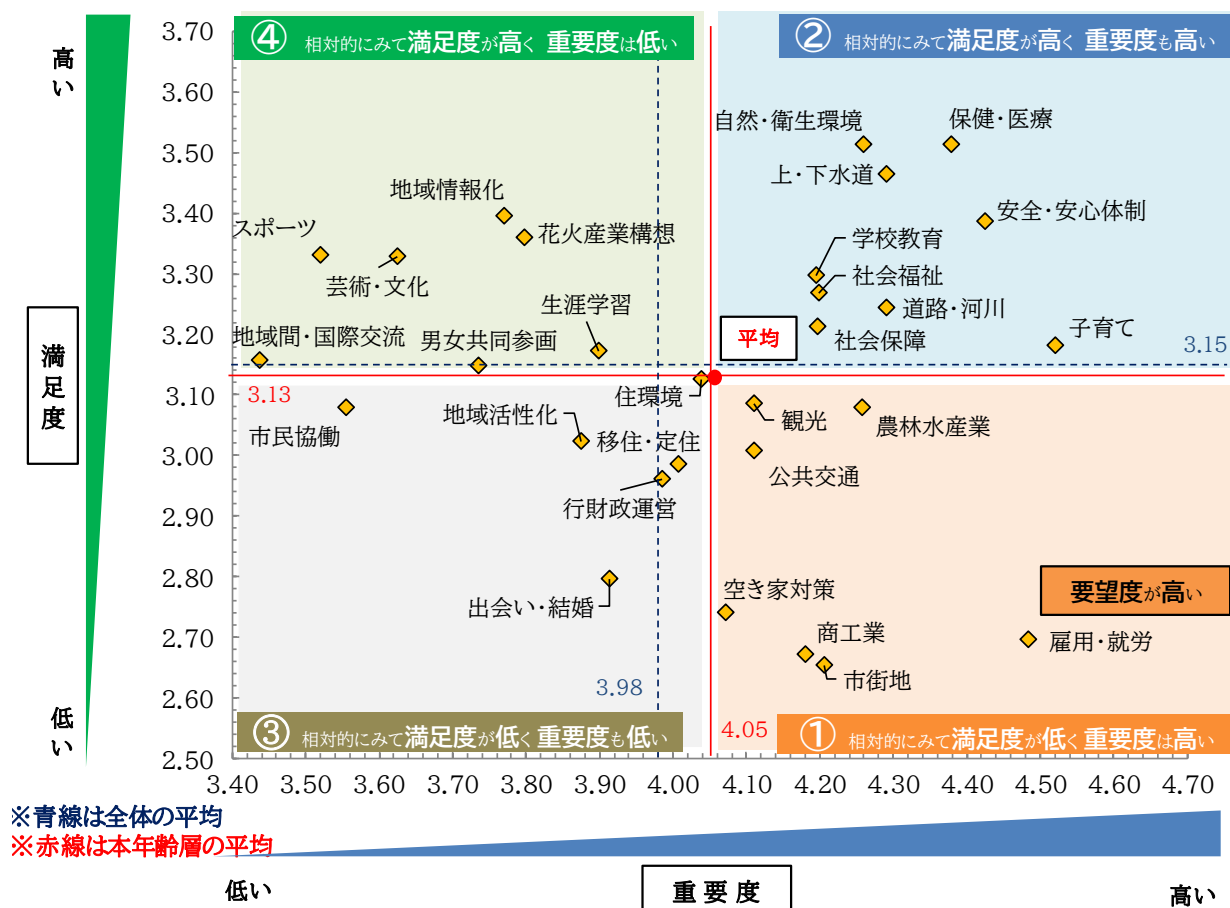
16 歳から 39 歳まで(図表 18)、40 歳から 64 歳まで(図表 19)、65 歳以上(図表 20) の 3 つの年齢層別に散布図を作成し比較した。

16 歳から 39 歳までの年齢層では、全体の平均と比べて重要度は高くなっているものの、満足度が低くなっており、相対的に要望度が高い項目は「雇用・就労」「市街地」「商工業」という結果になった。また、満足度は「保健・医療」「自然・衛生環境」が最も高く、重要度は「子育て」が最も高くなっている。他の年齢層と比較した場合、40 歳から 64 歳まで、65 歳以上ともに、満足度は「商工業」が最も低くなっているのに対し、本年齢層では「市街地」が最も低い結果となった。

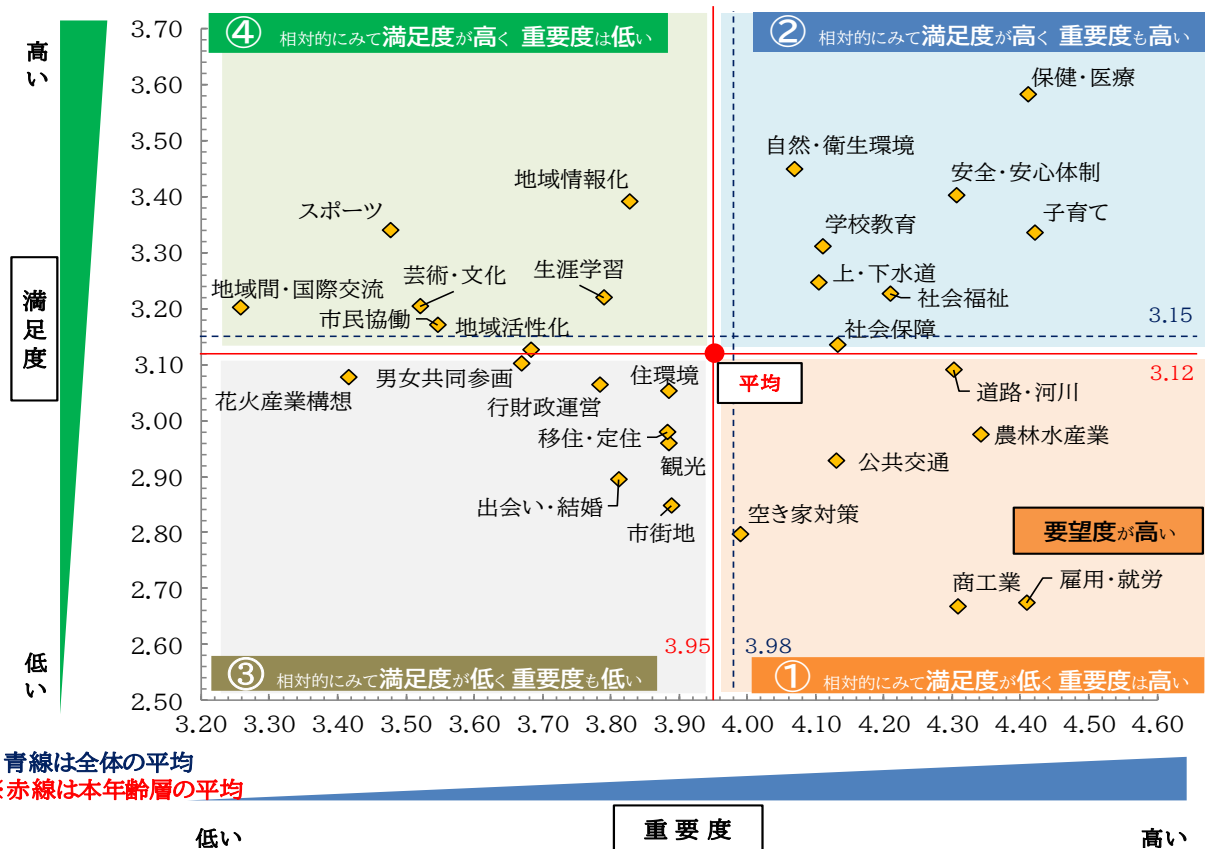
40 歳から 64 歳までの年齢層は、満足度及び重要度が全体の平均を下回っており、相対的に要望度が高い項目は「雇用・就労」「商工業」となっている。満足度は「保健・医療」、重要度は「子育て」が最も高くなっている。

65 歳以上の年齢層では、全体の平均と比べて満足度が高くなっているものの、重要度が低くなっており、相対的に要望度が高い項目は、他の年齢層同様「雇用・就労」「商工業」となっている。

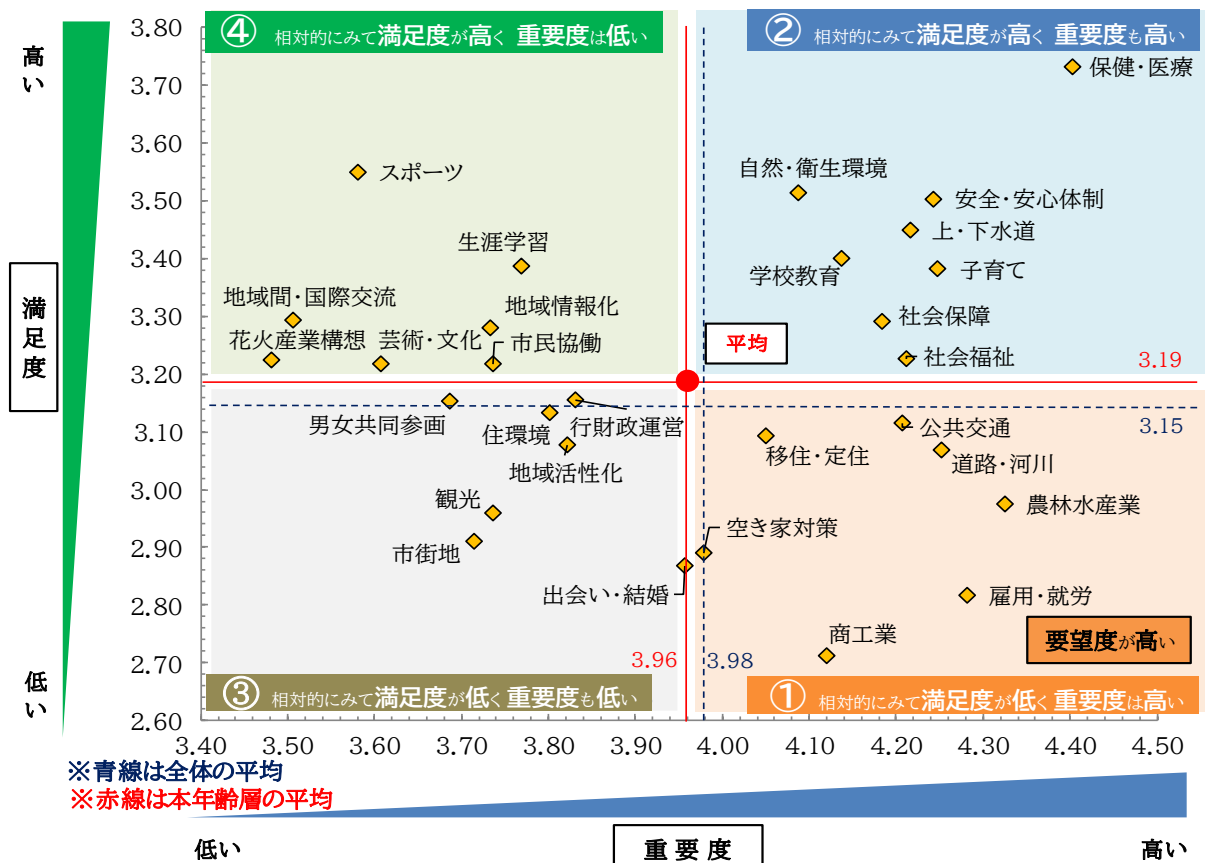
図表 18 満足度・重要度の項目別比較（16 歳から 39 歳）



図表 19 満足度・重要度の項目別比較（40 歳から 64 歳）



図表 20 満足度・重要度の項目別比較（65 歳以上）



2.5 さらに推進すべき取組

2.5.1 産業分野

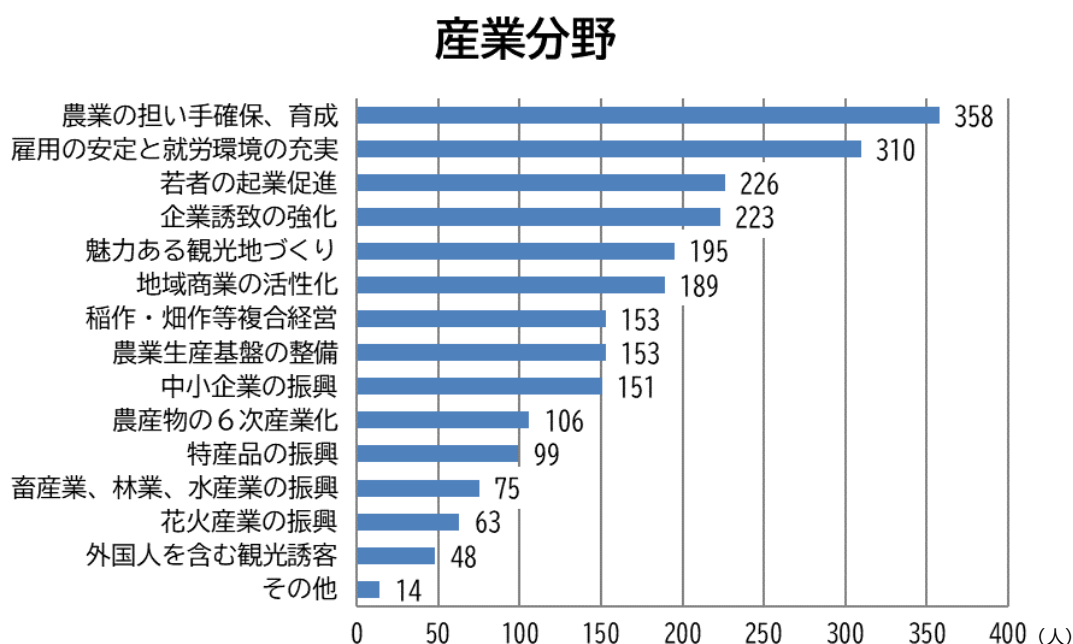
さらに推進すべき取組の上位は、「農業の担い手確保、育成」「雇用の安定と就労環境の充実」「若者の起業促進」の順となっている。

一方、下位は、「外国人を含む観光誘客」「花火産業の振興」「畜産業、林業、水産業の振興」の順となっている。

年代別で見ると、全ての年代で「農業の担い手確保、育成」が最も多くなっている。そのほか、全ての年代で「雇用の安定と就労環境の充実」、30代を除く全ての年代で「若者の起業促進」、10代・20代・30代・60代で「地域商業の活性化」、30代以上で「企業誘致の強化」が上位に入っている。

地域別で見ると、神岡地域以外で「農業の担い手確保、育成」が最も多くなっているほか、全ての地域で「雇用の安定と就労環境の充実」「若者の起業促進」が上位に入っている。そのほか、大曲・仙北・太田地域で「魅力ある観光地づくり」、神岡・協和・南外地域で「地域商業の活性化」、西仙北・仙北地域で「稲作・畑作等複合経営」、南外地域で「中小企業の振興」が上位に入っている。

図表 21 さらに推進すべき取組（回答数順）
産業分野



図表 22 年代別による「さらに推進すべき取組」（上位）

産業分野

■10代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	19
2	若者の起業促進	15
3	雇用の安定と就労環境の充実	13
	地域商業の活性化	13
5	魅力ある観光地づくり	12

■20代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	24
2	雇用の安定と就労環境の充実	19
	魅力ある観光地づくり	19
4	若者の起業促進	17
5	地域商業の活性化	16

■30代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	41
2	雇用の安定と就労環境の充実	39
3	魅力ある観光地づくり	36
4	企業誘致の強化	28
5	地域商業の活性化	26

■40代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	45
2	雇用の安定と就労環境の充実	42
3	若者の起業促進	35
4	企業誘致の強化	33
5	中小企業の振興	30

■50代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	53
2	雇用の安定と就労環境の充実	51
3	企業誘致の強化	40
4	若者の起業促進	38
5	魅力ある観光地づくり	31

■60代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	69
2	雇用の安定と就労環境の充実	64
3	若者の起業促進	40
4	企業誘致の強化	37
5	地域商業の活性化	33

■70代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	77
2	雇用の安定と就労環境の充実	61
3	企業誘致の強化	50
4	若者の起業促進	43
5	稲作・畑作等複合経営	38

■80代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	30
2	雇用の安定と就労環境の充実	20
3	企業誘致の強化	16
	若者の起業促進	16
5	稲作・畑作等複合経営	15

図表 23 地域別による「さらに推進すべき取組」（上位）

産業分野

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	172
2	雇用の安定と就労環境の充実	152
3	企業誘致の強化	109
	若者の起業促進	109
5	魅力ある観光地づくり	106

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	企業誘致の強化	19
2	雇用の安定と就労環境の充実	18
3	農業の担い手確保、育成	16
4	地域商業の活性化	15
5	若者の起業促進	13

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	35
2	雇用の安定と就労環境の充実	31
3	企業誘致の強化	20
	若者の起業促進	20
5	稲作・畑作等複合経営	18

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	43
2	雇用の安定と就労環境の充実	36
3	若者の起業促進	29
4	企業誘致の強化	25
	農業生産基盤の整備	25

■協和地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	29
2	雇用の安定と就労環境の充実	23
3	若者の起業促進	18
4	地域商業の活性化	13
5	企業誘致の強化	12
	中小企業の振興	12

■南外地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	12
2	雇用の安定と就労環境の充実	11
3	若者の起業促進	7
	地域商業の活性化	7
	中小企業の振興	7

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	28
2	雇用の安定と就労環境の充実	27
3	企業誘致の強化	19
4	魅力ある観光地づくり	18
5	若者の起業促進	17
	稲作・畑作等複合経営	17

■太田地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	23
2	企業誘致の強化	14
3	若者の起業促進	13
4	雇用の安定と就労環境の充実	12
	魅力ある観光地づくり	12

2.5.2 出会い・結婚・子育て分野

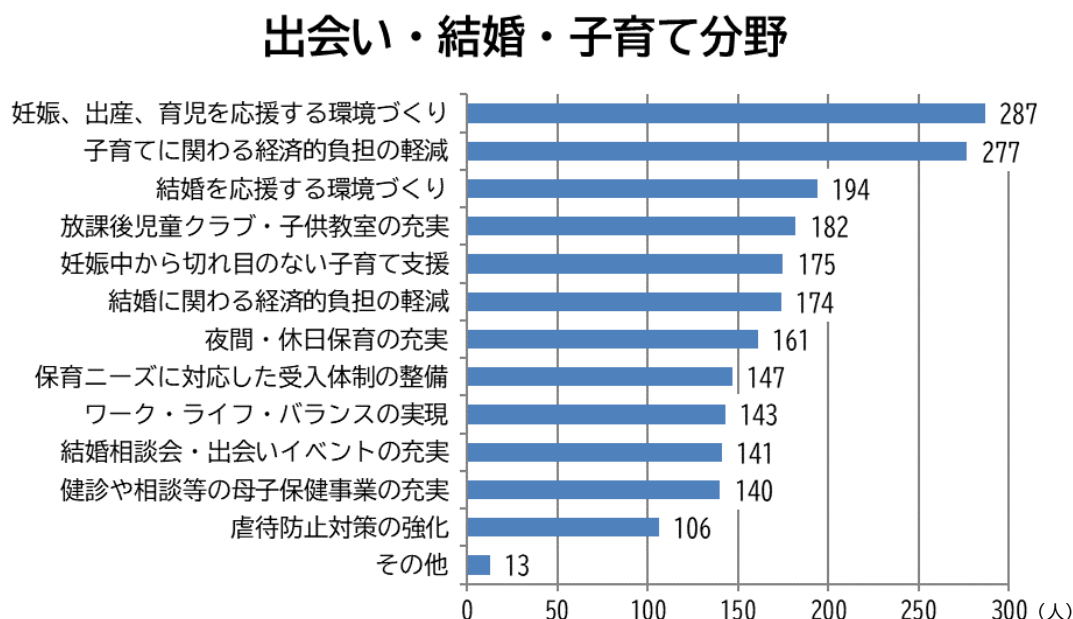
さらに推進すべき取組の上位は、「妊娠、出産、育児を応援する環境づくり」「子育てに関わる経済的負担の軽減」「結婚を応援する環境づくり」となっている。

一方、下位は、「虐待防止対策の強化」「健診や相談等の母子保健事業の充実」「結婚相談会・出会いイベントの充実」となっている。

年代別で見ると、50代以下は「妊娠、出産、育児を応援する環境づくり」、60代・70代は「子育てに関わる経済的負担の軽減」、80代は「結婚を応援する環境づくり」が最も多くなっている。また、30代・50代・60代は全体の上位5項目に入っていない「夜間・休日保育の充実」が上位に入っている。そのほか、10代から30代で「結婚に関わる経済的負担の軽減」、10代から40代で「ワーク・ライフ・バランスの実現」、30代から70代で「放課後児童クラブ・子供教室の充実」が上位となっている。

地域別で見ると、西仙北、南外地域以外は、「子育てに関わる経済的負担の軽減」「妊娠、出産、育児を応援する環境づくり」が上位2項目になっており、西仙北、南外地域では、「子育てに関わる経済的負担の軽減」「結婚を応援する環境づくり」が上位2項目となっている。

図表 24 さらに推進すべき取組（回答数順）
出会い・結婚・子育て分野



図表 25 年代別による「さらに推進すべき取組」（上位）

出会い・結婚・子育て分野

■10代

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	19
2	ワーク・ライフ・バランスの実現	17
3	結婚に関わる経済的負担の軽減	16
4	子育てに関わる経済的負担の軽減	15
5	結婚を応援する環境づくり	13

■20代

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	23
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	21
3	結婚に関わる経済的負担の軽減	20
4	ワーク・ライフ・バランスの実現	18
	結婚を応援する環境づくり	18

■30代

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	48
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	42
3	妊娠中から切れ目のない子育て支援	35
4	結婚に関わる経済的負担の軽減	28
	夜間・休日保育の充実	26
5	ワーク・ライフ・バランスの実現	26
	放課後児童クラブ・子供教室の充実	26

■40代

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	39
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	34
3	ワーク・ライフ・バランスの実現	28
4	放課後児童クラブ・子供教室の充実	25
5	妊娠中から切れ目のない子育て支援	24

■50代

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	46
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	42
3	放課後児童クラブ・子供教室の充実	38
4	妊娠中から切れ目のない子育て支援	29
	夜間・休日保育の充実	29

■60代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	53
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	52
3	結婚を応援する環境づくり	37
4	放課後児童クラブ・子供教室の充実	36
5	夜間・休日保育の充実	33

■70代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	56
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	48
3	結婚を応援する環境づくり	47
4	結婚相談会・出会いイベントの充実	34
5	放課後児童クラブ・子供教室の充実	32

■80代

順位	項目	回答数
1	結婚を応援する環境づくり	23
2	結婚相談会・出会いイベントの充実	16
3	結婚に関わる経済的負担の軽減	15
4	子育てに関わる経済的負担の軽減	14
5	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	12

図表 26 地域別による「さらに推進すべき取組」（上位）

出会い・結婚・子育て分野

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	143
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	133
3	放課後児童クラブ・子供教室の充実	90
4	夜間・休日保育の充実	88
5	妊娠中から切れ目のない子育て支援	86

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	18
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	16
3	結婚を応援する環境づくり	11
	結婚に関わる経済的負担の軽減	11
5	放課後児童クラブ・子供教室の充実	10

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	26
2	結婚を応援する環境づくり	24
3	子育てに関わる経済的負担の軽減	23
4	結婚に関わる経済的負担の軽減	20
5	放課後児童クラブ・子供教室の充実	17

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	35
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	31
3	結婚を応援する環境づくり	28
4	放課後児童クラブ・子供教室の充実	24
	妊娠中から切れ目のない子育て支援	24

■協和地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	24
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	19
3	妊娠中から切れ目のない子育て支援	18
4	結婚を応援する環境づくり	15
	放課後児童クラブ・子供教室の充実	15

■南外地域

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	10
2	結婚を応援する環境づくり	9
3	子育てに関わる経済的負担の軽減	6
	ワーク・ライフ・バランスの実現	6
5	放課後児童クラブ・子供教室の充実	5

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	23
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	20
3	結婚に関わる経済的負担の軽減	14
4	ワーク・ライフ・バランスの実現	13
	妊娠中から切れ目のない子育て支援	13
	健診や相談等の母子保健事業の充実	13

■太田地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	19
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	18
3	健診や相談等の母子保健事業の充実	12
	結婚を応援する環境づくり	12
	放課後児童クラブ・子供教室の充実	12

2.5.3 健康福祉・スポーツ分野

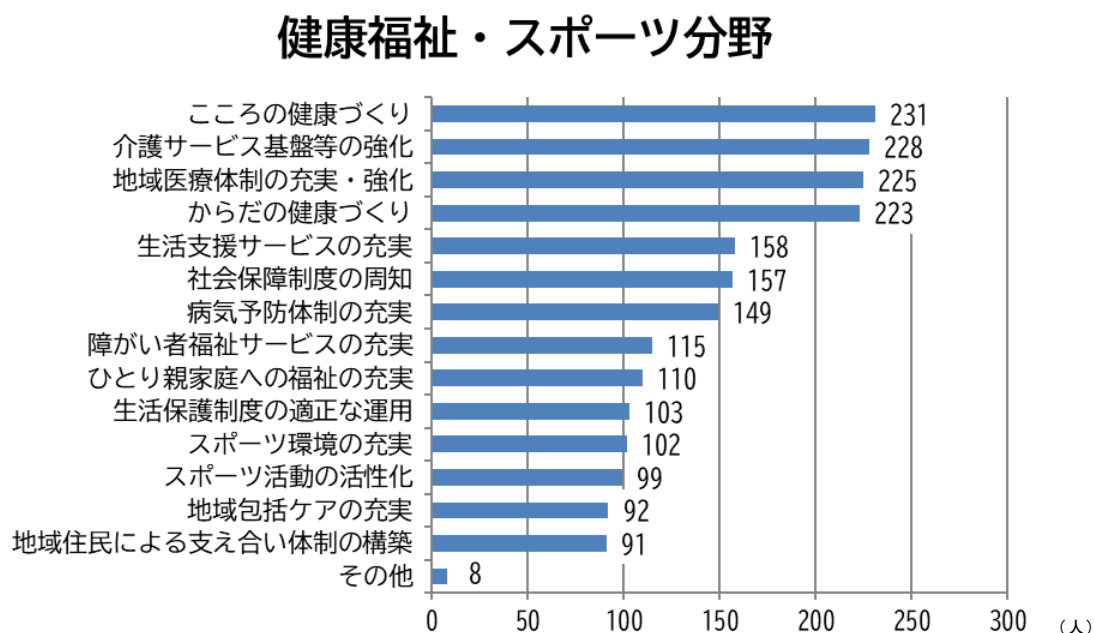
さらに推進すべき取組の上位は、「こころの健康づくり」「介護サービス基盤等の強化」「地域医療体制の充実・強化」の順となっている。

一方、下位は、「地域住民による支え合い体制の構築」「地域包括ケアの充実」「スポーツ活動の活性化」の順となっている。

年代別で見ると、全ての年代で「こころの健康づくり」「からだの健康づくり」「介護サービス基盤等の強化」、80代以外で「地域医療体制の充実・強化」、20代・60代・70代・80代で「生活支援サービスの充実」が上位に入っている。そのほか、10代・20代で「スポーツ環境の充実」「スポーツ活動の活性化」、40代・50代で「社会保障制度の周知」が上位に入っている。

地域別で見ると、全ての地域で、全体の上位に入っている「こころの健康づくり」「介護サービス基盤等の強化」の項目が上位に入っている。一方で、南外・仙北・太田地域で「病気予防体制の充実」、大曲・仙北地域で「社会保障制度の周知」、南外地域で「地域包括ケアの充実」が、全体の上位5項目に入っていない項目として、それぞれの地域で上位に入っている。

図表 27 さらに推進すべき取組（回答数順）
健康福祉・スポーツ分野



図表 28 年代別による「さらに推進すべき取組」（上位）

健康福祉・スポーツ分野

■10代

順位	項目	回答数
1	こころの健康づくり	15
2	からだの健康づくり	13
3	スポーツ環境の充実	11
4	スポーツ活動の活性化	10
5	地域医療体制の充実・強化 介護サービス基盤等の強化	8

■20代

順位	項目	回答数
1	からだの健康づくり	22
2	こころの健康づくり	20
3	地域医療体制の充実・強化	12
4	スポーツ環境の充実	11
	スポーツ活動の活性化	11
	介護サービス基盤等の強化	11
	生活支援サービスの充実	11

■30代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の充実・強化	35
2	からだの健康づくり	31
3	介護サービス基盤等の強化	26
4	こころの健康づくり	25
5	病気予防体制の充実	21

■40代

順位	項目	回答数
1	こころの健康づくり	37
2	地域医療体制の充実・強化 からだの健康づくり	31
4	介護サービス基盤等の強化	29
5	社会保障制度の周知	26

■50代

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の強化	42
2	こころの健康づくり	39
3	からだの健康づくり	34
4	地域医療体制の充実・強化	32
5	社会保障制度の周知	29

■60代

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の強化	50
2	地域医療体制の充実・強化	47
3	こころの健康づくり	37
4	からだの健康づくり 生活支援サービスの充実	33

■70代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の充実・強化	50
2	介護サービス基盤等の強化	43
3	こころの健康づくり	42
4	からだの健康づくり	40
5	生活支援サービスの充実	39

■80代

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の強化 からだの健康づくり	19
3	こころの健康づくり	16
4	生活支援サービスの充実	14
5	地域住民による支え合い体制の構築	13

図表 29 地域別による「さらに推進すべき取組」（上位）

健康福祉・スポーツ分野

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	からだの健康づくり	116
	こころの健康づくり	116
3	介護サービス基盤等の強化	105
4	地域医療体制の充実・強化	100
5	社会保障制度の周知	79

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の充実・強化	17
2	生活支援サービスの充実	15
3	介護サービス基盤等の強化	14
4	こころの健康づくり	13
5	からだの健康づくり	12

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の強化	27
2	からだの健康づくり	26
3	地域医療体制の充実・強化	25
4	こころの健康づくり	24
5	病気予防体制の充実	21

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の充実・強化	28
	こころの健康づくり	28
3	からだの健康づくり	26
4	介護サービス基盤等の強化	25
5	生活支援サービスの充実	20

■協和地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の充実・強化	20
	介護サービス基盤等の強化	20
3	生活支援サービスの充実	17
4	こころの健康づくり	14
5	からだの健康づくり	13

■南外地域

順位	項目	回答数
1	生活支援サービスの充実	8
2	こころの健康づくり	7
	地域住民による支え合い体制の構築	7
4	介護サービス基盤等の強化	6
	病気予防体制の充実	6
	地域包括ケアの充実	6

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の充実・強化	18
2	介護サービス基盤等の強化	17
3	こころの健康づくり	14
	からだの健康づくり	14
	生活支援サービスの充実	12
5	病気予防体制の充実	12
	社会保障制度の周知	12

■太田地域

順位	項目	回答数
1	こころの健康づくり	15
2	介護サービス基盤等の強化	14
3	地域医療体制の充実・強化	12
4	からだの健康づくり	11
	病気予防体制の充実	11

2.5.4 環境・安全分野

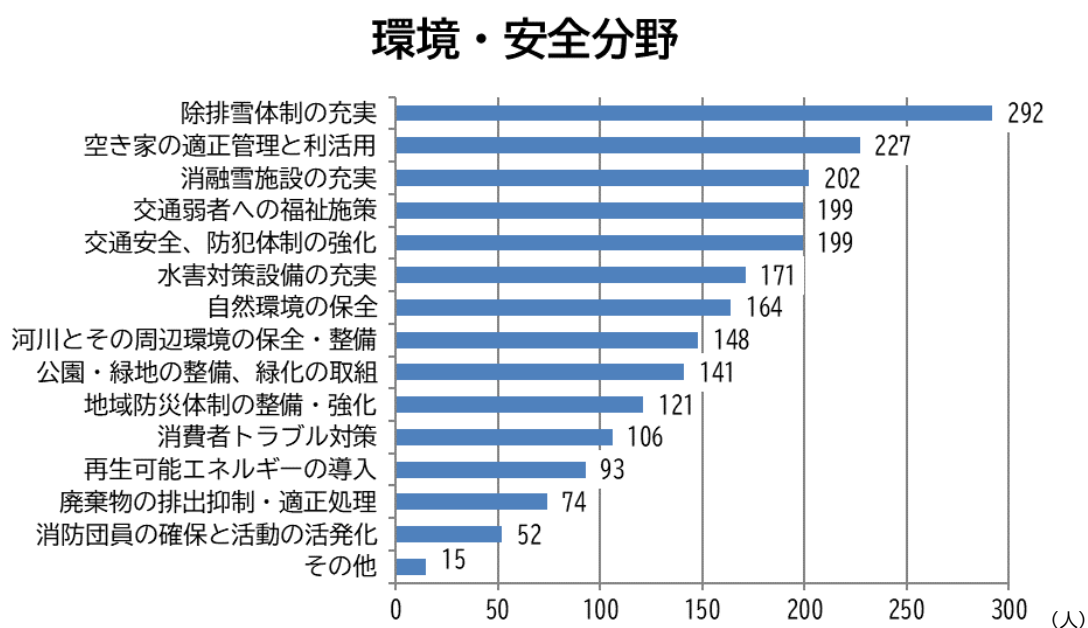
さらに推進すべき取組の上位は、昨年度と同順で「除排雪体制の充実」「空き家の適正管理と利活用」「消融雪施設の充実」の順となっている。

一方、下位は、「消防団員の確保と活動の活発化」「廃棄物の排出抑制・適正処理」「再生可能エネルギーの導入」の順となっている。

年代別で見ると、全ての年代で「除排雪体制の充実」が上位に入っており、10代・30代から60代では最も多くなっているほか、80代を除く全ての年代で「消融雪施設の充実」も上位に入っている。そのほか、20代以外で「空き家の適正管理と利活用」、50代以上で「交通弱者への福祉施策」、60代・70代を除く年代で「交通安全・防犯体制の強化」、10代で「再生可能エネルギーの導入」、10代・30代で「公園・緑地の整備、緑化の取組」が上位に入っている。

地域別で見ると、昨年度と同様、太田地域以外で「除排雪体制の充実」が最も多く、太田地域では「空き家の適正管理と利活用」が最も多くなっている。また、大曲・中仙地域以外で「交通弱者への福祉施策」、大曲・西仙北地域で「水害対策設備の充実」、中仙・南外・仙北地域で「自然環境の保全」が上位に入っている。

図表 30 さらに推進すべき取組（回答数順）
環境・安全分野



図表 31 年代別による「さらに推進すべき取組」（上位）

環境・安全分野

■10代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	17
2	空き家の適正管理と利活用	13
3	再生可能エネルギーの導入	12
4	消融雪施設の充実	11
	交通安全、防犯体制の強化	11
	公園・緑地の整備、緑化の取組	11

■20代

順位	項目	回答数
1	自然環境の保全	18
2	除排雪体制の充実	17
3	消融雪施設の充実	15
4	河川とその周辺環境の保全・整備	14
5	交通安全、防犯体制の強化	13

■30代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	43
2	空き家の適正管理と利活用	34
3	消融雪施設の充実	30
4	交通安全、防犯体制の強化	28
	公園・緑地の整備、緑化の取組	28

■40代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	42
2	交通安全、防犯体制の強化	31
3	空き家の適正管理と利活用	30
	消融雪施設の充実	30
5	水害対策設備の充実	29

■50代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	47
2	空き家の適正管理と利活用	38
3	交通安全、防犯体制の強化	37
4	消融雪施設の充実	36
5	交通弱者への福祉施策	35

■60代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	57
2	空き家の適正管理と利活用	40
3	交通弱者への福祉施策	35
4	河川とその周辺環境の保全・整備	34
5	消融雪施設の充実	33

■70代

順位	項目	回答数
1	交通弱者への福祉施策	55
2	除排雪体制の充実	53
3	空き家の適正管理と利活用	43
4	消融雪施設の充実	37
	自然環境の保全	37

■80代

順位	項目	回答数
1	水害対策設備の充実	18
2	空き家の適正管理と利活用	17
3	交通弱者への福祉施策	15
	除排雪体制の充実	15
5	交通安全、防犯体制の強化	13
	地域防災体制の整備・強化	13

図表 32 地域別による「さらに推進すべき取組」（上位）

環境・安全分野

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	140
2	空き家の適正管理と利活用	112
3	消融雪施設の充実	110
4	水害対策設備の充実	99
5	交通安全、防犯体制の強化	90

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	19
2	交通弱者への福祉施策	16
3	空き家の適正管理と利活用	12
4	消融雪施設の充実	11
	河川とその周辺環境の保全・整備	11

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	25
2	交通弱者への福祉施策	23
3	消融雪施設の充実	21
	交通安全、防犯体制の強化	21
5	水害対策設備の充実	18

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	34
2	交通安全、防犯体制の強化	30
3	空き家の適正管理と利活用	26
4	河川とその周辺環境の保全・整備	22
5	自然環境の保全	21

■協和地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	24
2	交通弱者への福祉施策	19
3	消融雪施設の充実	16
4	空き家の適正管理と利活用	15
5	交通安全、防犯体制の強化	14
	地域防災体制の整備・強化	14

■南外地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	12
2	交通弱者への福祉施策	7
	空き家の適正管理と利活用	7
	公園・緑地の整備、緑化の取組	7
5	消融雪施設の充実	5
	自然環境の保全	5
	再生可能エネルギーの導入	5
	廃棄物の排出抑制・適正処理	5

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	23
2	空き家の適正管理と利活用	21
	交通安全、防犯体制の強化	21
4	自然環境の保全	17
5	交通弱者への福祉施策	16

■太田地域

順位	項目	回答数
1	空き家の適正管理と利活用	16
2	除排雪体制の充実	15
3	交通安全、防犯体制の強化	12
	消融雪施設の充実	12
5	交通弱者への福祉施策	11

2.5.5 都市基盤分野

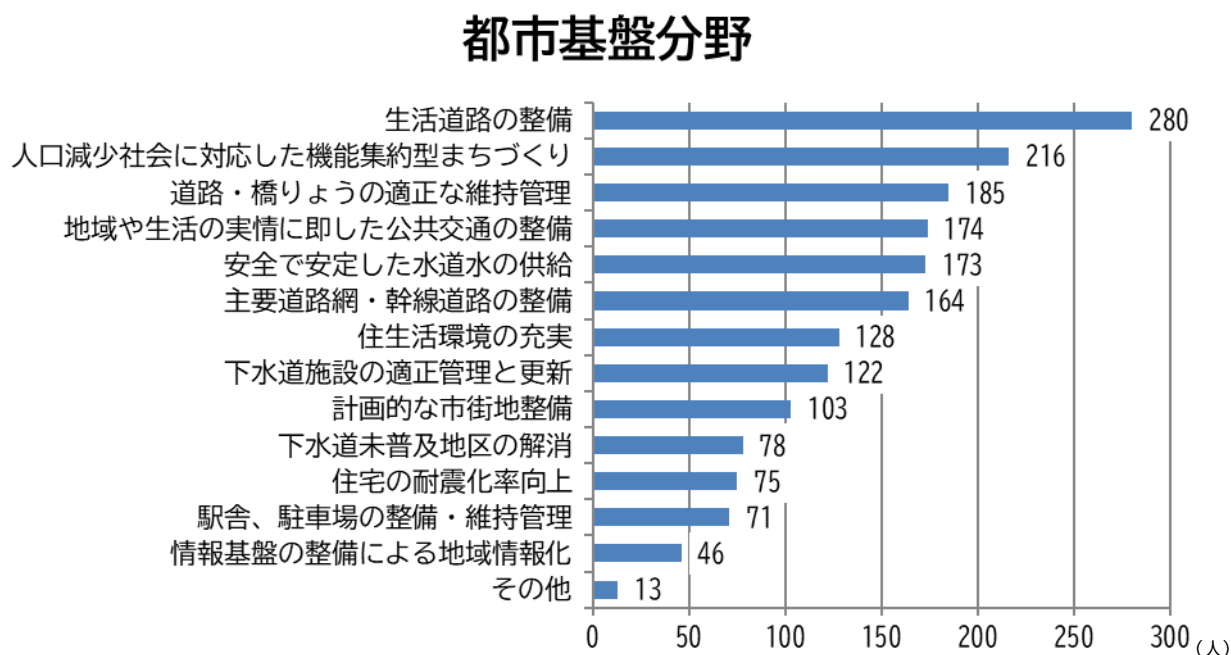
さらに推進すべき取組の上位は、「生活道路の整備」に次ぎ、「人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり」「道路・橋りょうの適正な維持管理」の順となっている。

一方、下位は、昨年度と同順で「情報基盤の整備による地域情報化」「駅舎、駐車場の整備・維持管理」「住宅の耐震化率向上」の順となっている。

年代別で見ると、全ての年代で「生活道路の整備」「道路・橋りょうの適正な維持管理」が上位に入っており、「生活道路の整備」については全ての年代で最も多くなっている。また、40代を除く全ての年代で「人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり」、10代・40代・60代以上で「地域や生活の実情に即した公共交通の整備」、30代・50代以上で「安全で安定した水道水の供給」が上位に入っている。

地域別で見ると、全ての地域で「生活道路の整備」「人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり」が上位に入っている。また、仙北・太田地域以外で「安全で安定した水道水の供給」、大曲地域以外では「地域や生活の実情に即した公共交通の整備」が上位に入っている。

図表 33 さらに推進すべき取組（回答数順）
都市基盤分野



図表 34 年代別による「さらに推進すべき取組」（上位）

都市基盤分野

■10代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	18
2	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	15
3	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	10
4	道路・橋りょうの適正な維持管理	9
	主要道路網・幹線道路の整備	9
	計画的な市街地整備	9

■20代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	18
2	主要道路網・幹線道路の整備	16
3	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	15
4	道路・橋りょうの適正な維持管理	10
	住生活環境の充実	10

■30代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	35
2	道路・橋りょうの適正な維持管理	34
3	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	31
4	安全で安定した水道水の供給	30
5	下水道施設の適正管理と更新	29

■40代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	42
2	主要道路網・幹線道路の整備	28
3	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	27
4	道路・橋りょうの適正な維持管理	23
5	住生活環境の充実	22

■50代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	45
2	道路・橋りょうの適正な維持管理	33
	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	33
4	主要道路網・幹線道路の整備	32
5	安全で安定した水道水の供給	29

■60代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	49
2	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	38
3	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	33
4	安全で安定した水道水の供給	32
5	道路・橋りょうの適正な維持管理	31

■70代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	50
2	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	48
3	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	46
4	安全で安定した水道水の供給	32
	道路・橋りょうの適正な維持管理	32

■80代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	23
2	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	17
3	安全で安定した水道水の供給	14
4	道路・橋りょうの適正な維持管理	13
5	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	11

図表 35 地域別による「さらに推進すべき取組」（上位）

都市基盤分野

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	130
2	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	105
3	道路・橋りょうの適正な維持管理	98
4	安全で安定した水道水の供給	87
5	主要道路網・幹線道路の整備	85

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	16
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	14
3	生活道路の整備	12
	道路・橋りょうの適正な維持管理	12
5	安全で安定した水道水の供給	7
	主要道路網・幹線道路の整備	7
	下水道未普及地区の解消	7

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	29
2	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	25
3	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	23
4	道路・橋りょうの適正な維持管理	17
	安全で安定した水道水の供給	17
	主要道路網・幹線道路の整備	17

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	31
2	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	27
3	主要道路網・幹線道路の整備	25
4	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	21
5	安全で安定した水道水の供給	20

■協和地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	21
	安全で安定した水道水の供給	21
3	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	16
4	道路・橋りょうの適正な維持管理	15
5	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	13

■南外地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	11
2	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	7
3	安全で安定した水道水の供給	6
	住生活環境の充実	6
5	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	5

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	27
2	道路・橋りょうの適正な維持管理	17
3	主要道路網・幹線道路の整備	14
4	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	13
	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	13

■太田地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	19
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	14
3	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	10
4	道路・橋りょうの適正な維持管理	7
	住生活環境の充実	7
	計画的な市街地整備	7

2.5.6 教育・交流分野

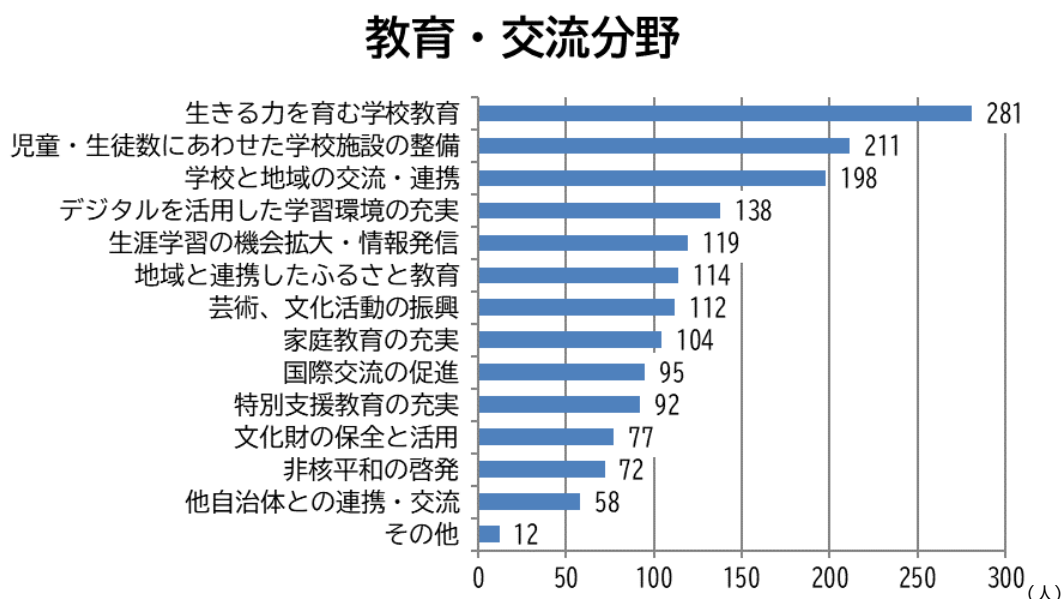
さらに推進すべき取組の上位は、昨年と同順で「生きる力を育む学校教育」「児童・生徒数にあわせた学校施設の整備」「学校と地域の交流・連携」の順となっている。

一方、下位は、「他自治体との連携・交流」「非核平和の啓発」「文化財の保全と活用」の順となっている。

年代別で見ると、全ての年代で「生きる力を育む学校教育」「学校と地域の交流・連携」が上位に入っており、「生きる力を育む学校教育」については、全ての年代で最も多くなっている。そのほか、10代を除く全ての年代で「児童・生徒数にあわせた学校施設の整備」、60代以上で「地域と連携したふるさと教育」、40代以下で「デジタルを活用した学習環境の充実」が上位に入っている。

地域別で見ると、全ての地域で「生きる力を育む学校教育」「児童・生徒数にあわせた学校施設の整備」が上位に入っており、西仙北・中仙地域で「児童・生徒数にあわせた学校施設の整備」、大曲・神岡・協和・南外・太田地域で「生きる力を育む学校教育」が最も多くなっている。そのほか、大曲・太田地域以外で「デジタルを活用した学習環境の充実」、南外地域以外で「学校と地域の交流・連携」、西仙北・中仙・協和・太田地域では「地域と連携したふるさと教育」が上位に入っている。

図表 36 さらに推進すべき取組（回答数順）
教育・交流分野



図表 37 年代別による「さらに推進すべき取組」（上位）

教育・交流分野

■10代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	14
2	デジタルを活用した学習環境の充実	13
3	学校と地域の交流・連携	10
	芸術、文化活動の振興	10
	国際交流の促進	10

■20代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	20
2	学校と地域の交流・連携	16
3	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	12
	家庭教育の充実	12
5	デジタルを活用した学習環境の充実	11

■30代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	37
2	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	30
3	学校と地域の交流・連携	28
4	芸術、文化活動の振興	23
5	デジタルを活用した学習環境の充実	20

■40代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	41
2	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	32
3	学校と地域の交流・連携	30
4	デジタルを活用した学習環境の充実	20
	家庭教育の充実	20

■50代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	45
2	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	33
3	学校と地域の交流・連携	25
4	生涯学習の機会拡大・情報発信	20
5	芸術、文化活動の振興	18

■60代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	54
2	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	38
3	学校と地域の交流・連携	37
4	デジタルを活用した学習環境の充実	32
5	地域と連携したふるさと教育	24

■70代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	53
2	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	48
3	学校と地域の交流・連携	39
4	生涯学習の機会拡大・情報発信	26
5	地域と連携したふるさと教育	22

■80代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	16
2	学校と地域の交流・連携	13
3	地域と連携したふるさと教育	11
4	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	9
5	生涯学習の機会拡大・情報発信	8

図表 38 地域別による「さらに推進すべき取組」（上位）

教育・交流分野

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	138
2	学校と地域の交流・連携	94
3	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	92
4	芸術、文化活動の振興	65
5	生涯学習の機会拡大・情報発信	64

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	19
2	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	14
3	デジタルを活用した学習環境の充実	11
4	学校と地域の交流・連携	10
5	芸術、文化活動の振興	6
	家庭教育の充実	6
	国際交流の促進	6

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	23
2	生きる力を育む学校教育	21
3	学校と地域の交流・連携	19
4	デジタルを活用した学習環境の充実	14
5	地域と連携したふるさと教育	12

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	29
	生きる力を育む学校教育	29
3	学校と地域の交流・連携	24
4	デジタルを活用した学習環境の充実	18
	地域と連携したふるさと教育	18
	家庭教育の充実	18

■協和地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	20
2	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	16
3	学校と地域の交流・連携	14
4	デジタルを活用した学習環境の充実	11
	地域と連携したふるさと教育	11

■南外地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	13
2	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	9
3	デジタルを活用した学習環境の充実	6
4	国際交流の促進	6
5	家庭教育の充実	5

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	学校と地域の交流・連携	17
2	生きる力を育む学校教育	16
	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	16
4	デジタルを活用した学習環境の充実	10
5	生涯学習の機会拡大・情報発信	8

■太田地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	25
2	学校と地域の交流・連携	16
3	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	12
4	地域と連携したふるさと教育	11
5	生涯学習の機会拡大・情報発信	7

2.5.7 地域活性化・市民との協働・行政運営分野

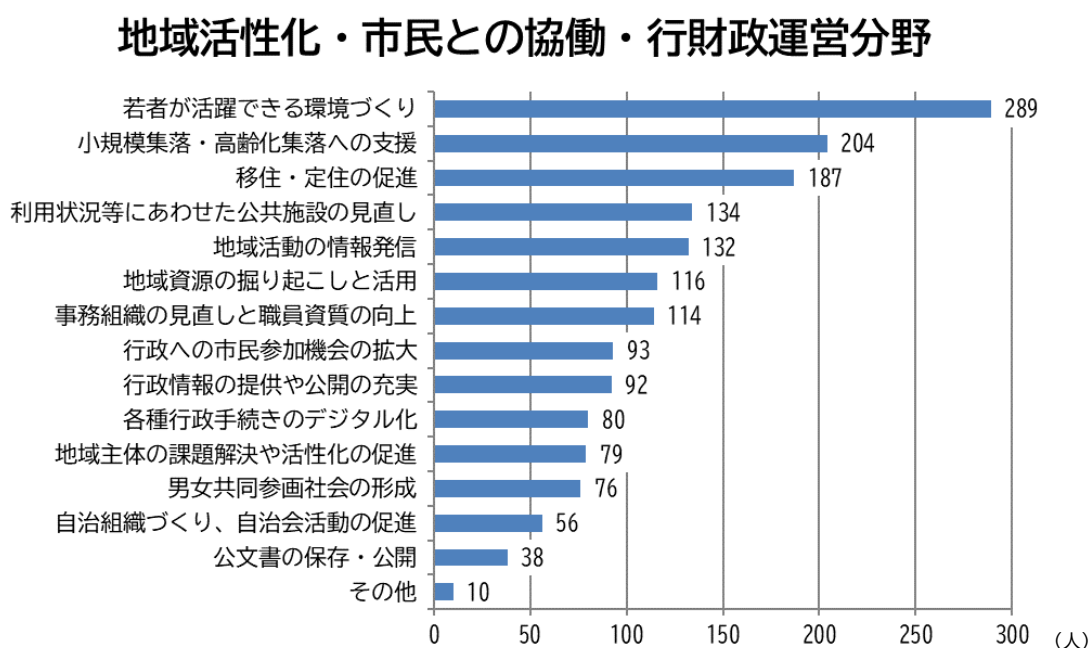
さらに推進すべき取組の上位は、昨年と同順の「若者が活躍できる環境づくり」「小規模集落・高齢化集落への支援」「移住・定住の促進」の順となっている。

一方、下位は、「公文書の保存・公開」「自治組織づくり、自治会活動の促進」「男女共同参画社会の形成」の順となっている。

年代別で見ると、全ての年代で「若者が活躍できる環境づくり」「移住・定住の促進」が上位に入っており、30代と80代を除く年代では「若者が活躍できる環境づくり」が最も多くなっている。また、30代以上で「小規模集落・高齢化集落への支援」「利用状況等にあわせた公共施設の見直し」、30代以下で「地域資源の掘り起こしと活用」が上位に入っている。

地域別で見ると、全ての地域で「若者が活躍できる環境づくり」「小規模集落・高齢化集落への支援」「移住・定住の促進」が上位に入っており、協和、南外地域では「小規模集落・高齢化集落への支援」が最も多く、それ以外の地域では「若者が活躍できる環境づくり」が最も多くなっている。そのほか、大曲・神岡・西仙北・南外・仙北地域で「利用状況等にあわせた公共施設の見直し」、神岡・中仙・協和・仙北地域で「事務組織の見直しと職員資質の向上」、協和・南外地域以外で「地域活動の情報発信」が上位に入っている。

図表 39 さらに推進すべき取組（回答数順）
地域活性化・市民との協働・行政運営分野



図表 40 年代別による「さらに推進すべき取組」（上位）
地域活性化・市民との協働・行政運営分野

■10代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	21
2	地域活動の情報発信	13
3	移住・定住の促進	12
4	地域資源の掘り起こしと活用	6
	男女共同参画社会の形成	6

■20代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	27
2	地域資源の掘り起こしと活用	14
3	地域活動の情報発信	13
	男女共同参画社会の形成	13
5	移住・定住の促進	12

■30代

順位	項目	回答数
1	移住・定住の促進	29
2	若者が活躍できる環境づくり	28
3	小規模集落・高齢化集落への支援	24
4	利用状況等にあわせた公共施設の見直し	22
5	事務組織の見直しと職員資質の向上	20
	地域資源の掘り起こしと活用	20

■40代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	45
2	利用状況等にあわせた公共施設の見直し	22
3	移住・定住の促進	21
4	小規模集落・高齢化集落への支援	19
5	地域活動の情報発信	18

■50代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	37
2	移住・定住の促進	31
3	小規模集落・高齢化集落への支援	30
4	事務組織の見直しと職員資質の向上	24
5	利用状況等にあわせた公共施設の見直し	22

■60代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	55
2	小規模集落・高齢化集落への支援	40
3	移住・定住の促進	37
4	利用状況等にあわせた公共施設の見直し	23
	地域活動の情報発信	23
	行政情報の提供や公開の充実	23

■70代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	57
2	小規模集落・高齢化集落への支援	56
3	移住・定住の促進	30
4	利用状況等にあわせた公共施設の見直し	28
5	地域活動の情報発信	26

■80代

順位	項目	回答数
1	小規模集落・高齢化集落への支援	21
2	若者が活躍できる環境づくり	19
3	移住・定住の促進	15
4	行政への市民参加機会の拡大	9
5	利用状況等にあわせた公共施設の見直し	8

図表 41 地域別による「さらに推進すべき取組」（上位）

地域活性化・市民との協働・行政運営分野

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	145
2	移住・定住の促進	99
3	小規模集落・高齢化集落への支援	77
4	利用状況等にあわせた公共施設の見直し	74
5	地域活動の情報発信	64

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	17
2	小規模集落・高齢化集落への支援	14
3	移住・定住の促進	11
4	利用状況等にあわせた公共施設の見直し	10
5	地域活動の情報発信	8
	事務組織の見直しと職員資質の向上	8

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	21
2	小規模集落・高齢化集落への支援	18
3	地域活動の情報発信	16
4	移住・定住の促進	12
5	利用状況等にあわせた公共施設の見直し	11
	行政情報の提供や公開の充実	11

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	42
2	小規模集落・高齢化集落への支援	30
3	移住・定住の促進	17
	事務組織の見直しと職員資質の向上	17
5	地域活動の情報発信	16

■協和地域

順位	項目	回答数
1	小規模集落・高齢化集落への支援	21
2	若者が活躍できる環境づくり	14
3	地域資源の掘り起こしと活用	13
4	移住・定住の促進	12
5	事務組織の見直しと職員資質の向上	9

■南外地域

順位	項目	回答数
1	小規模集落・高齢化集落への支援	12
2	若者が活躍できる環境づくり	10
3	移住・定住の促進	9
4	行政への市民参加機会の拡大	5
	利用状況等にあわせた公共施設の見直し	5

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	24
2	小規模集落・高齢化集落への支援	19
3	移住・定住の促進	14
4	利用状況等にあわせた公共施設の見直し	9
5	事務組織の見直しと職員資質の向上	8
	地域資源の掘り起こしと活用	8
	地域活動の情報発信	8

■太田地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	16
2	小規模集落・高齢化集落への支援	13
	移住・定住の促進	13
4	地域活動の情報発信	11
5	地域資源の掘り起こしと活用	9

2.5.8 さらに推進すべき取組の総括

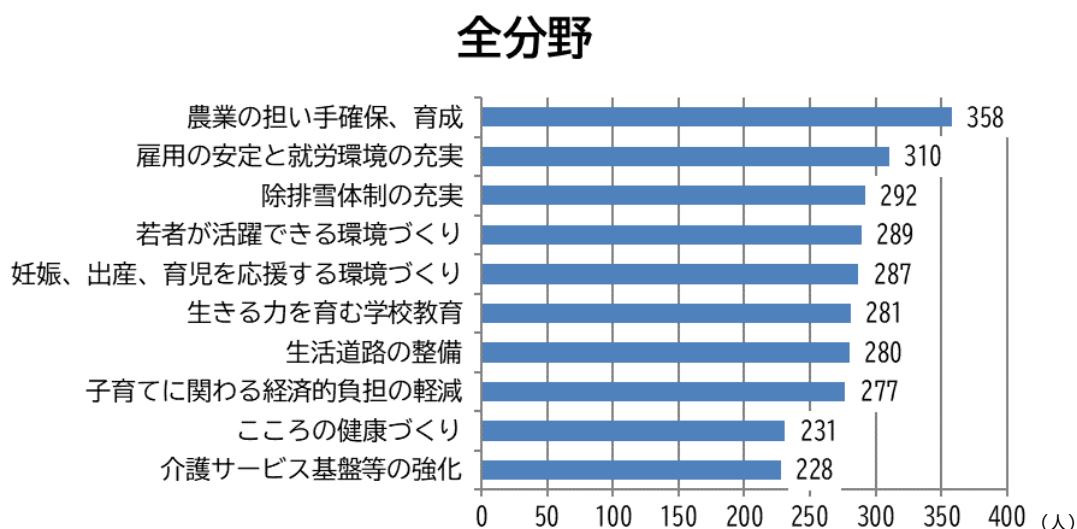
分野を分けずに全ての項目において比較すると、さらに推進すべき取組の上位となっているのは、「農業の担い手確保、育成」「雇用の安定と就労環境の充実」「除排雪体制の充実」「若者が活躍できる環境づくり」「妊娠、出産、育児を応援する環境づくり」の順となっている。

年代別で見ると、全ての年代で「農業の担い手確保、育成」が上位に挙げられており、特に40代以上では、最も多くなっている。また、30代で「妊娠中から切れ目のない子育て支援」、60代以下で「妊娠、出産、育児を応援する環境づくり」、70代以下で「子育てに関わる経済的負担の軽減」が上位に入るなど、幅広い年代で子育てに関する項目が挙げられている。そのほか、10代・20代では「若者が活躍できる環境づくり」、30代で「妊娠、出産、育児を応援する環境づくり」が最も多くなっている。10代以外では「雇用の安定と就労環境の充実」、20・30代で「魅力ある観光地づくり」が上位に入るなど、産業に関する項目も上位となっている。

地域別で見ると、大曲・西仙北・中仙・協和・仙北地域では「農業の担い手確保、育成」が最も多く、南外・太田地域でも2番目に多くなっている。神岡地域では「除排雪体制の充実」が最も多くなっており、その他の地域でも上位に入っている。神岡・南外・太田地域では「生きる力を育む学校教育」が最も多くなっており、西仙北・仙北地域以外でも上位に入っている。地域別においても年代別と同様に、産業、妊娠や出産、子育て、若者の活躍や起業に関する項目が全ての地域で上位に入っている。

図表 42 さらに推進すべき取組（回答数順）

全分野



図表 43 年代別による「さらに推進すべき取組」（上位）
全分野

■10代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	21
2	農業の担い手確保、育成	19
	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	19
4	生活道路の整備	18
5	除排雪体制の充実	17
	ワーク・ライフ・バランスの実現	17
7	結婚に関わる経済的負担の軽減	16
	子育てに関わる経済的負担の軽減	15
8	若者の起業促進	15
	こころの健康づくり	15
	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	15

■20代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	27
2	農業の担い手確保、育成	24
3	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	23
4	からだの健康づくり	22
5	子育てに関わる経済的負担の軽減	21
	結婚に関わる経済的負担の軽減	20
6	こころの健康づくり	20
	生きる力を育む学校教育	20
9	雇用の安定と就労環境の充実	19
	魅力ある観光地づくり	19

■30代

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	48
2	除排雪体制の充実	43
3	子育てに関わる経済的負担の軽減	42
4	農業の担い手確保、育成	41
5	雇用の安定と就労環境の充実	39
6	生きる力を育む学校教育	37
7	魅力ある観光地づくり	36
	生活道路の整備	35
8	地域医療体制の充実・強化	35
	妊娠中から切れ目のない子育て支援	35

■40代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	45
	若者が活躍できる環境づくり	45
	雇用の安定と就労環境の充実	42
3	除排雪体制の充実	42
	生活道路の整備	42
6	生きる力を育む学校教育	41
7	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	39
8	こころの健康づくり	37
9	若者の起業促進	35
10	子育てに関わる経済的負担の軽減	34

■50代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	53
2	雇用の安定と就労環境の充実	51
3	除排雪体制の充実	47
4	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	46
5	生活道路の整備	45
	生きる力を育む学校教育	45
7	子育てに関わる経済的負担の軽減	42
	介護サービス基盤等の強化	42
9	企業誘致の強化	40
10	こころの健康づくり	39

■60代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	69
2	雇用の安定と就労環境の充実	64
3	除排雪体制の充実	57
4	若者が活躍できる環境づくり	55
5	生きる力を育む学校教育	54
6	子育てに関わる経済的負担の軽減	53
7	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	52
8	介護サービス基盤等の強化	50
9	生活道路の整備	49
10	地域医療体制の充実・強化	47

■70代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	77
2	雇用の安定と就労環境の充実	61
3	若者が活躍できる環境づくり	57
4	子育てに関わる経済的負担の軽減	56
	小規模集落・高齢化集落への支援	56
6	交通弱者への福祉施策	55
7	除排雪体制の充実	53
	生きる力を育む学校教育	53
	生活道路の整備	50
9	地域医療体制の充実・強化	50
	企業誘致の強化	50

■80代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	30
2	生活道路の整備	23
	結婚を応援する環境づくり	23
4	小規模集落・高齢化集落への支援	21
5	雇用の安定と就労環境の充実	20
	若者が活躍できる環境づくり	19
6	介護サービス基盤等の強化	19
	からだの健康づくり	19
9	水害対策設備の充実	18
10	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	17
	空き家の適正管理と利活用	17

図表 44 地域別による「さらに推進すべき取組」（上位）

全分野

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	172
2	雇用の安定と就労環境の充実	152
3	若者が活躍できる環境づくり	145
4	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	143
5	除排雪体制の充実	140
6	生きる力を育む学校教育	138
7	子育てに関わる経済的負担の軽減	133
8	生活道路の整備	130
9	からだの健康づくり	116
	こころの健康づくり	116

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	19
	生きる力を育む学校教育	19
	企業誘致の強化	19
4	雇用の安定と就労環境の充実	18
	子育てに関わる経済的負担の軽減	18
6	若者が活躍できる環境づくり	17
	地域医療体制の充実・強化	17
8	農業の担い手確保、育成	16
	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	16
	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	16
	交通弱者への福祉施策	16

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	35
2	雇用の安定と就労環境の充実	31
3	生活道路の整備	29
4	介護サービス基盤等の強化	27
5	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	26
	からだの健康づくり	26
	除排雪体制の充実	25
7	地域医療体制の充実・強化	25
	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	25
10	こころの健康づくり	24
	結婚を応援する環境づくり	24

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	43
2	若者が活躍できる環境づくり	42
3	雇用の安定と就労環境の充実	36
4	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	35
5	除排雪体制の充実	34
6	生活道路の整備	31
	子育てに関わる経済的負担の軽減	31
8	交通安全、防犯体制の強化	30
	小規模集落・高齢化集落への支援	30
10	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	29
	生きる力を育む学校教育	29
	若者の起業促進	29

■協和地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	29
2	除排雪体制の充実	24
	子育てに関わる経済的負担の軽減	24
4	雇用の安定と就労環境の充実	23
5	生活道路の整備	21
	小規模集落・高齢化集落への支援	21
	安全で安定した水道水の供給	21
8	生きる力を育む学校教育	20
	地域医療体制の充実・強化	20
	介護サービス基盤等の強化	20

■南外地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	13
2	農業の担い手確保、育成	12
	除排雪体制の充実	12
	小規模集落・高齢化集落への支援	12
5	雇用の安定と就労環境の充実	11
	生活道路の整備	11
7	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	10
	若者が活躍できる環境づくり	10
	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	9
9	結婚を応援する環境づくり	9
	移住・定住の促進	9

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	28
2	雇用の安定と就労環境の充実	27
	生活道路の整備	27
4	若者が活躍できる環境づくり	24
5	除排雪体制の充実	23
	子育てに関わる経済的負担の軽減	23
7	空き家の適正管理と利活用	21
	交通安全、防犯体制の強化	21
9	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	20
10	小規模集落・高齢化集落への支援	19
	企業誘致の強化	19

■太田地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	25
2	農業の担い手確保、育成	23
3	生活道路の整備	19
	子育てに関わる経済的負担の軽減	19
5	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	18
6	若者が活躍できる環境づくり	16
	空き家の適正管理と利活用	16
	学校と地域の交流・連携	16
9	除排雪体制の充実	15
	こころの健康づくり	15

2.6 市の情報発信や行政サービスのデジタル化

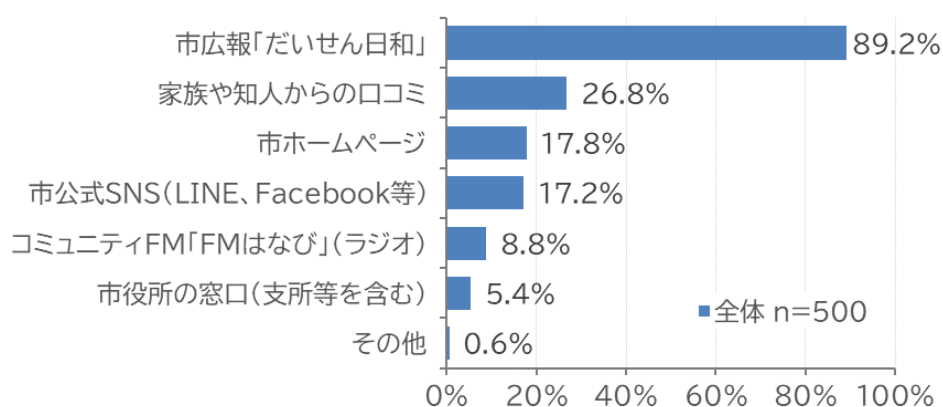
- ◆ 調査目的： 市では、「行かなくても済む『市役所』」を目指し、これまで各種証明書のコンビニ交付サービス、窓口支払いのキャッシュレス化、市公式 LINE アカウントからオンライン申請を可能とする機能の追加など、各種手続きのデジタル化を進めてきた。本調査では、市政情報の入手手段や行政サービスのデジタル化に関する意見を伺い、人口減少が進行する中であっても、デジタル技術を積極的に活用しながら、持続可能で、より質の高い行政サービスを提供し続けることができる環境づくりの参考とする。

2.6.1 市政情報の入手手段

【問1】市では様々な方法で市政情報を発信していますが、あなたがこの情報を入手するため、主に利用している手段は何ですか。（2つまで）

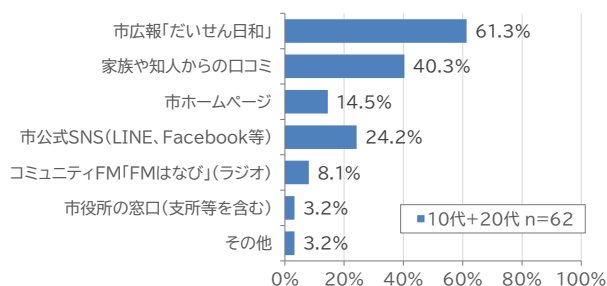
- 全体では、「市広報『だいせん日和』」（以下、「広報紙」）の割合が89.2%で最も高く、次いで「家族や知人からの口コミ」（以下、「口コミ」）が26.8%、「市ホームページ」が17.8%となっている。
- 年代別で見ると、全ての年代で「広報紙」が最も高く40代以上では9割を超えている。「家族や知人からの口コミ」は、10代と20代を合わせた年代で40.3%と最も高く、続いて70代で36.6%、80代で33.3%となっており、若年者層や高齢者層での割合が高くなっている。60代以下では「市ホームページ」や「市公式 SNS（LINE、Facebook 等）」の割合も高く、30代以下と60代では「市公式 SNS（LINE、Facebook 等）」の割合が「市ホームページ」を上回っている。

図表 45 「市政情報入手手段」（全体）

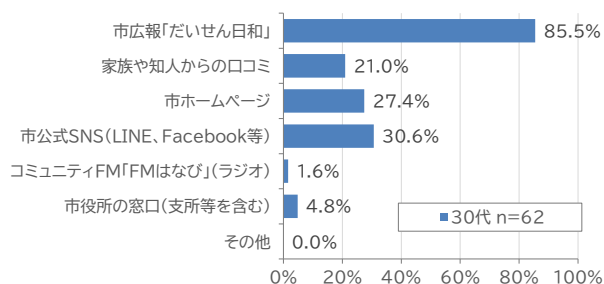


図表 46 年代別による「市政情報入手手段」

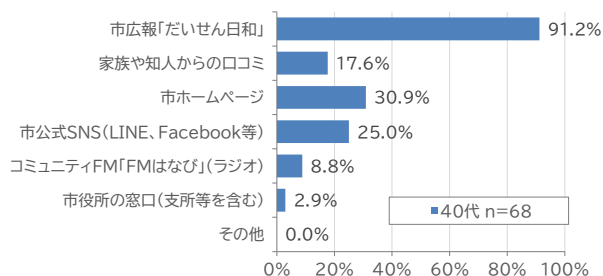
■10代+20代



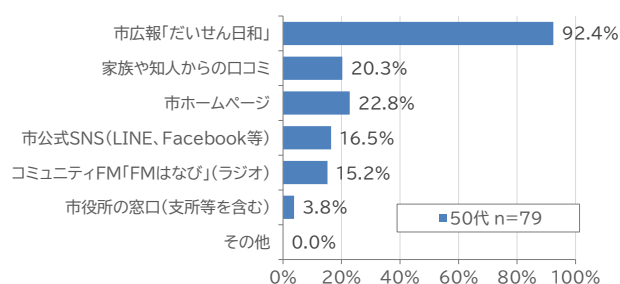
■30代



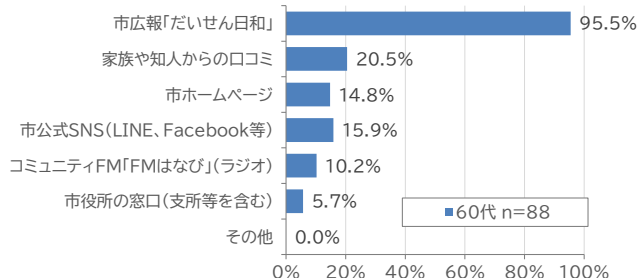
■40代



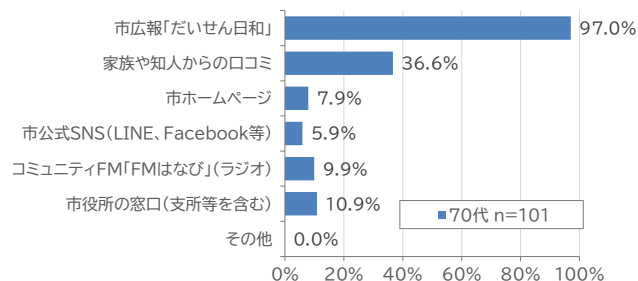
■50代



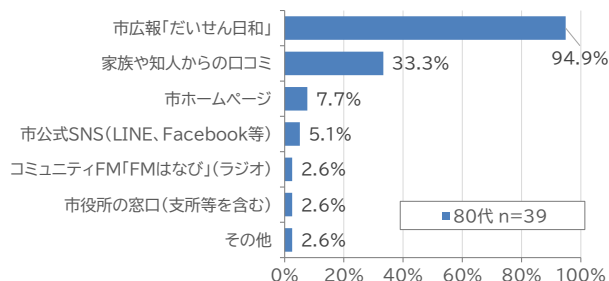
■60代



■70代



■80代



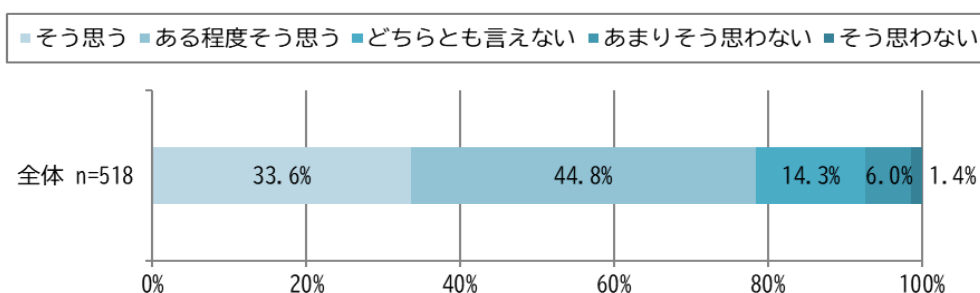
【問2】あなたにとって問1の情報入手手段は利用しやすいと思いますか。

(情報の入手しやすさ)

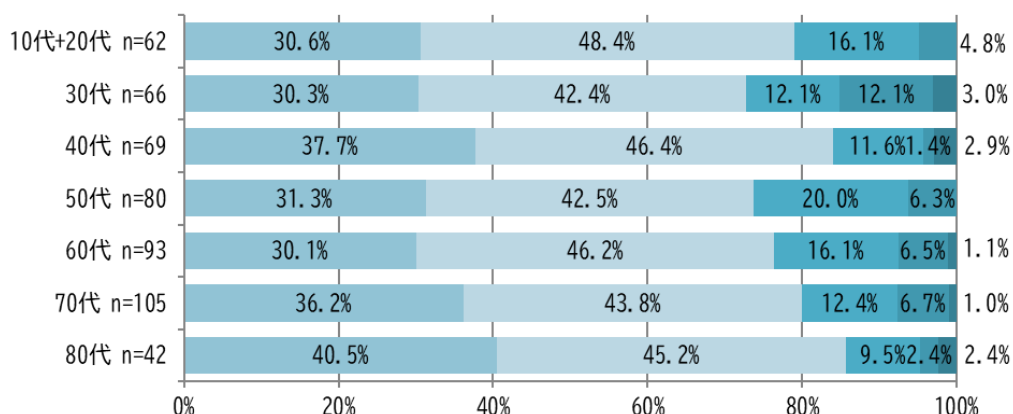
- 全体では、「そう思う（入手しやすい）」が33.6%、「ある程度そう思う（ある程度入手しやすい）」が44.8%となっており、「そう思う」「ある程度そう思う」を合わせた割合は、78.4%と8割近くになっている。
- 年代別で見ると、「そう思う」「ある程度そう思う」を合わせた割合が最も高いのは80代で85.7%、最も低いのは30代の72.7%となっており、13.0ポイントの差がある。「あまりそう思わない（あまり入手しやすいとは思わない）」「そう思わない（入手しやすいとは思わない）」を合わせた割合が最も高いのは30代で15.1%、最も低いのは40代で4.3%となっており、その差は10.8ポイントとなっている。

図表 47 市政情報の入手しやすさ

■全体



■年代別



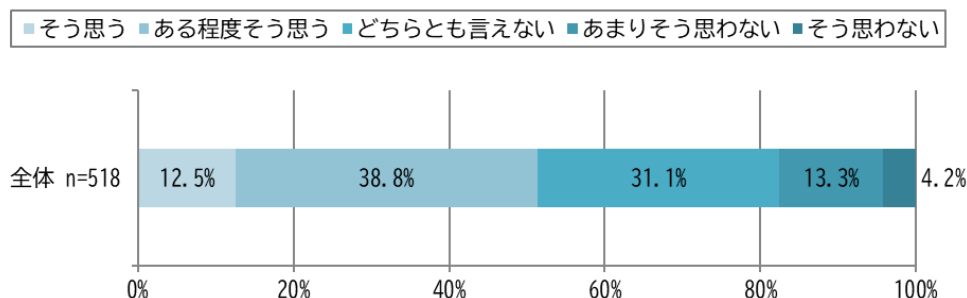
2.6.2 市が行っている行政サービスのデジタル化

【問3】あなたにとって市のサービスは利用しやすいと思いますか。

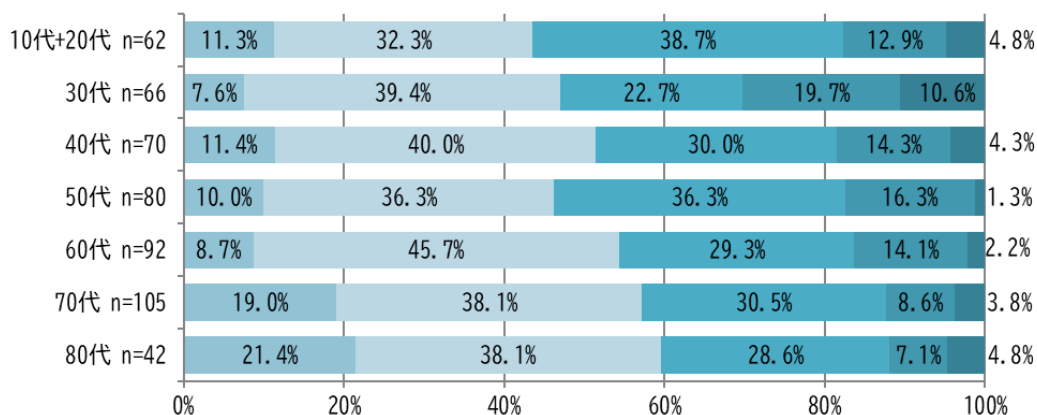
- 全体では、「そう思う（利用しやすい）」が12.5%、「ある程度そう思う（ある程度利用しやすい）」が38.8%となっており、「そう思う」「ある程度そう思う」を合わせた割合は51.3%と約5割となっている。
- 年代別で見ると、「そう思う」「ある程度そう思う」を合わせた割合は80代で59.5%と最も高くなっている一方、10代と20代を合わせた年代で43.6%と最も低くなっており、15.9ポイントの差がある。「あまりそう思わない（あまり利用しやすいとは思わない）」「そう思わない（利用しやすいとは思わない）」を合わせた割合は30代が30.3%で最も高くなっており、比較的若い年代の方が市のサービスを利用しにくいと感じている傾向がある。

図表 48 「市のサービスの利用しやすさ」

■全体



■年代別

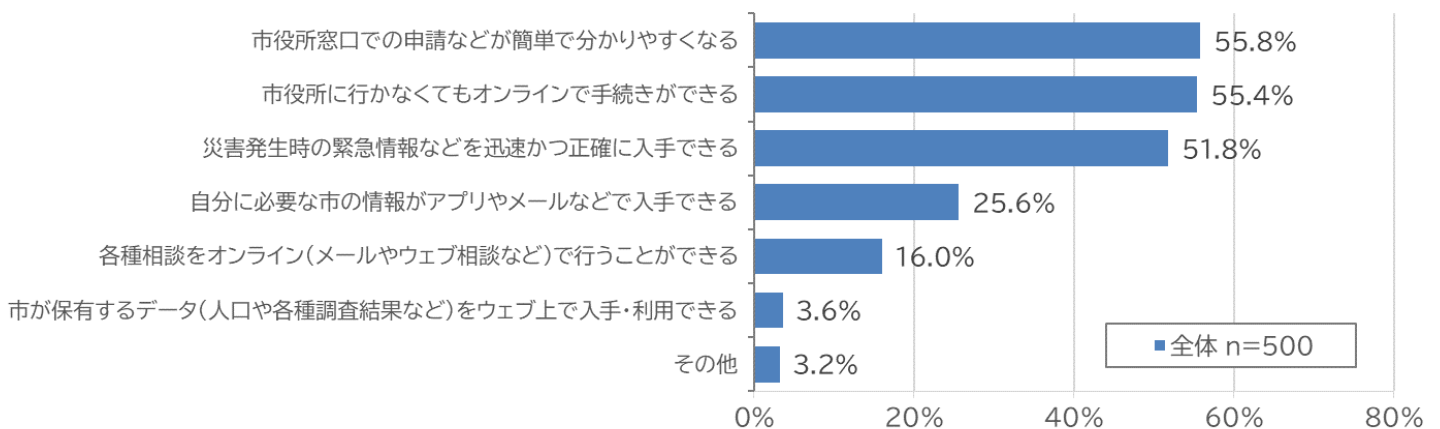


【問4】あなたは行政サービスのデジタル化が進むことで、市が行っているサービスがどのように良くなることを期待しますか。（3つまで）

- 全体では、「市役所窓口での申請などが簡単で分かりやすくなる」（以下、「申請が簡単になる」）の割合が55.8%で最も高く、次いで「市役所に行かなくてもオンラインで手続きができる」（以下、「オンライン手続き」）が55.4%、「災害発生時の緊急情報などを迅速かつ正確に入手できる」（以下、「緊急情報」）が51.8%となっている。上記3つは、他の回答と比較して20ポイント以上の差があり、期待が高い項目となっている。
- 年代別にみると、全年代で「申請が簡単になる」の割合が4割以上となっており、60代から80代では最も高くなっている。一方で、50代以下では「オンライン手続き」が最も高くなり、40代以下は7割を超えている。また、50代以上では「その他」が他の年代と比べて高くなり、その内容としてデジタル化への不安が多く挙げられている。

図表 49 「行政サービスのデジタル化に期待すること」

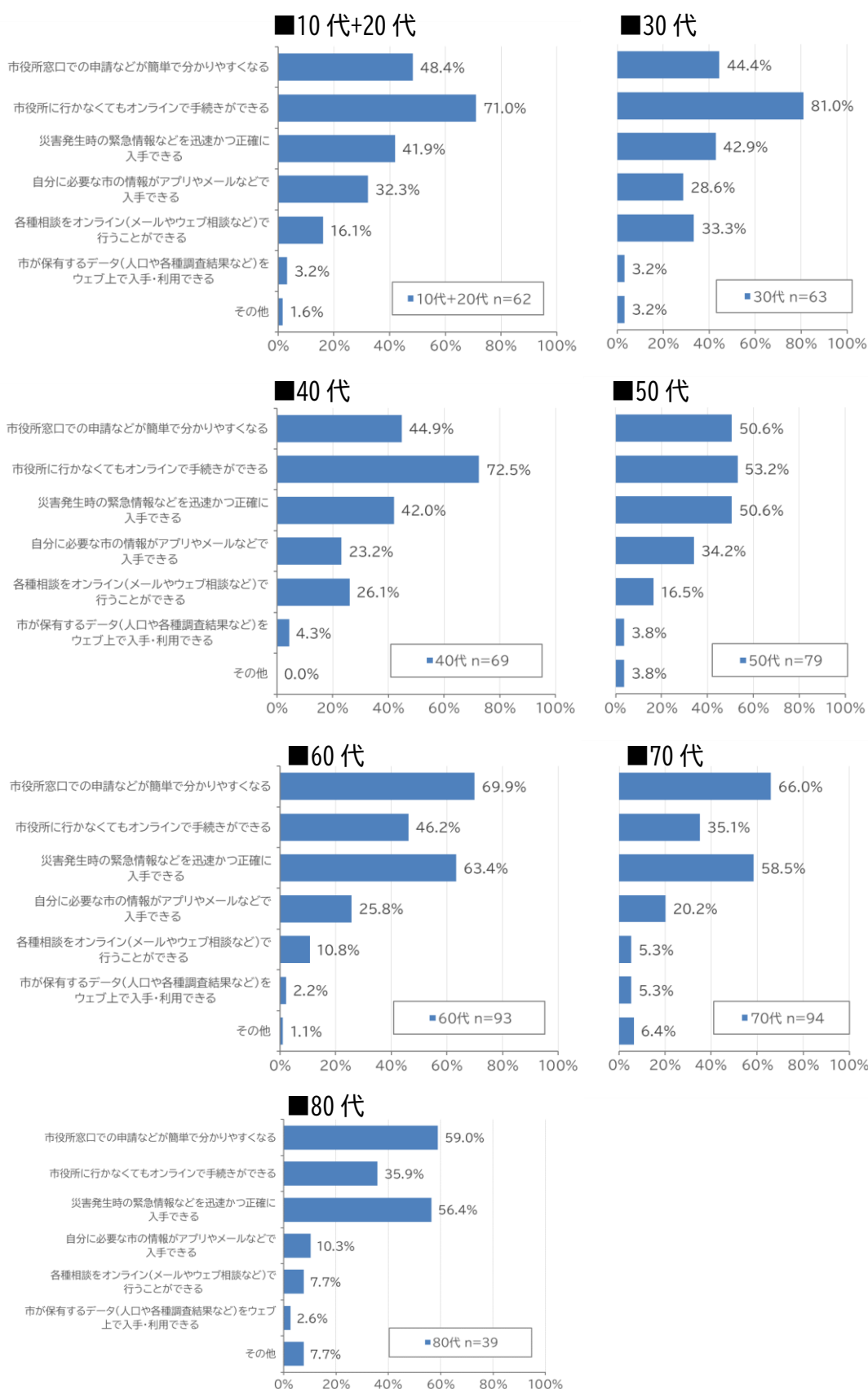
■全体



■その他の回答

- ・ スピーディーさの充実。(30代/男性/パート・アルバイト)
- ・ コンビニ手続きでできないことを、オンラインで申請して土日どちらか窓口受け取りに。
(30代/女性/正規社員・職員)
- ・ 携帯一つで多忙者が、24時間いつでも全てが行えること。(20代/無回答/正規社員・職員)
- ・ デジタルに慣れない人にも、親切な対応をとること。(50代/女性/パート・アルバイト)
- ・ 老人のため、デジタル化にはついていけません。
(80代/女性/自営業・家族従事者(農林業含む))
- ・ スマホ、パソコン持ってない。(70代/男性/正規社員・職員)
- ・ 家庭にデジタル情報で得るものがないので進むことで不便になっています。
(80代/女性/正規社員・職員)
- ・ スマホしか持ってないのに、その利用の仕方もよくわからない。(70代/女性/正規社員・職員)
- ・ 良くなると思うが、自分ではオンラインが出来ないので分からない。(70代/女性/その他)
- ・ デジタル化が進んでも、この年齢になっては使いこなせないと思う。(70代/女性/その他)
- ・ デジタル化は、わかりづらいので困ります。(60代/女性/正規社員・職員)
- ・ 市民全員がデジタル化に特化しているわけではない。取りこぼしがないようにと言うが、どうすれば実現出来るのか知りたい。デジタル化して便利なのは納得だが、それに伴う不都合な事も増えている気がする。(50代/女性/正規社員・職員)
- ・ デジタル化に付いていけない人にはどうでも良い事。面倒な操作が増えるだけ。
(50代/男性/自営業・家族従事者(農林業含む))
- ・ デジタル化に対応出来ないので期待しない。(70代/男性/正規社員・職員)

図表 50 年代別による「行政サービスのデジタル化に期待すること」



2.7 あなたが思う大仙市について

2.7.1 大仙市に住んでいる経緯

現在、大仙市に住んでいる経緯については、「生まれてからずっと住んでいる（以下、「生まれてからずっと」）」が53.9%で最も高く、次いで「市外に住んだことがあり、家族、仕事などの理由で引っ越して来た（以下、「市外経験あり、家族仕事都合で転入」）」が30.6%、「市外に住んだことがあり、自分の意志で引っ越して来た（以下、「市外経験あり、自己都合で転入」）」が15.4%となっている。

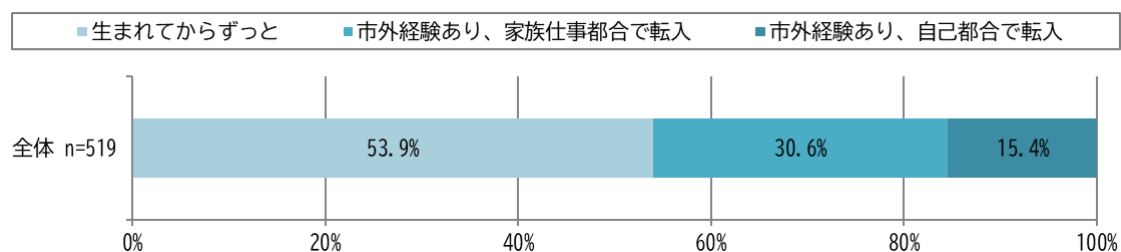
性別で見ると、「生まれてからずっと」は男性が60.9%となっており、女性の46.3%より14.6ポイント高くなっている。一方、「市外経験あり、家族仕事都合で転入」は男性が22.6%となっており、女性は16.7ポイント高い39.3%となっている。

年代別で見ると、「生まれてからずっと」が最も高いのは10代と20代を合わせた年代で77.4%となっており、次いで80代が69.0%で2番目に高くなっている。一方、最も低いのは40代で32.9%となっている。また、「市外経験あり、家族仕事都合で転入」が最も高いのは40代で45.7%となっており、「市外経験あり、自己都合で転入」が最も高いのは40代と80代で、21.4%となっている。

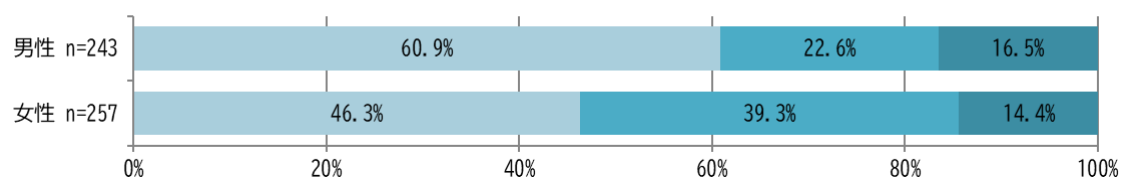
地域別で見ると、「生まれてからずっと」が最も高いのは西仙北地域で66.7%となっており、最も低いのは大曲地域で47.4%となっている。また、「市外経験あり、家族仕事都合で転入」が最も高いのは大曲地域で35.1%、「市外経験あり、自己都合で転入」が最も高いのは協和地域で18.4%となっている。

図表 51 大仙市に住んでいる経緯

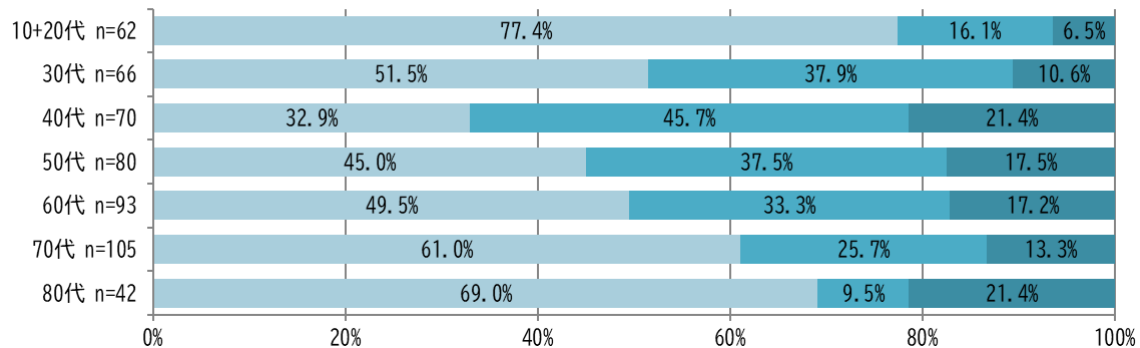
■全体



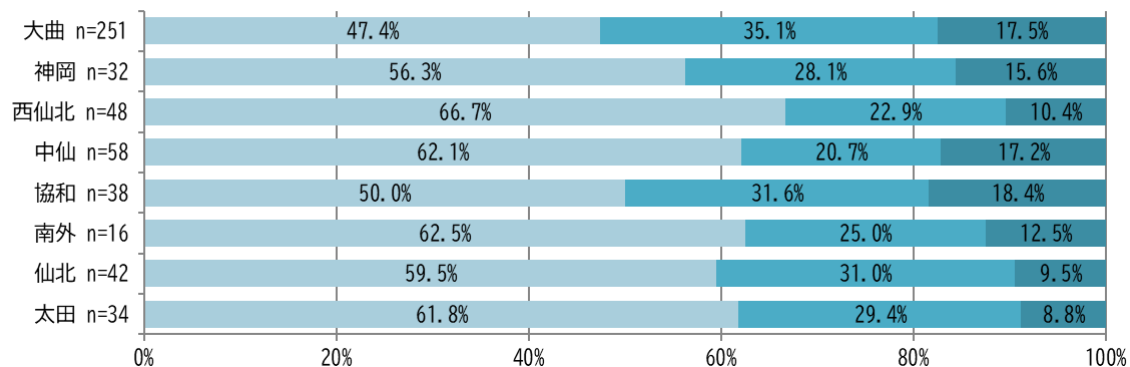
■性別



■年代別



■地域別



2.7.2 「住みやすさ」

■ 住みやすさ

「大仙市は住みやすいまちだと思いますか」という設問については、「どちらかといえば住みやすい」が 58.8%で最も高く、次いで「住みやすい」が 24.4%となっており、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は 83.2%となっている。

性別で見ると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合に大きな差異は見られないが、「住みやすい」は男性が 23.1%、女性が 25.1%となっており、女性が 2.0ポイント高くなっている。また、「どちらかといえば住みやすい」は男性が 59.9%、女性が 59.1%となっており、大きな差異は見られない。

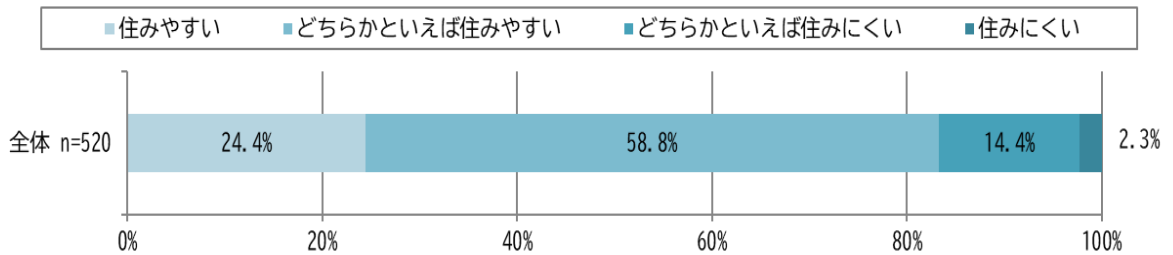
年代別で見ると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は、80代が 97.5%で最も高く、30代が 78.7%で最も低くなっている。また、「住みにくい」の割合が最も高いのは 40代で 4.3%となっており、他の年代よりも比較的高くなっている。

地域別で見ると、「住みやすい」は太田地域が 31.4%で最も高くなっており、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は、大曲地域が 86.5%で最も高くなっている。「どちらかといえば住みにくい」は西仙北地域が 25.0%で最も高くなっており、「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」を合わせた割合は南外地域が 35.3%で最も高くなっている。

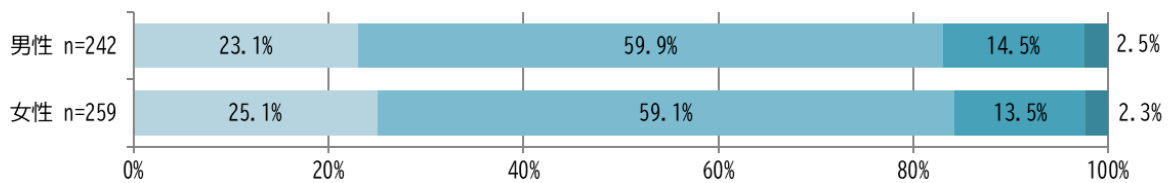
大仙市に住んでいる経緯別で見ると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は、「生まれてからずっと」と回答した方が 85.9%と最も高くなっており、「市外経験あり、自己都合で転入」と回答した方も 84.8%と高い割合となっている。一方で、「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」を合わせた割合は、「市外経験あり、家族仕事都合で転入」と回答した方が 22.7%と最も高くなっている。

図表 52 大仙市は住みやすいか

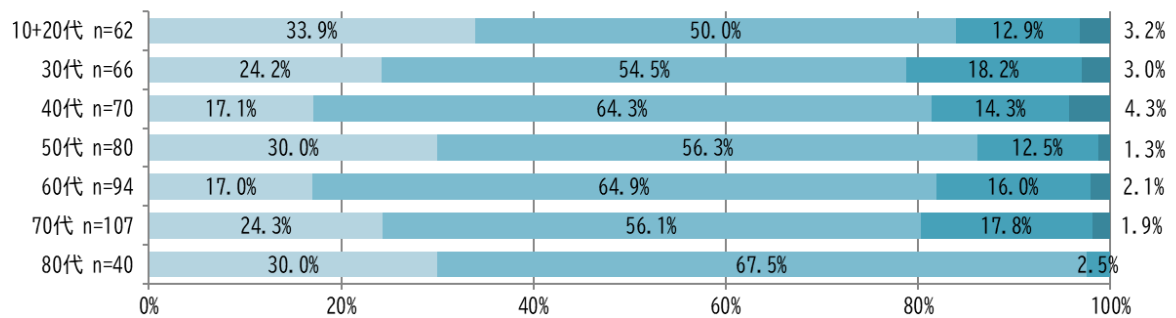
■全体



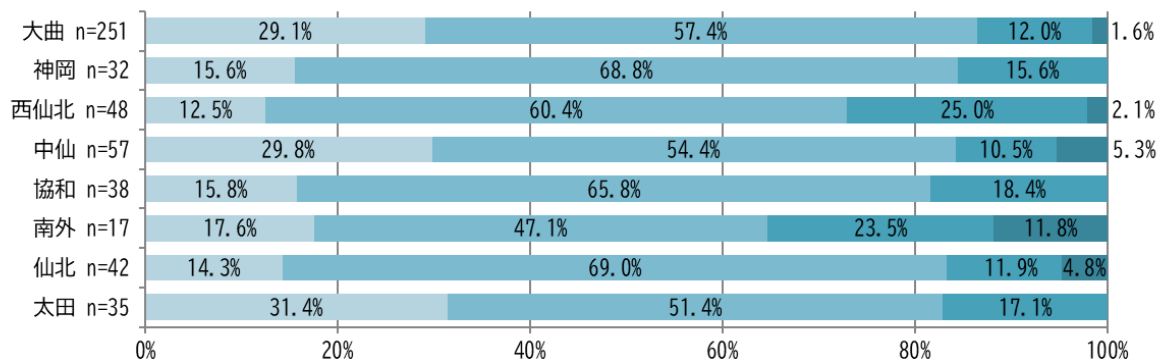
■性別



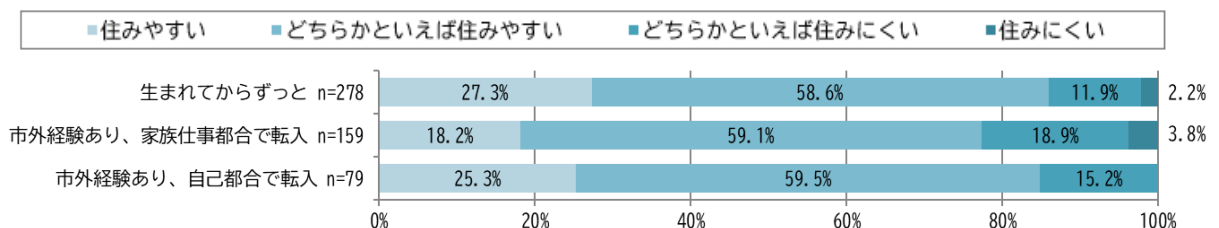
■年代別



■地域別



■住んでいる経緯別



■ 住み続けたさ

「これからも大仙市に住み続けたいと思いますか」という設問については、「今の場所に住み続けたい」と「市内の別の場所へ移りたい」をあわせた割合は、83.8%となっている。

性別で見ると、女性は「今の場所に住み続けたい」が72.9%となっており、男性の68.0%、よりも4.9ポイント高くなっている。男性は「市内の別の場所へ移りたい」「市外に移りたい」及び「住み続けたいが、移らざるを得ない」がそれぞれ女性よりも高くなっている。

年代別で見ると、全ての年代で「今の場所に住み続けたい」と回答した割合が最も高くなっており、年代が上がるにつれて高くなる傾向がある。また、「今の場所に住み続けたい」と「市内の別の場所へ移りたい」をあわせた割合は、40代以上で8割を超えている。一方で、「市外に移りたい」は、年代が下がるにつれて高くなる傾向にあり、10代と20代を合わせた年代では25.8%となっている。

地域別で見ると、「今の場所に住み続けたい」は中仙地域が77.6%、「市内の別の場所へ移りたい」「市外に移りたい」は南外地域が、それぞれ18.8%、31.3%と最も高くなっている。

大仙市に住んでいる経緯別で見ると、「今の場所に住み続けたい」は「市外経験あり、自己都合で転入」と回答した方が78.5%で最も高くなっている。一方、「市外に移りたい」が最も高くなっているのは「市外経験あり、家族仕事都合で転入」と回答した方となっている。

■ 「住みやすさ」と「住み続けたさ」の比較

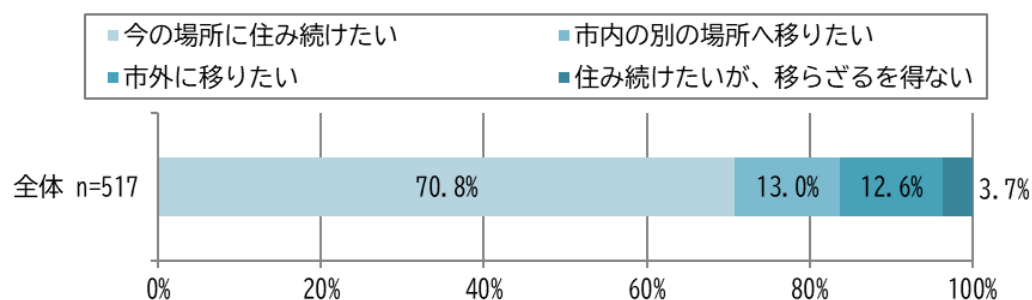
性別で見ると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は、女性がやや高い傾向となっている。また、「今の場所に住み続けたい」「市内の別の場所へ移りたい」「住み続けたいが、移らざるを得ない」を合わせた、市内のどこかに住み続けたいと思っている男性の割合は87.5%と、女性の87.2%よりも0.3ポイント高くなっている。

年代別で見ると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は、10代と20代、50代、80代が高い傾向となっている。また、「今の場所に住み続けたい」の割合は、60代、70代、80代が比較的高い傾向となっている。

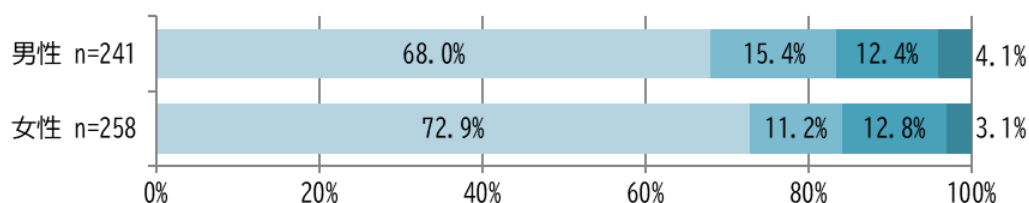
大仙市に住んでいる経緯別で見ると、「市外経験あり、家族仕事都合で転入」と回答した方は、「市外に移りたい」の割合が19.1%と高くなっているものの、7割を超える方が「住みやすい」「住み続けたい」と回答している。そのほか、10代+20代では「住みやすい」と感じているものの、「住み続けたさ」は低くなっている。一方、40代は「住みやすさ」は低いが、「住み続けたさ」は高い結果となっている。

図表 53 大仙市に住みたいか

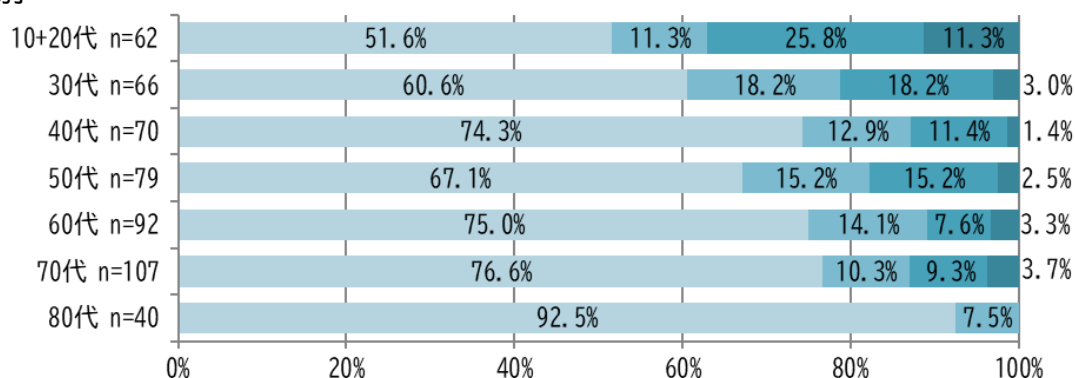
■全体



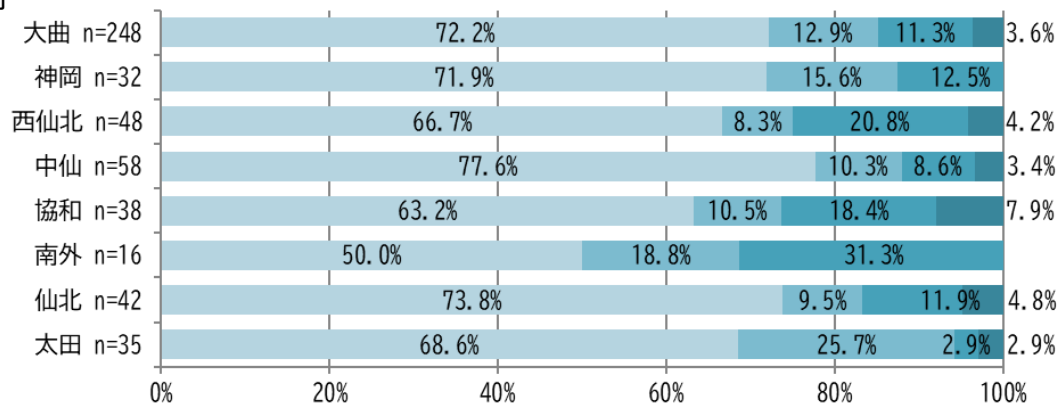
■性別



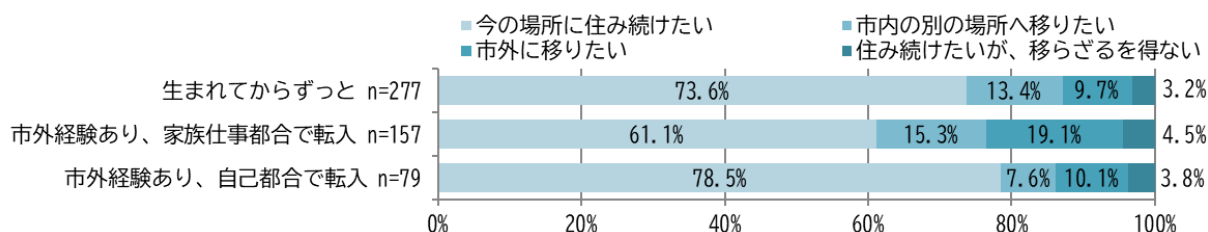
■年代別



■地域別



■住んでいる経緯別



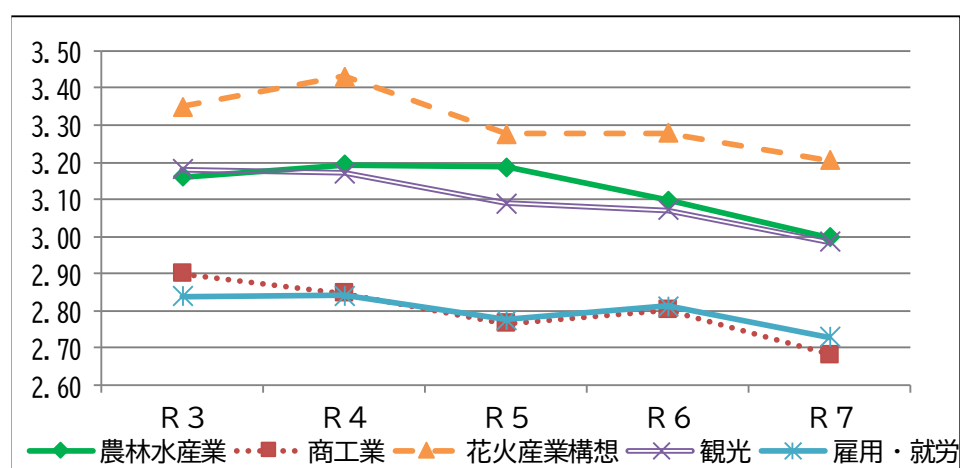
2.8 経年比較（5 か年分）

令和３年度から令和７年度までの５年間に於ける満足度、重要度、要望度の推移と本市の住みやすさについての５年間の推移をまとめた。

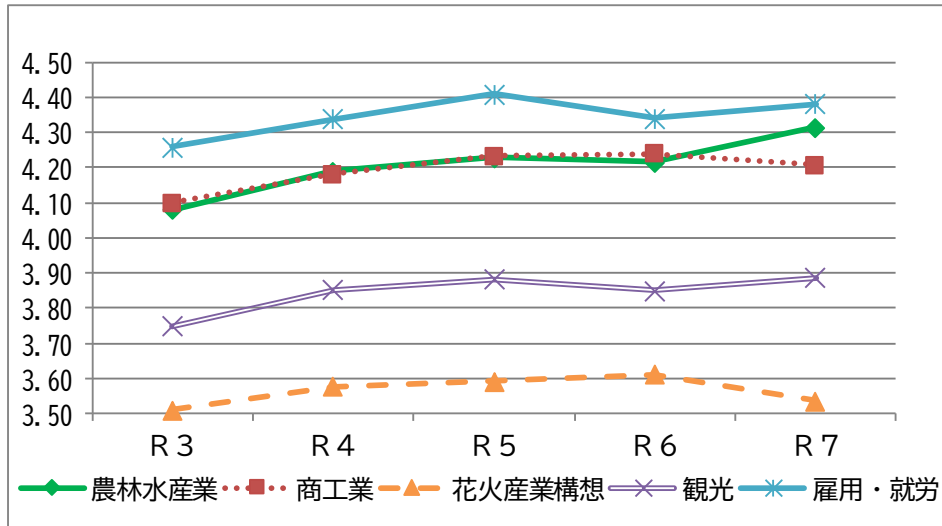
I 魅力ある産業のまちを創ります！～産業振興・雇用など～

満足度は全ての項目で、令和３年度から低下傾向で推移している。重要度は令和３年度から「農林水産業」「商工業」「雇用・就労」は高い割合で推移している。要望度は満足度の低下と重要度の上昇により、全ての項目で令和３年度から上昇傾向となっている。

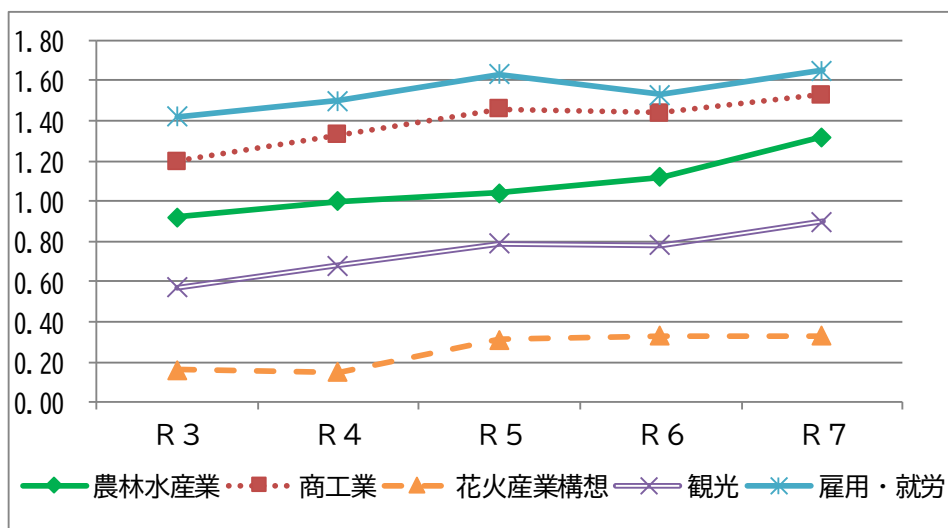
満足度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
農林水産業	3.16	3.19	3.19	3.10	3.00
商工業	2.90	2.85	2.77	2.80	2.68
花火産業構想	3.35	3.43	3.28	3.28	3.21
観光	3.18	3.17	3.09	3.07	2.99
雇用・就労	2.84	2.84	2.78	2.81	2.73



重要度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
農林水産業	4.08	4.19	4.23	4.22	4.32
商工業	4.10	4.18	4.23	4.24	4.21
花火産業構想	3.51	3.58	3.59	3.61	3.54
観光	3.75	3.85	3.88	3.85	3.89
雇用・就労	4.26	4.34	4.41	4.34	4.38



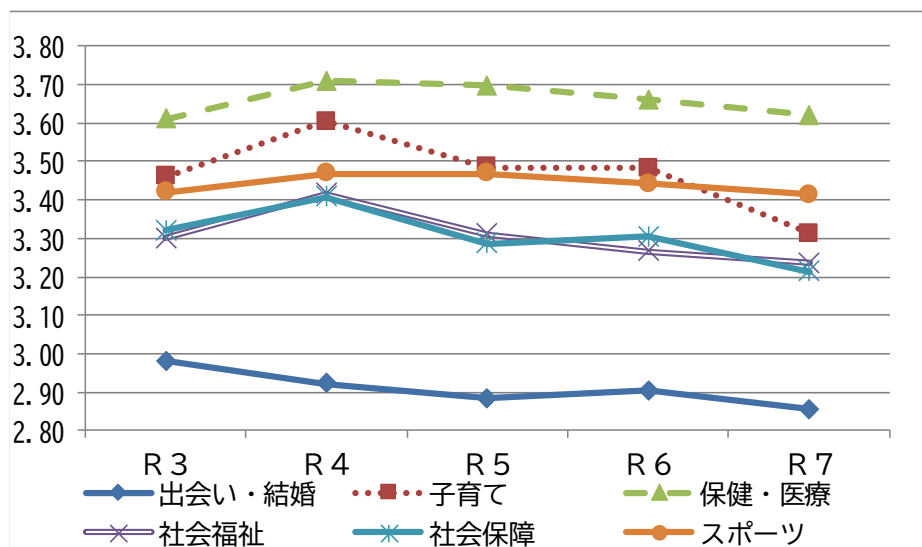
要望度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
農林水産業	0.92	1.00	1.04	1.12	1.32
商工業	1.20	1.33	1.46	1.44	1.53
花火産業構想	0.16	0.15	0.31	0.33	0.33
観光	0.57	0.68	0.79	0.78	0.90
雇用・就労	1.42	1.50	1.63	1.53	1.65



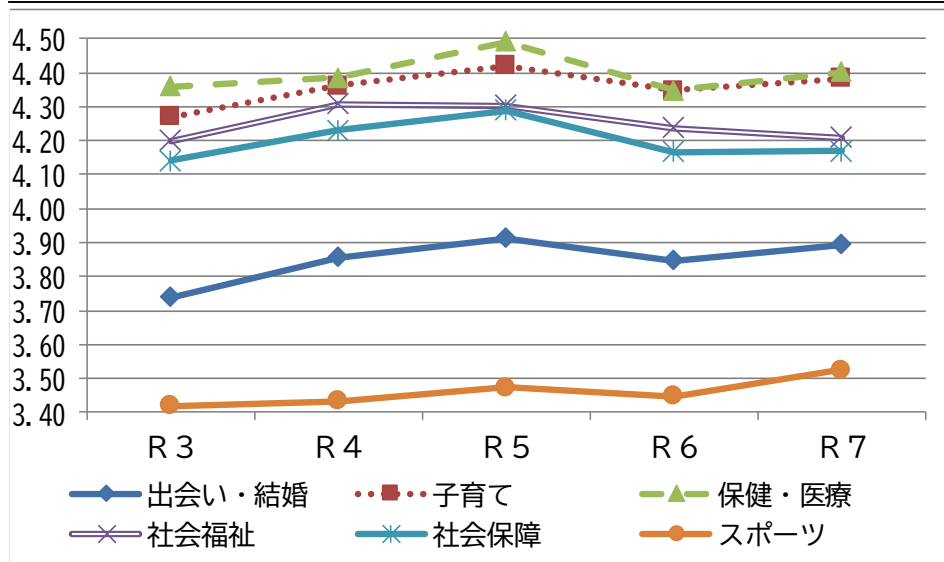
Ⅱ みんなの元気を応援します！～出会い・結婚・子育て、健康・福祉など～

満足度は昨年度と比較すると、全ての項目で低下傾向にあり、特に「子育て」が大きく低下している。重要度は昨年度と比較すると、「社会福祉」と「社会保障」以外の項目で上昇しており、令和３年度と比較した場合も上昇が見られる。要望度は、令和３年度と比較すると上昇傾向で推移している。

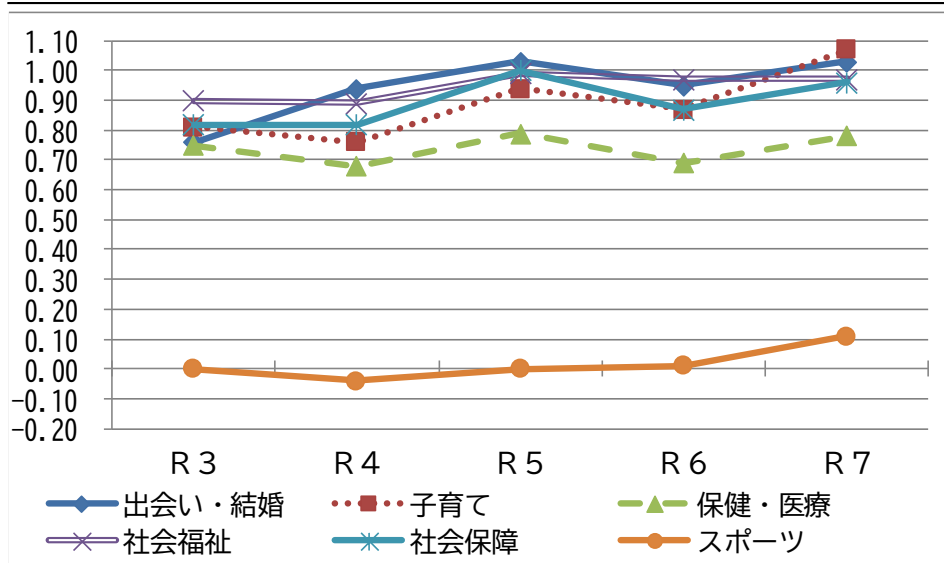
満足度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
出会い・結婚	2.98	2.92	2.88	2.90	2.86
子育て	3.46	3.60	3.48	3.48	3.31
保健・医療	3.61	3.71	3.70	3.66	3.62
社会福祉	3.30	3.42	3.31	3.27	3.24
社会保障	3.32	3.41	3.29	3.30	3.21
スポーツ	3.42	3.47	3.47	3.44	3.41



重要度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
出会い・結婚	3.74	3.86	3.91	3.85	3.89
子育て	4.27	4.36	4.42	4.35	4.38
保健・医療	4.36	4.39	4.49	4.35	4.40
社会福祉	4.20	4.31	4.30	4.24	4.21
社会保障	4.14	4.23	4.29	4.17	4.17
スポーツ	3.42	3.43	3.47	3.45	3.52



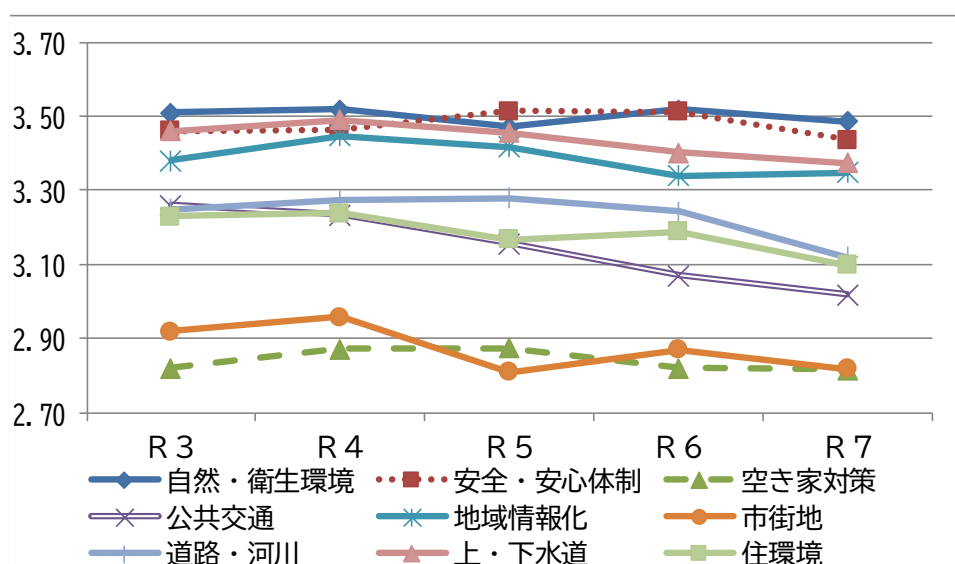
要望度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
出会い・結婚	0.76	0.94	1.03	0.95	1.03
子育て	0.81	0.76	0.94	0.87	1.07
保健・医療	0.75	0.68	0.79	0.69	0.78
社会福祉	0.90	0.89	0.99	0.97	0.97
社会保障	0.82	0.82	1.00	0.87	0.96
スポーツ	0.00	-0.04	0.00	0.01	0.11



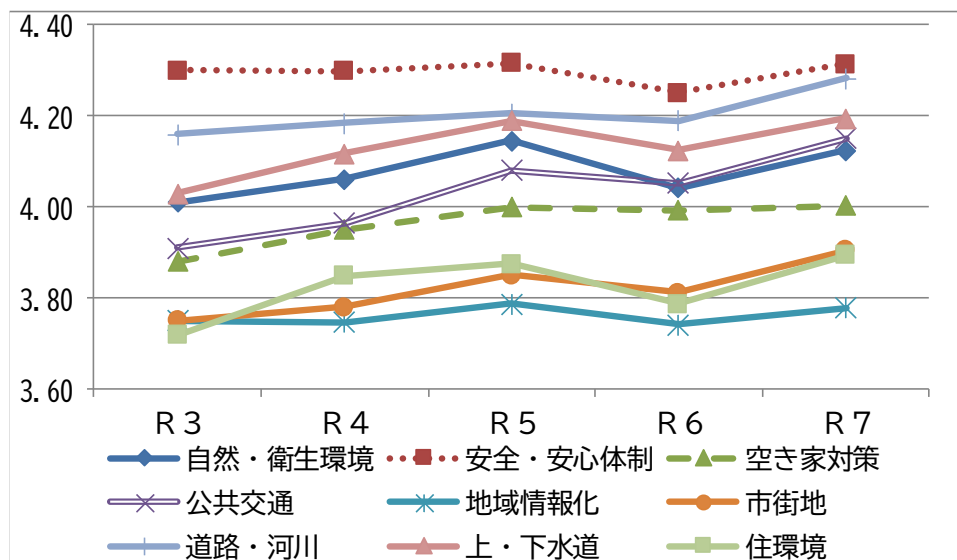
Ⅲ 住みよいまちを築きます！～安全・安心、都市整備など～

満足度は、全体的に横ばい、あるいは低下傾向にあり、昨年度と比較すると「空き家対策」以外の項目が低下しており、特に「道路・河川」が大きく低下している。重要度は、全ての項目で令和３年度から概ね横ばい又は上昇傾向にある。要望度は、重要度と同様に、上昇傾向にあり、特に「公共交通」「住環境」の上昇率が高い。

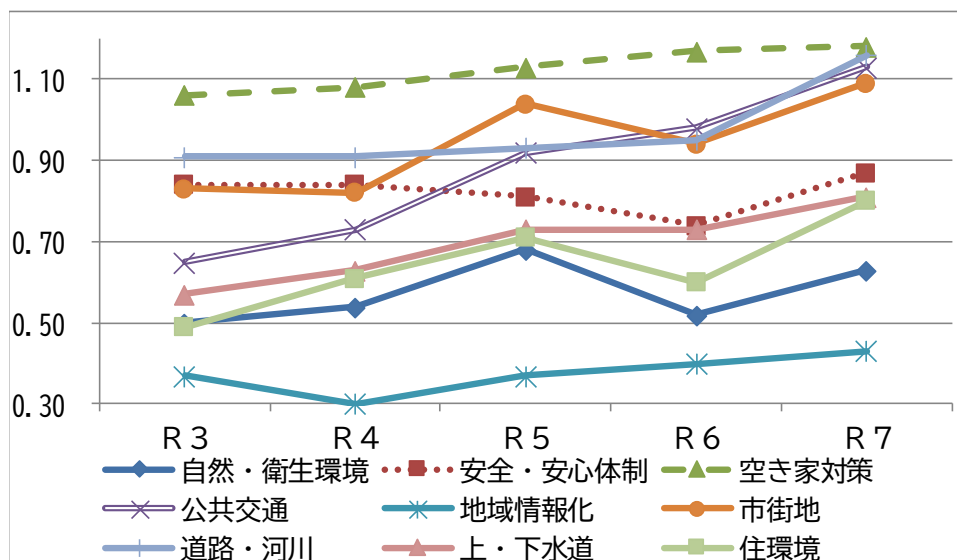
満足度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
自然・衛生環境	3.51	3.52	3.47	3.52	3.49
安全・安心体制	3.46	3.46	3.51	3.51	3.44
空き家対策	2.82	2.87	2.87	2.82	2.82
公共交通	3.26	3.23	3.16	3.07	3.02
地域情報化	3.38	3.45	3.42	3.34	3.35
市街地	2.92	2.96	2.81	2.87	2.82
道路・河川	3.25	3.27	3.28	3.24	3.12
上・下水道	3.46	3.49	3.46	3.40	3.38
住環境	3.23	3.24	3.17	3.19	3.10



重要度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
自然・衛生環境	4.01	4.06	4.15	4.04	4.12
安全・安心体制	4.30	4.30	4.32	4.25	4.31
空き家対策	3.88	3.95	4.00	3.99	4.00
公共交通	3.91	3.96	4.08	4.05	4.15
地域情報化	3.75	3.75	3.79	3.74	3.78
市街地	3.75	3.78	3.85	3.81	3.91
道路・河川	4.16	4.18	4.21	4.19	4.28
上・下水道	4.03	4.12	4.19	4.13	4.19
住環境	3.72	3.85	3.88	3.79	3.90



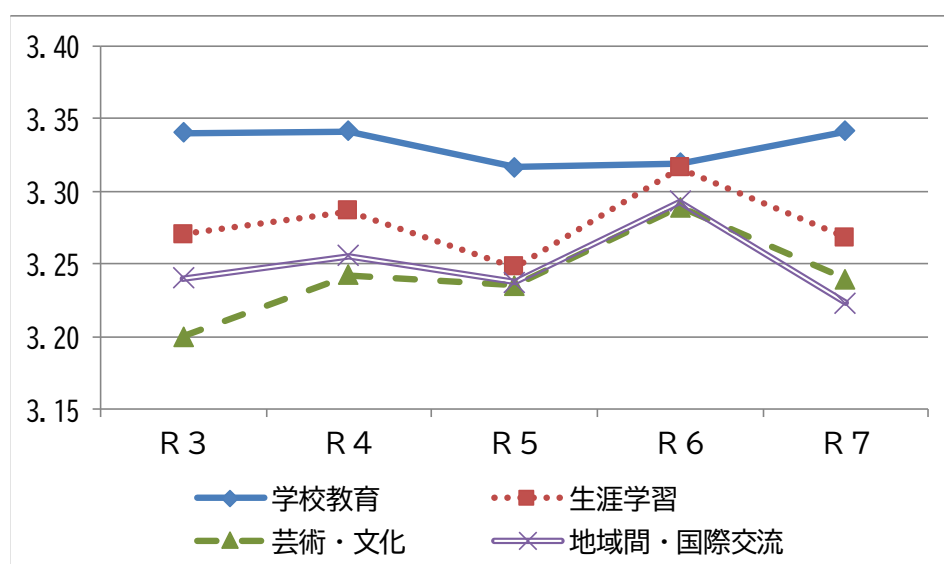
要望度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
自然・衛生環境	0.50	0.54	0.68	0.52	0.63
安全・安心体制	0.84	0.84	0.81	0.74	0.87
空き家対策	1.06	1.08	1.13	1.17	1.18
公共交通	0.65	0.73	0.92	0.98	1.13
地域情報化	0.37	0.30	0.37	0.40	0.43
市街地	0.83	0.82	1.04	0.94	1.09
道路・河川	0.91	0.91	0.93	0.95	1.16
上・下水道	0.57	0.63	0.73	0.73	0.81
住環境	0.49	0.61	0.71	0.60	0.80



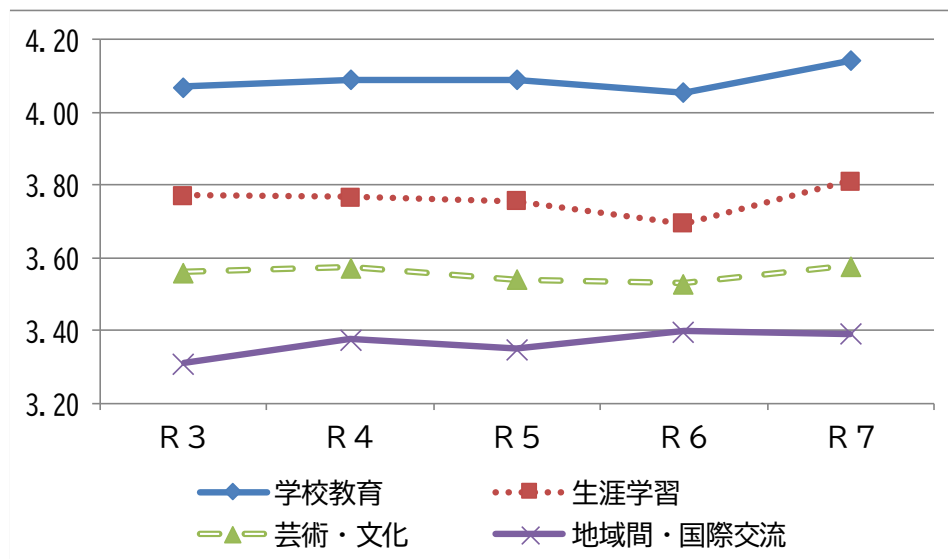
IV 豊かな心と創造力を育みます！～教育、生涯学習、芸術・文化など～

満足度は、昨年度と比較すると「学校教育」は概ね横ばい、「生涯学習」「芸術文化」「地域間・国際交流」は低下している。また、令和3年度と比較すると全ての項目で、概ね横ばいで推移している。重要度は、概ね横ばいで推移していたが、昨年度と比較すると「地域間・国際交流」以外が上昇している。要望度は昨年度と比較すると全ての項目で上昇しており、特に「芸術・文化」「生涯学習」は大きく上昇している。

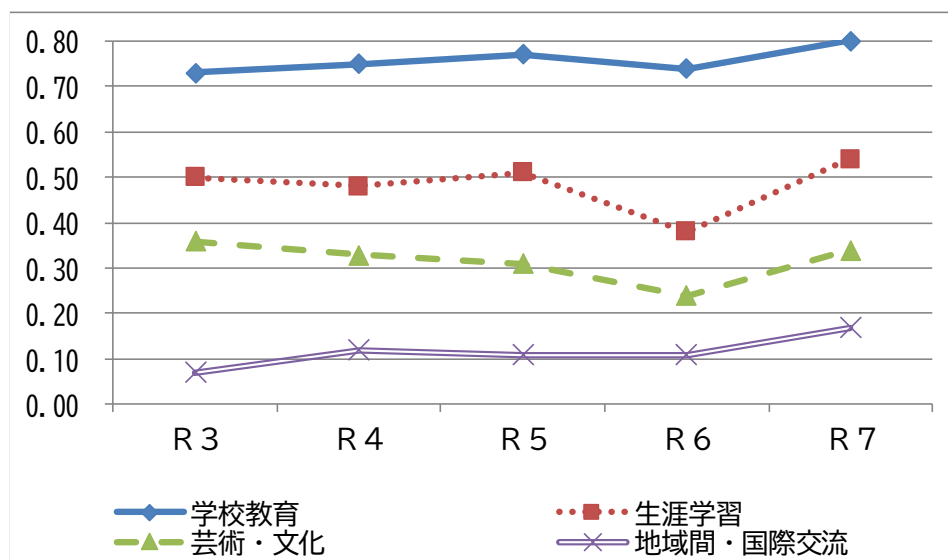
満足度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
学校教育	3.34	3.34	3.32	3.32	3.34
生涯学習	3.27	3.29	3.25	3.32	3.27
芸術・文化	3.20	3.24	3.23	3.29	3.24
地域間・国際交流	3.24	3.26	3.24	3.29	3.22



重要度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
学校教育	4.07	4.09	4.09	4.06	4.14
生涯学習	3.77	3.77	3.76	3.70	3.81
芸術・文化	3.56	3.57	3.54	3.53	3.58
地域間・国際交流	3.31	3.38	3.35	3.40	3.39



要望度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
学校教育	0.73	0.75	0.77	0.74	0.80
生涯学習	0.50	0.48	0.51	0.38	0.54
芸術・文化	0.36	0.33	0.31	0.24	0.34
地域間・国際交流	0.07	0.12	0.11	0.11	0.17

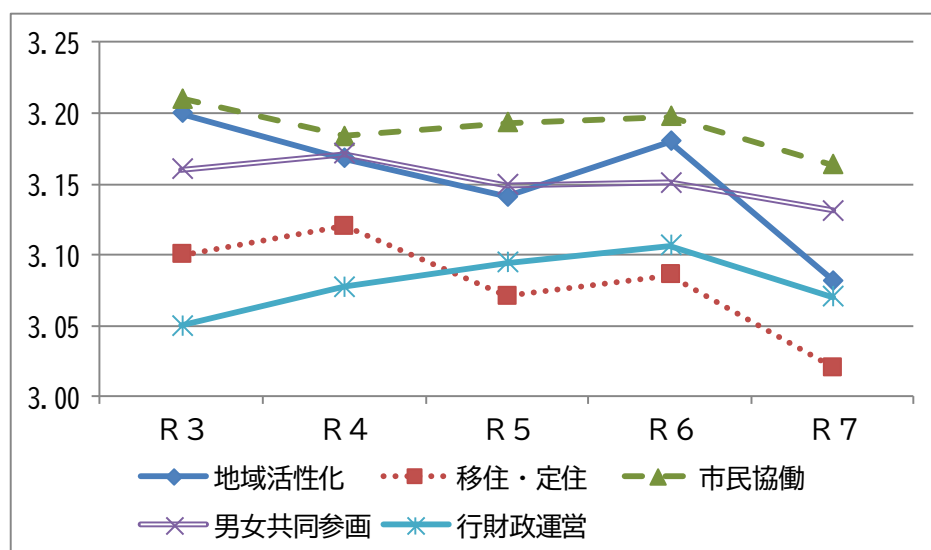


V 時代に合った地域を創ります！

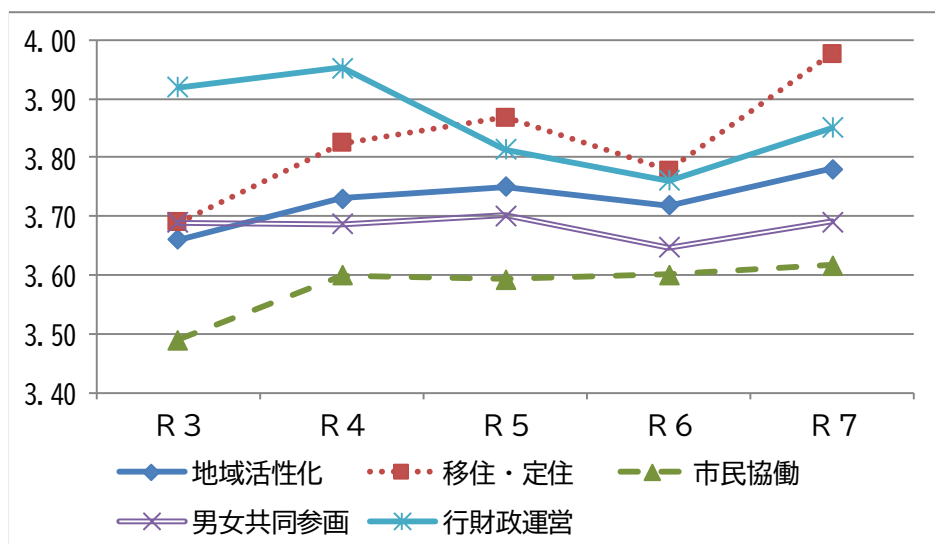
～地域社会の維持・活性化、市民との協働、行財政運営など～

満足度は全ての項目が、昨年度と比較して低下している。また、令和3年度と比較して「行財政運営」「男女共同参画」は概ね横ばいになっているものの、それ以外の項目は低下している。重要度は全ての項目が、昨年度と比較して概ね横ばい、あるいは上昇している。また、令和3年度と比較して特に「移住・定住」が大きく上昇している。要望度は「地域活性化」「移住・定住」「市民協働」が昨年度と比較して上昇している。また、令和3年度と比較して特に「地域活性化」「移住・定住」「市民協働」が上昇している一方、「行財政運営」は低下している。

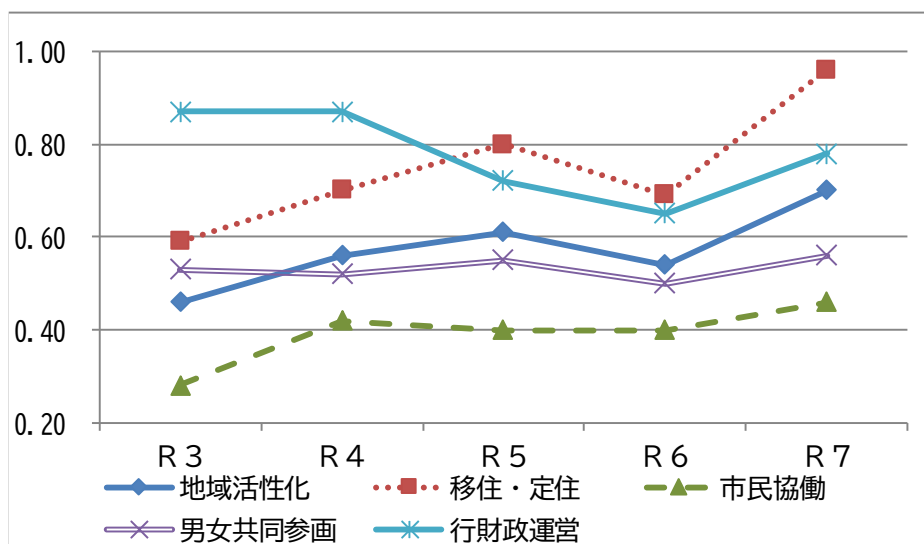
満足度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
地域活性化	3.20	3.17	3.14	3.18	3.08
移住・定住	3.10	3.12	3.07	3.09	3.02
市民協働	3.21	3.18	3.19	3.20	3.16
男女共同参画	3.16	3.17	3.15	3.15	3.13
行財政運営	3.05	3.08	3.09	3.11	3.07



重要度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
地域活性化	3.66	3.73	3.75	3.72	3.78
移住・定住	3.69	3.82	3.87	3.78	3.98
市民協働	3.49	3.60	3.59	3.60	3.62
男女共同参画	3.69	3.69	3.70	3.65	3.69
行財政運営	3.92	3.95	3.81	3.76	3.85



要望度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
地域活性化	0.46	0.56	0.61	0.54	0.70
移住・定住	0.59	0.70	0.80	0.69	0.96
市民協働	0.28	0.42	0.40	0.40	0.46
男女共同参画	0.53	0.52	0.55	0.50	0.56
行財政運営	0.87	0.87	0.72	0.65	0.78



大仙市の住みやすさについて

「大仙市は住みやすいか」

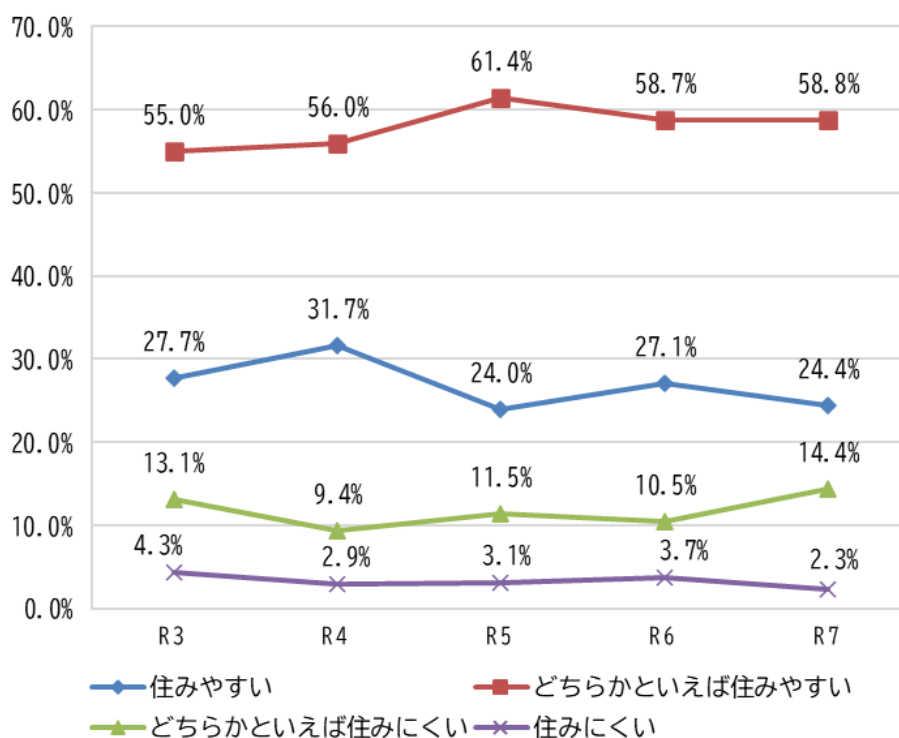
「どちらかといえば住みやすい」は昨年度から 0.1 ポイント上昇したものの、「住みやすい」が昨年度から 2.7 ポイント低下したため、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は昨年度から 2.6 ポイント低下した。一方、「住みにくい」は 1.4 ポイント改善したものの、「どちらかといえば住みにくい」が 3.9 ポイント上昇する結果になった。令和 3 年度からの推移をみると「住みにくい」と回答した割合は、低下傾向にある。

性別で見ると、「住みやすい」と回答した割合は、女性が 25.1%と男性よりも 2.0 ポイント高い結果となった。過去 5 か年の結果を見ると、令和 4 年以外は、女性の方が男性よりも「住みやすい」と回答した方の割合が高くなっている。

■ 全体

大仙市は住みやすいか	R3	R4	R5	R6	R7
住みやすい	27.7%	31.7%	24.0%	27.1%	24.4%
どちらかといえば住みやすい	55.0%	56.0%	61.4%	58.7%	58.8%
(住みやすい+どちらかといえば住みやすい)	82.7%	87.7%	85.4%	85.8%	83.2%
どちらかといえば住みにくい	13.1%	9.4%	11.5%	10.5%	14.4%
住みにくい	4.3%	2.9%	3.1%	3.7%	2.3%
(どちらかといえば住みにくい+住みにくい)	17.4%	12.3%	14.6%	14.2%	16.7%

※数値表記について、小数点第 2 位以下で四捨五入しているため、合計と内訳の計は必ずしも一致しない。

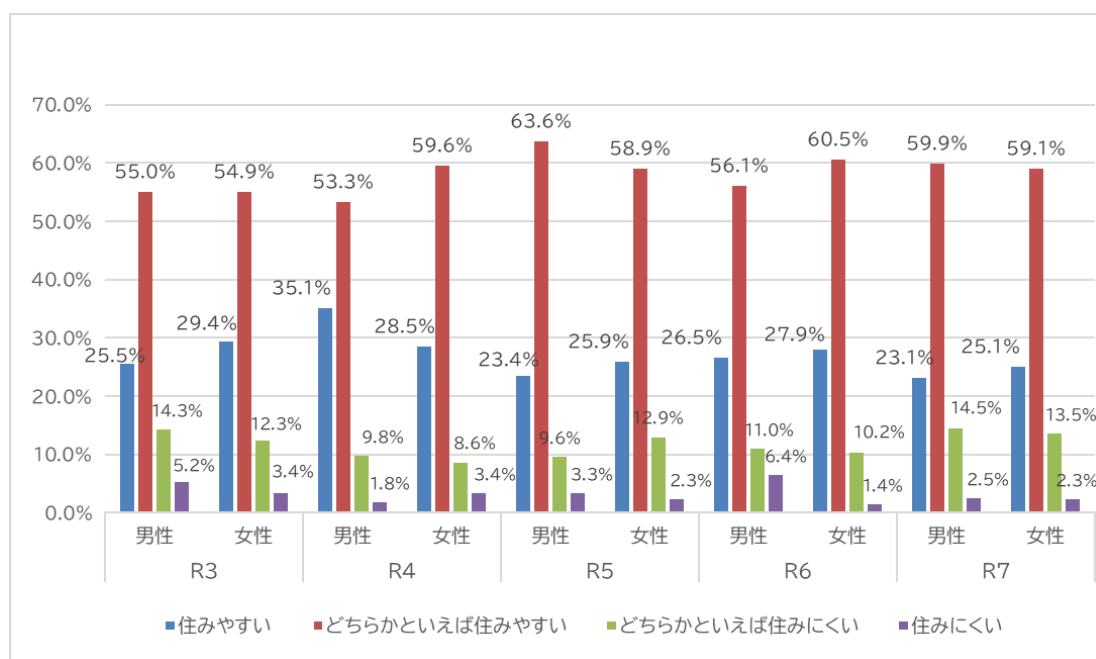


「大仙市は住みやすいか」

■ 性別

大仙市は住みやすいか	R3		R4		R5		R6		R7	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
住みやすい	25.5%	29.4%	35.1%	28.5%	23.4%	25.9%	26.5%	27.9%	23.1%	25.1%
どちらかといえば住みやすい	55.0%	54.9%	53.3%	59.6%	63.6%	58.9%	56.1%	60.5%	59.9%	59.1%
(住みやすい+どちらかといえば住みやすい)	80.5%	84.3%	88.4%	88.0%	87.0%	84.8%	82.6%	88.4%	83.1%	84.2%
どちらかといえば住みにくい	14.3%	12.3%	9.8%	8.6%	9.6%	12.9%	11.0%	10.2%	14.5%	13.5%
住みにくい	5.2%	3.4%	1.8%	3.4%	3.3%	2.3%	6.4%	1.4%	2.5%	2.3%
(どちらかといえば住みにくい+住みにくい)	19.5%	15.7%	11.6%	12.0%	13.0%	15.2%	17.4%	11.6%	16.9%	15.8%

※数値表記について、小数点第2位以下で四捨五入しているため、合計と内訳の計は必ずしも一致しない。



大仙市の住みやすさについて

「大仙市に住み続けたいか」

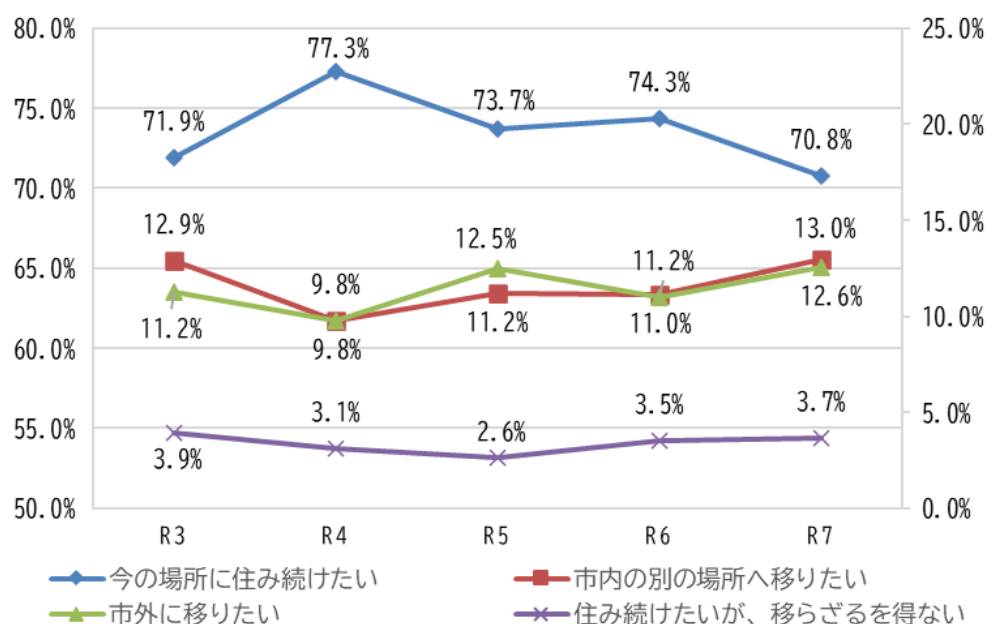
「今の場所に住み続けたい」は昨年度と比較すると 3.5 ポイント低下しており、「市内の別の場所へ移りたい」は 1.8 ポイント上昇している。一方、「市外に移りたい」「住み続けたいが、移らざるを得ない」は、昨年度と比較するとそれぞれ 1.6 ポイント、0.2 ポイント上昇している。

性別で見ると、「今の場所に住み続けたい」と回答した割合は、女性が 72.9%と男性よりも 4.9 ポイント高い結果となった。過去 5 か年の結果を見ると、女性は「今の場所に住み続けたい」と回答した割合が 7 割を超えている。

■ 全体

大仙市に住み続けたいか	R3	R4	R5	R6	R7
今の場所に住み続けたい	71.9%	77.3%	73.7%	74.3%	70.8%
市内の別の場所へ移りたい	12.9%	9.8%	11.2%	11.2%	13.0%
(今の場所に住み続けたい+ 市内の別の場所へ移りたい)	84.8%	87.1%	84.9%	85.5%	83.8%
市外に移りたい	11.2%	9.8%	12.5%	11.0%	12.6%
住み続けたいが、移らざるを得ない	3.9%	3.1%	2.6%	3.5%	3.7%
(市外に移りたい+ 住み続けたいが、移らざるを得ない)	15.1%	12.9%	15.1%	14.5%	16.3%

※数値表記について、小数点第 2 位以下で四捨五入しているため、合計と内訳の計は必ずしも一致しない。

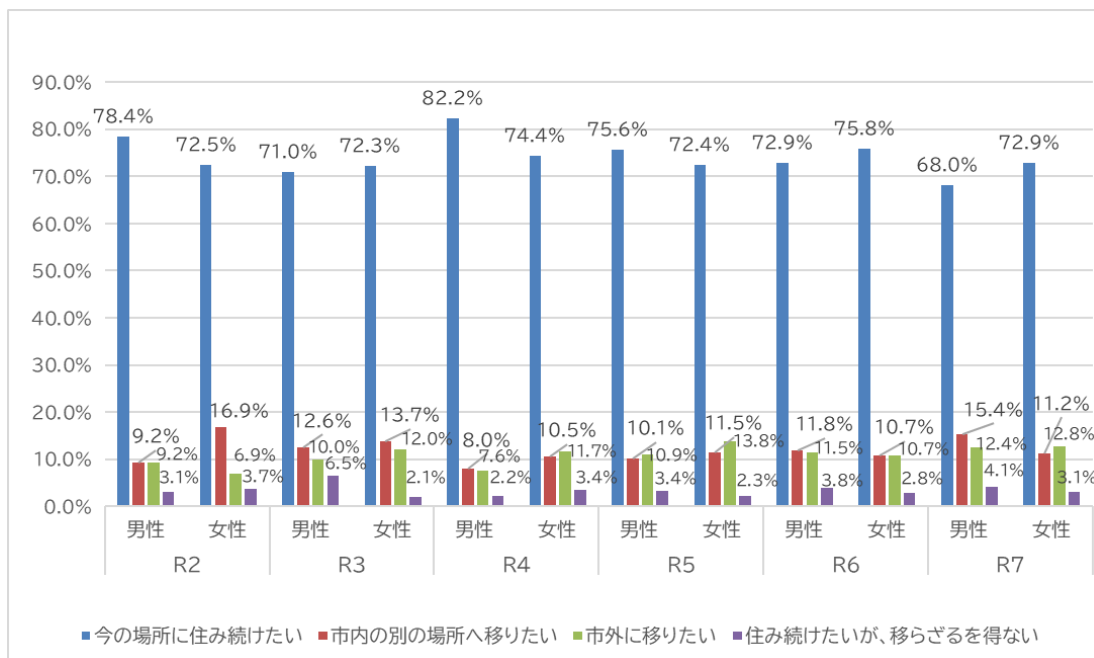


「大仙市に住み続けたいか」

■ 性別

大仙市に住み続けたいか	R3		R4		R5		R6		R7	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
今の場所に住み続けたい	71.0%	72.3%	82.2%	74.4%	75.6%	72.4%	72.9%	75.8%	68.0%	72.9%
市内の別の場所へ移りたい (今の場所に住み続けたい+ 市内の別の場所へ移りたい)	12.6%	13.7%	8.0%	10.5%	10.1%	11.5%	11.8%	10.7%	15.4%	11.2%
市外に移りたい	10.0%	12.0%	7.6%	11.7%	10.9%	13.8%	11.5%	10.7%	12.4%	12.8%
住み続けたいが、移らざるを得ない (市外に移りたい+ 住み続けたいが、移らざるを得ない)	6.5%	2.1%	2.2%	3.4%	3.4%	2.3%	3.8%	2.8%	4.1%	3.1%
	16.5%	14.0%	9.8%	15.0%	14.3%	16.1%	15.3%	13.5%	16.6%	15.9%

※数値表記について、小数点第2位以下で四捨五入しているため、合計と内訳の計は必ずしも一致しない。

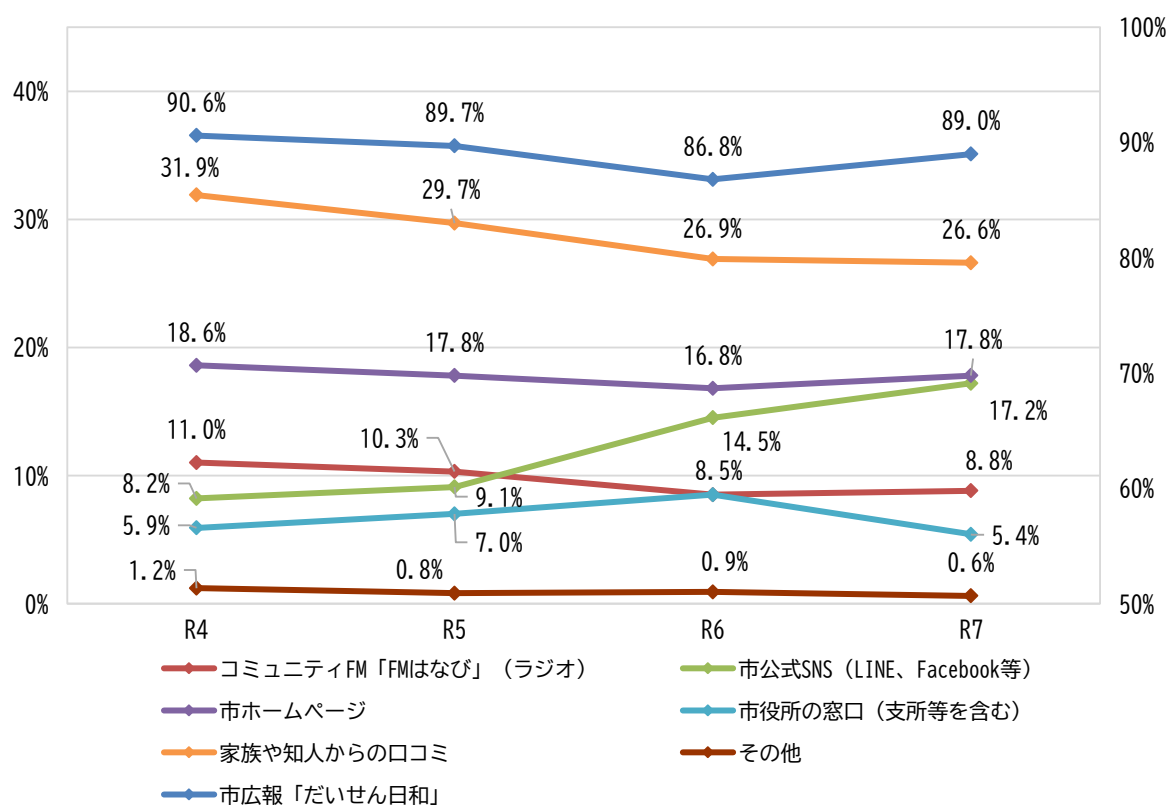


市の情報発信や行政サービスのデジタル化について

「市政情報の入手手段」

「市広報『だいせん日和』」は、昨年度と比較すると2.2ポイント上昇しているほか、「市公式SNS(LINE、Facebook等)」は2.7ポイント上昇している。一方で、「市役所の窓口（支所等を含む）」は、昨年度と比較すると3.1ポイント低下している。「市公式SNS(LINE、Facebook等)」は、調査を開始した令和4年度から上昇しており、「市ホームページ」とほぼ同じ割合になっている。

市政情報の入手手段	R4	R5	R6	R7
市広報「だいせん日和」	90.6%	89.7%	86.8%	89.0%
コミュニティFM「FMはなび」（ラジオ）	11.0%	10.3%	8.5%	8.8%
市公式SNS（LINE、Facebook等）	8.2%	9.1%	14.5%	17.2%
市ホームページ	18.6%	17.8%	16.8%	17.8%
市役所の窓口（支所等を含む）	5.9%	7.0%	8.5%	5.4%
家族や知人からの口コミ	31.9%	29.7%	26.9%	26.6%
その他	1.2%	0.8%	0.9%	0.6%

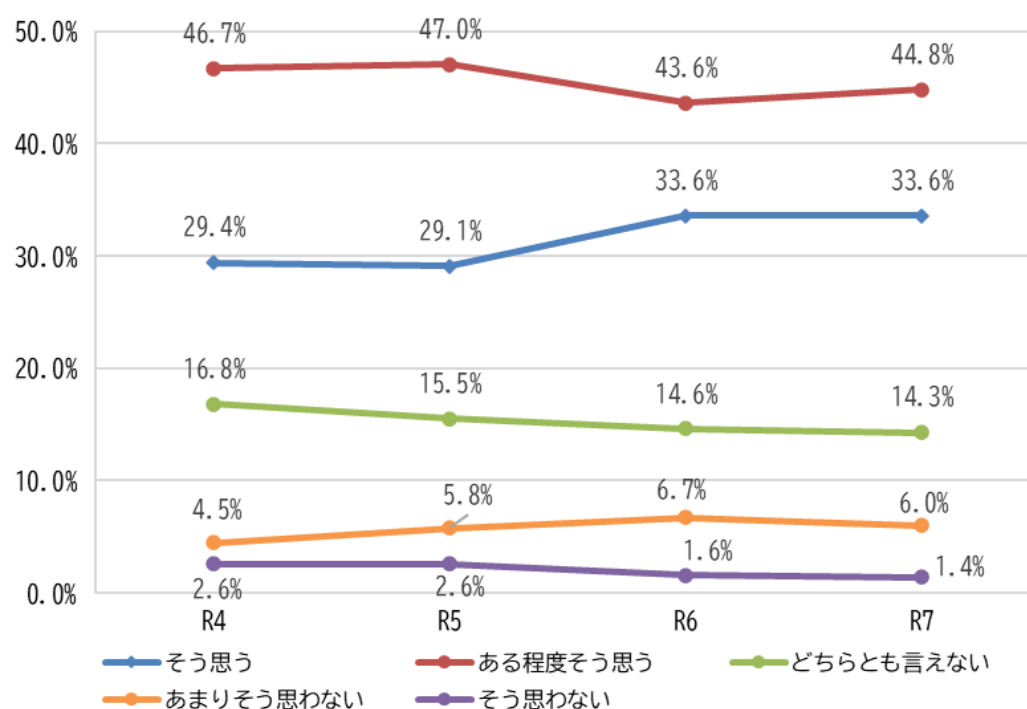


「市政情報の入手しやすさ」

「そう思う」は昨年度と変わらず、「ある程度そう思う」は、昨年度と比較して 1.2 ポイント上昇しており、「ある程度そう思う」「そう思う」を合わせた割合が 1.2 ポイント上昇している。一方で、「あまりそう思わない」は 0.7 ポイント改善、「そう思わない」が 0.2 ポイント改善しているため、「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた割合は、0.9 ポイント改善している。

市政情報の入手しやすさ	R4	R5	R6	R7
そう思う	29.4%	29.1%	33.6%	33.6%
ある程度そう思う	46.7%	47.0%	43.6%	44.8%
(そう思う+ある程度そう思う)	76.1%	76.1%	77.2%	78.4%
どちらとも言えない	16.8%	15.5%	14.6%	14.3%
あまりそう思わない	4.5%	5.8%	6.7%	6.0%
そう思わない	2.6%	2.6%	1.6%	1.4%
(あまりそう思わない+そう思わない)	7.1%	8.4%	8.3%	7.4%

※数値表記について、小数点第2位以下で四捨五入しているため、合計と内訳の計は必ずしも一致しない。



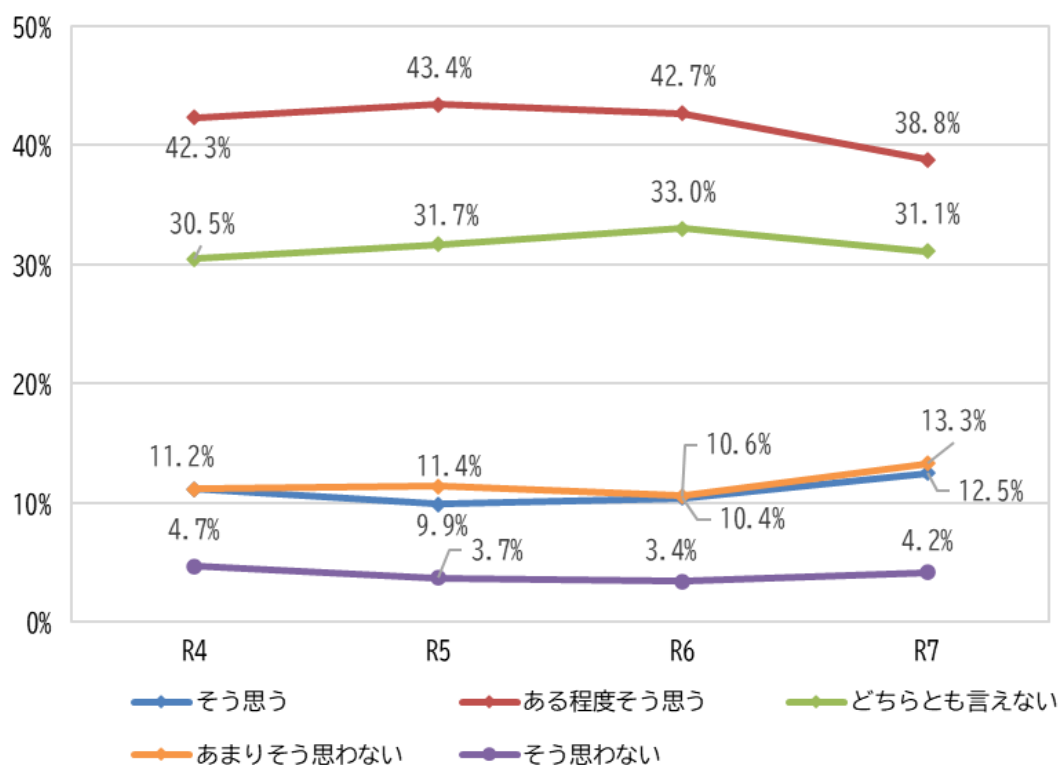
市の情報発信や行政サービスのデジタル化について

市の行政サービスの利用しやすさ

「そう思う」は、昨年度と比較して2.1ポイント上昇しているものの、「ある程度そう思う」が昨年度から3.9ポイント低下しているため、「そう思う」「ある程度そう思う」を合わせた割合は1.8ポイント低下している。そのほか、「あまりそう思わない」が2.7ポイント、「そう思わない」は0.8ポイント上昇しており、「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた割合は3.5ポイント上昇している。

市の行政サービスの利用しやすさ	R4	R5	R6	R7
そう思う	11.2%	9.9%	10.4%	12.5%
ある程度そう思う	42.3%	43.4%	42.7%	38.8%
(そう思う+ある程度そう思う)	53.5%	53.3%	53.1%	51.3%
どちらとも言えない	30.5%	31.7%	33.0%	31.1%
あまりそう思わない	11.2%	11.4%	10.6%	13.3%
そう思わない	4.7%	3.7%	3.4%	4.2%
(あまりそう思わない+そう思わない)	15.9%	15.1%	14.0%	17.5%

※数値表記について、小数点第2位以下で四捨五入しているため、合計と内訳の計は必ずしも一致しない。



行政サービスのデジタル化に期待すること

「市役所に行かなくてもオンラインで手続きができる」「市役所窓口での申請などが簡単で分かりやすくなる」「災害発生時の緊急情報などを迅速かつ正確に入手できる」と回答した割合がそれぞれ50%を超えており、調査開始時から高い割合で推移している。その他の項目については 順位に変動はないが、「自分に必要な市の情報がアプリやメールなどで入手できる」が昨年度と比較して1.8ポイント低下している。

行政サービスのデジタル化に期待すること	R4	R5	R6	R7
市役所に行かなくてもオンラインで手続きができる	59.3%	52.5%	55.7%	55.2%
各種相談をオンライン（メールやウェブ相談など）で行うことができる	15.1%	18.3%	15.9%	15.8%
市役所窓口でキャッシュレス決済が利用できる	14.5%	11.6%	-	-
市役所窓口での申請などが簡単で分かりやすくなる	50.4%	55.6%	54.7%	55.6%
自分に必要な市の情報がアプリやメールなどで入手できる	23.0%	22.8%	27.4%	25.6%
が保有するデータ（人口や各種調査結果など）をウェブ上で入手・利用できる	3.1%	4.3%	4.2%	3.6%
災害発生時の緊急情報などを迅速かつ正確に入手できる	49.8%	49.9%	53.1%	51.8%
その他	4.1%	5.1%	4.0%	3.2%

※「市役所窓口でキャッシュレス決済が利用できる」は、既に実施済であるため、令和6年度調査からは設問項目に含めていない。

